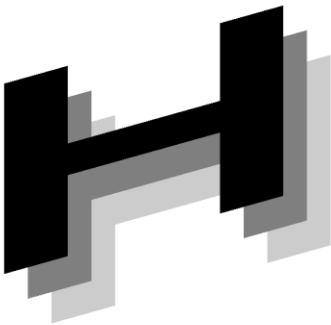




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

J A H I S

注射データ交換規約

V e r . 2 . 2 C

2023年x月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 相互運用性委員会

JAHIS 注射データ交換規約

まえがき

従来 HIS（病院情報システム）を中心として、注射薬剤に関する病院内部システム間のデータ交換において、ベンダ間での統一はもとより、同一ベンダにおいても導入ユーザによってその仕様が異なり、多くの手間と時間を要していた。また、看護システム等の部門システムとのデータ交換の必要性が求められ、注射データ交換規約の策定が重要な課題となってきた。そうした状況を踏まえ、一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）では、広く注射データの交換に活用できる規約をめざし、HL7 V2.5 に対応したメッセージの検討を行い、これまで 2010 年 6 月に「JAHIS 注射データ交換規約 Ver.1.0」、2014 年 1 月には「JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.0」との分冊化を行った「JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.0C」、2018 年 1 月には患者プロフィール情報を定義した「注射データ交換規約 Ver.2.1C」を制定してきた。

今回制定した「注射データ交換規約 Ver.2.2C」では、日本 HL7 協会が 2020 年 6 月に公開した HL7 V2.5 日本語訳見直し版の表現、および「JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3」や他の標準規約との整合性の確保を行った。また、各ベンダが提供する製品の JAHIS データ交換規約への適合性を評価し、公表するための適合性宣言書の採用や、HL7 FHIR 等から JAHIS 標準で定義したコード表を参照する際に必要となる OID の付番を行った。本規約に基づくインターフェースが多くのシステムに実装され、注射データ交換の標準化、ひいては医療情報の普及・推進に多少とも貢献できれば幸いである。

2023 年 X 月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 相互運用性委員会

<< 告知事項 >>

本規約は利用者が本工業会の会員であるか否かにかかわらず、規約の引用を明示することと自由に利用することができるものとします。本規約に対する適合性を宣言する際には、部分実装や拡張がある場合を含めその適合範囲を所定のフォーマットに記述した適合性宣言書を作成し、実装したシステムの関係者に提供、公開することを推奨します。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本工業会はなんらの責任を負わないものとします。ただし、本工業会の会員は本規約についての疑義を申し入れることができ、担当委員会はこれに誠意を持って対応するものとします。

目 次

1. はじめに	1
2. 使用している HL7 について	2
2.1 概要	2
2.2 メッセージ	2
2.3 フィールド	2
2.4 メッセージ区切り文字	2
2.5 データ型	2
2.6 各種コメント	2
3. 主な用語と参照規格	3
3.1 主な用語	3
3.2 参照する外部の規格やマスタ	4
4. JAHIS 標準テーブル	5
4.1 本規約で定義する JAHIS 標準テーブル	5
4.2 JAHIS 標準テーブル等を用いた患者プロファイルの表現	6
5. 本規約の対象範囲	7
5.1 基本方針	7
5.2 対象範囲	7
6. 注射指示・実施メッセージ構文	9
6.1 メッセージ構造	9
6.2 注射指示情報通知(RDE/RRE)	10
6.3 注射実施情報通知(RAS/RRA)	14
7. 関連セグメント詳細	18
7.1 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報セグメント	19
7.2 CTI - Clinical Trial Identification Segment 治験識別セグメント	20
7.3 ERR - Error Segment エラー情報セグメント	21
7.4 IN1 - Insurance Segment 保険セグメント	21
7.5 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ識別セグメント	21
7.6 MSH - Message Header Segment メッセージヘッダーセグメント	21
7.7 OBX - Observation/Result Segment 検査結果セグメント	22
7.8 ORC - Order Common Segment 共通オーダーセグメント	37
7.9 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント	58
7.10 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント	58
7.11 RXA - Pharmacy/Treatment Administration Segment 薬剤／治療投薬セグメント	59
7.12 RXC - Pharmacy/Treatment Component Segment 薬剤／治療成分オーダーセグメント	65
7.13 RXE - Pharmacy/Treatment Encoded Order Segment 薬剤／治療コード化したオーダーセグメント	68
7.14 RXR - Pharmacy/Treatment Route Segment 薬剤／治療経路セグメント	83
7.15 TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング／数量セグメント	90

付録－１． 用法種別、指示内容ごとのフィールドへのセット内容	96
付録－２． メッセージ使用例	97
付録－３． 本規約で定義された OID	153
付録－４． 作成者名簿	154

1. はじめに

「JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.2C」(以下、「本規約」と呼ぶ)では、2018年1月に制定した「JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C」に対して、その後2022年4月に制定された「JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3」(以下、「共通編」と呼ぶ)、日本 HL7 協会が2020年6月に公開した HL7 V2.5 日本語訳見直し版、および、他の JAHIS 標準規約との整合性を図るなど、主に以下の点について変更を行った。

- (1) 日本 HL7 協会が2020年6月に公開した HL7 V2.5 日本語訳見直し版を基に表現の見直し
- (2) 「JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3」との整合
- (3) HL7 V2.5 で CE 型であったデータ項目について CWE 型から元の CE 型への変更(※)
- (4) 新たに共通編に記載することとなったセグメントにあわせて本規約の説明範囲の見直し
- (5) 共通編、および、他のデータ交換規約との章構成の統一
- (6) 外部から本規約で定義したコード表を参照するための OID の付番
- (7) 各ベンダが提供する製品の本規約への適合性を示す「適合性宣言書」への対応

(※ : CWE 型から元の CE 型への変更)

HL7 V2.5 からは、CE 型は使用せず、CWE 型、CNE 型を使用するように規約自体は変わったが、HL7 V2.5 原文では、それまで使用されていた CE 型の記載は、そのままの状態に残っており、新たに追加された項目のみ CWE 型となっている。

以前の改訂(JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C)では、CE 型を使用しないことに重きを置いて、CE 型を CWE 型へ置き換えを行ったが、後方互換性を維持する目的で、原文にならない、CE 型を残すこととした。

なお、本規約は共通編と差異がある部分だけを記載した資料構成になっているため、共通編との併読を前提としていることに留意いただきたい。本規約のバージョンの後に“C”という接尾辞があるが、これは共通編を参照していることを意味している。

この JAHIS 標準が活用され、HL7 の普及が促進されることを期待する。本規約の制定にあたって、ご指導ご鞭撻を賜った諸先生方と関係団体の皆様には、心から感謝する。

2. 使用している HL7 について

2.1 概要

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

2.2 メッセージ

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

2.3 フィールド

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

2.4 メッセージ区切り文字

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

2.5 データ型

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

2.6 各種コメント

本規約で扱われるコメントは、投与経路コメントや投与部位コメントなど注射データの性質上多岐に渡るため、コメントの項目ごとに使用するコーディングシステム名や設定先のフィールドを表 2.6-1 のように定義する。

各種コメントは、使用者定義表という位置付けとし、各種コメントの内容については、自由に設定が可能であるが、本規約では定義しない。

表 2.6-1 各種コメント一覧

項目名	コーディングシステム名	指示設定フィールド	実施設定フィールド
オーダステータスコメント	JHSIC001	ORC-16	-
投与経路コメント	JHSIC002	RXE-7	RXA-9
投与部位コメント	JHSIC003	RXE-7	RXA-9
手技コメント	JHSIC004	RXE-7	RXA-9
ラインコメント	JHSIC005	RXE-7	RXA-9
投与速度コメント	JHSIC006	RXE-7	RXA-19
用法コメント	JHSIC007	RXE-7	RXA-9
進捗コメント	JHSIC008	-	RXA-18
薬剤コメント	JHSIC009	RXC-7	-
頓用コメント	-	TQ1-11	-

3. 主な用語と参照規格

3.1 主な用語

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「3.1 主な用語」を参照のこと。
以下は共通編との差異のみを記載する。

施用単位 Unit dose：医薬品の管理可能な最小投与行為。

Rp Recipe：薬剤や用量、投与方法、経路などが同一である一連の投薬指示単位。

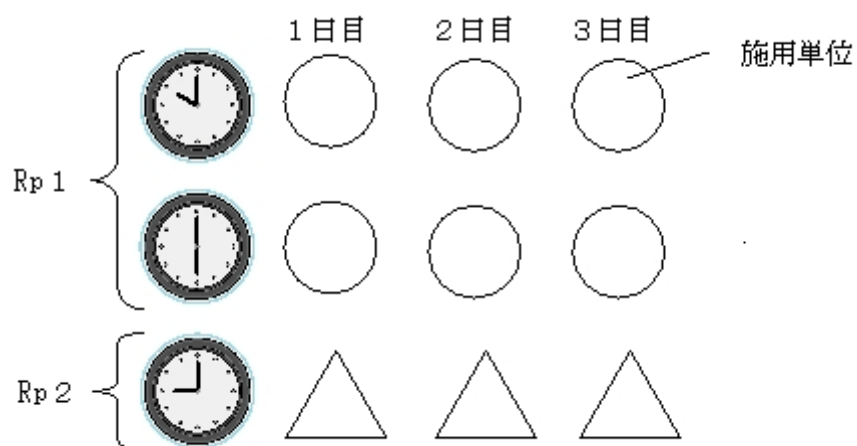


図 3.1-1 施用単位・Rp イメージ

3.2 参照する外部の規格やマスタ

本規約では、以下の外部の規格やマスタの使用を想定している。

ISO/HL7 27931:2009 Data Exchange Standards - Health Level Seven Version 2.5 - An application protocol for electronic data exchange in healthcare environments

米国の HL7 協会が作成している医療分野における標準規格。

2009 年に HL7 V2.5 が ISO IS として承認された。

参照 URL : <https://www.iso.org/standard/44428.html>

MEDIS 医薬品 HOT コードマスター(HOT コード)

医療用医薬品に様々な目的で付番されているコード間の対応付けができる 13 桁のコードで、現在は MEDIS-DC にて管理されている。コードの各桁は、1～6 桁目が処方用番号、7 桁目がチェックデジット、8～9 桁目が会社識別用番号、10～11 桁目が調剤用番号、12～13 桁目が物流用番号を示している。先頭からの 7 桁(HOT-7)、9 桁(HOT-9)、11 桁(HOT-11)、13 桁(HOT-13)で意味する情報が異なり、使用目的別に使い分けることができる。

参照先 URL : <https://www2.medis.or.jp/master/hcode/>

Logical Observation Identifiers Names and Codes

Regenstrief 研究所によって 1994 年に運用が開始された、診療名や計測値項目を表すコード集。

HL7 CDA 内の各項目を識別するコードにも利用される。

参照先 URL : <https://loinc.org/>

診療情報交換規約運用指針(MERIT9)

MEdical Record, Image, Text-Information eXchange

診療施設間での患者情報の交換のための各種の規格の運用指針。

参照先 URL : <http://merit-9.mi.hama-med.ac.jp/>

4. JAHIS 標準テーブル

4.1 本規約で定義する JAHIS 標準テーブル

注射データでは処方区分などの情報が必要である。HL7 であらかじめ用意されているものがあればそれを活用するが、本規約では存在しない項目について以下のように JHSI 表およびそのコーディングシステム名を定義した。

JHSI 表は HL7 表と同様にコードの追加・変更・削除はできない。

JHSI表 0001 –Pharmacy Supplier’s Special Dispensing Instructions 処方区分
(コーディングシステム名 : JHSI0001、OID : 1.2.392.200270.4.4.8.1)

Value	Description
FTP	定時処方
EMP	至急処方
PFP	事後処方
OTP	頓用処方
注記	「臨時処方」「外来処方」「入院処方」は、MERIT9 コードを利用する

* RXE-21で使用する

JHSI表 0002 –Recipe Code 注射種別
(コーディングシステム名 : JHSI0002、OID : 1.2.392.200270.4.4.8.2)

Value	Description
00	一般
01	血液製剤
02	特殊製剤
03	麻毒
04	治験薬
05	TPN
06	予防接種
07	抗がん剤
09	その他

* RXE-2で使用する

JHSI表 0003 –Precise Continuation Drip ID 精密持続点滴
(コーディングシステム名 : JHSI0003、OID : 1.2.392.200270.4.4.8.3)

Value	Description
01	精密持続点滴

* RXR-4で使用する

JHSI表 0004 –Specific Medicine Code 特殊薬剤区分
(コーディングシステム名 : JHSI0004、OID : 1.2.392.200270.4.4.8.4)

Value	Description
01	血液製剤
02	治験薬
03	抗がん剤
04	特殊製剤
05	TPN
06	予防接種

* RXC-7で使用する

JHSI表 0005 -Drug ID 麻毒区分
(コーディングシステム名 : JHSI0005、OID : 1.2.392.200270.4.4.8.5)

Value	Description
01	麻薬
02	毒薬
03	劇薬
04	向精神薬

* RXC-7で使用する

JHSI表 0006 -Cold Place and Dark Storage ID 冷所・暗所保存
(コーディングシステム名 : JHSI0006、OID : 1.2.392.200270.4.4.8.6)

Value	Description
01	冷所保存要対象
02	暗所保存要対象

* RXC-7で使用する

JHSI表 0007 -Others ID その他
(コーディングシステム名 : JHSI0007、OID : 1.2.392.200270.4.4.8.7)

Value	Description
01	混注不可

* RXC-7で使用する

JHSI表 0008 -Specimen Material Inspection ID 検査項目名 (注射)
(コーディングシステム名 : JHSI0008、OID : なし)

Value	Description
D	病名・プロブレム
T	身長
W	体重
I	感染症

* JHSI表0008は、下位互換性のために残した。

* OBX-3で使用する

JHSI表 0009 -Usage Type 用法種別 (注射)
(コーディングシステム名 : JHSI0009、OID : 1.2.392.200270.4.4.8.9)

Value	Description
01	ワンショット
02	点滴

* RXE-27で使用する

4.2 JAHIS 標準テーブル等を用いた患者プロファイルの表現

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「4.3. JAHIS 標準テーブル等を用いた患者プロファイルの表現」を参照のこと。

5. 本規約の対象範囲

5.1 基本方針

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「5.1.基本方針」を参照のこと。

5.2 対象範囲

本規約は下図「システム間情報伝達イメージ」の実線部分を対象とする。また、取り扱うメッセージタイプおよびトリガーイベントを表「メッセージとトリガーイベント」に示す。

本規約では、部門システムとして看護支援システムを想定している。それ以外の部門システム（調剤支援システムなど）のトランザクションについては、本規約の本バージョンでは検討が不十分のため、対象外とした。

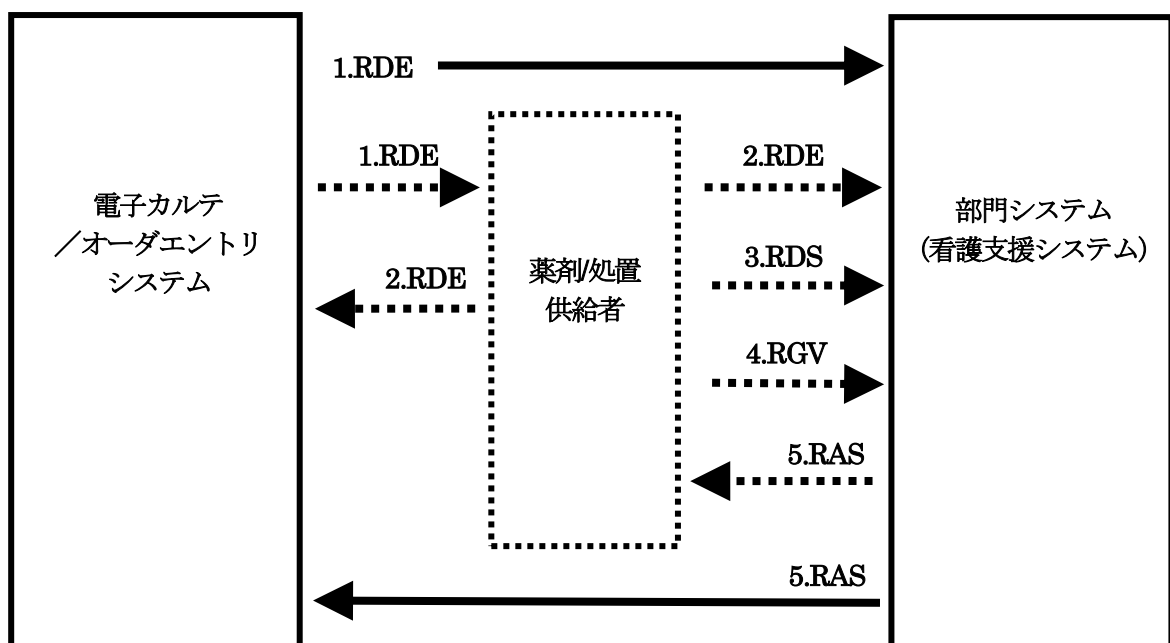


図 5.2-1 システム間情報伝達イメージ

表 5.2-1 メッセージとトリガーイベント

メッセージ定義	メッセージタイプ	トリガーイベント	イベントタイプ
①注射指示情報通知	RDE→ ←RRE	注射指示メッセージ	O11/O12
②注射実施情報通知	←RAS RRA→	注射実施メッセージ	O17/O18

「メッセージタイプ」欄の矢印(→, ←)は、メッセージの応答関係を表す。上側の矢印が最初のメッセージの送信を意味し、下側の矢印が最初のメッセージに対する応答メッセージの送信を意味する。

メッセージの概要

① 注射指示 (RDE/RRE)

注射指示情報を電子カルテ／オーダエントリシステムから部門システムに RDE メッセージで通知する。
それに対する応答を RRE メッセージで返す。

② 注射実施 (RAS/RRA)

注射実施情報を部門システムから電子カルテ／オーダエントリシステムに RAS メッセージで通知する。
それに対する応答を RRA メッセージで返す。

6. 注射指示・実施メッセージ構文

本規約では、HL7 メッセージを構成するセグメントの省略の可否 ([]表記) や繰り返しの可否 ({ }表記) に加え、JAHIS 仕様での要否を明確にするためコメント Usage に要否等を付記した。

メッセージ構文での表記規則：

- Usage (JAHIS仕様での取り扱い)
 - R - 必須。
 - RE - 存在すれば必須 (送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する)。
 - O - オプション。
 - C - トリガーイベントまたはメッセージの使用条件による。
 - X - 本規約では使用しない。
 - N - 使用しない (関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可)。
- 注: [] は省略可能、{ } は繰り返し可能を示す。
- 注: 特にセグメントグループについては、そのセグメントグループの要否等を記し、さらに、そのグループに属する個々セグメントの要否等を記した。

表 6-1 RDE 注射指示メッセージ イベント (一部抜粋)

RDE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	Usage
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Header)	N
[	--- PATIENT begin	R
PID	Patient Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	N
[	--- PATIENT_VISIT begin	O
PV1	Patient Visit	O
[PV2]	Patient Visit - Additional Info	N
]	--- PATIENT_VISIT end	
:	:	:

6.1 メッセージ構造

本規約では、注射指示および注射実施のメッセージ構成を最小粒度である 1 回ごとの実施予定単位、つまり施用単位に細分化するメッセージ構造に定義した。注射指示データという性質上、1 回の施用単位ごとの修正や中止、実施操作が頻繁に行われるため、1 回の施用単位でメッセージを交換したほうが、注射実施時などに指示内容や実施内容の判断がしやすい。

6.2 注射指示情報通知(RDE/RRE)

注射指示情報の通知には注射指示メッセージ(RDE)を用いる。その応答には注射指示確認応答メッセージ(RRE)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.2.1 RDE 注射指示メッセージ イベント(O11)

注射指示は、RXE および RXR セグメントを詳細セグメントとして備えた RDE メッセージを使用する。

表 6.2-1 RDE 注射指示メッセージ

RDE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	Usage
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Header)	N
[	--- PATIENT begin	R
PID	Patient Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	N
[	--- PATIENT_VISIT begin	O
PV1	Patient Visit	O
[PV2]	Patient Visit - Additional Info	N
]	--- PATIENT_VISIT end	
[{	--- INSURANCE begin	O
IN1	Insurance	O
[IN2]	Insurance Additional Info	N
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert	N
}}	--- INSURANCE end	
[GT1]	Guarantor	N
[{AL1}]	Allergy Information	O
]	--- PATIENT end	
{	--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
[{	--- TIMING begin	N
TQ1	Timing/Quantity	N
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}}	--- TIMING end	
[	--- ORDER_DETAIL begin	N
RXO	Pharmacy/Treatment Prescription Order	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for RXO)	N
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	N
[{	--- COMPONENT begin	N
RXC	Pharmacy/Treatment Component (for RXO)	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for each RXC)	N
}}	--- COMPONENT end	
]	--- ORDER_DETAIL end	
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	R
[{NTE}]	Notes and Comments (for RXE)	N

RDE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	Usage
{	--- TIMING_ENCODED begin	R
TQ1	Timing/Quantity	R
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}	--- TIMING_ENCODED end	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	R
[{RXC}]	Pharmacy/Treatment Component (for RXE)	O
[{	--- OBSERVATION begin	O
OBX	Results	O
[{NTE}]	Notes and Comments (for OBX)	N
}]	--- OBSERVATION end	
[{FT1}]	Financial Detail	N
[BLG]	Billing Segment	N
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	O
}	--- ORDER end	

- メッセージ構造はRDE_O11を使用する。
- MSHはメッセージに1つ必須である。
- 本規約ではPIDを必須とする。
- ORC～CTIを指示されたRpと施用の組み合わせごとに繰り返す。Rp、施用ともに複数ある場合は施用の繰り返しを優先する。
- RXCをRpと施用の組み合わせの中で指示された投与薬剤ごとに繰り返す。
- 患者プロフィール情報は、RXCの下にOBXに設定する。そのため、各々の施用に対して繰り返し設定する必要があることに注意すること。

以下、図 6.2-1 に「注射指示メッセージと注射箋イメージとの対応関係」を示す。

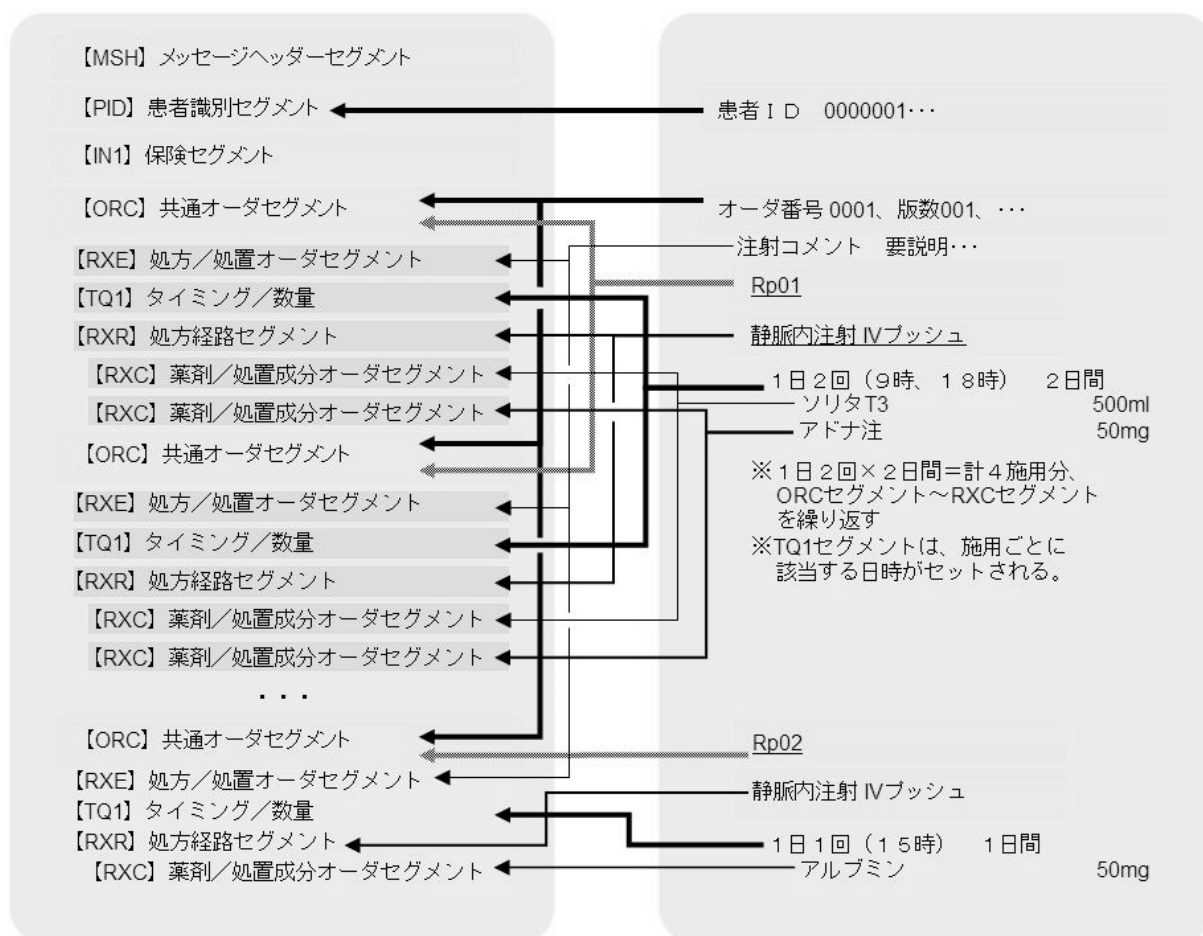


図 6.2-1 注射指示メッセージと注射箋イメージとの対応関係

6.2.2 RRE 注射指示確認応答メッセージ イベント(O12)

表 6.2-2 RRE 注射指示確認応答メッセージ

RRE	Pharmacy/TreatmentEncoded Order Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ERR}]	Error	O
[{SFT}]	Software	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Header)	N
[	--- RESPONSE begin	O
[	--- PATIENT begin	R
PID	Patient Identification	R
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	N
]	--- PATIENT end	
{	--- ORDER begin	O
ORC	Common Order	O
[{	--- TIMING begin	N
TQ1	Timing/Quantity	N
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}]	--- TIMING end	
[	--- ENCODING begin	O
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	O
[{NTE}]	Notes and Comments (for OBX)	N
{	--- TIMING_ENCODED begin	O
TQ1	Timing/Quantity	O
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}	--- TIMING_ENCODED end	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	O
[{RXC}]	Pharmacy/Treatment Component	O
]	--- ENCODING end	
}	--- ORDER end	
]	--- RESPONSE end	

- メッセージ構造はRRE_O12を使用する。
- MSH、MSAはメッセージに1つ必須である。
- 本規約では指示内容を含む場合はPIDを必須とする。
- RESPONSEブロックは省略可能である。
- ORC～RXCを指示されたRpと施用の組み合わせごとに繰り返す。Rp、施用ともに複数ある場合は施用の繰り返しを優先する。
- RXCをRpと施用の組み合わせの中で指示された投与薬剤ごとに繰り返す。

6.3 注射実施情報通知(RAS/RRA)

注射実施情報の通知には注射実施メッセージ(RAS)を用いる。その応答には注射実施確認応答メッセージ(RRA)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下の通りである。

6.3.1 RAS 注射実施メッセージ イベント(O17)

注射実施は、RXE および RXR セグメントを詳細セグメントとして備えた RAS メッセージを使用する。

RAS 注射実施メッセージ

RAS	Pharmacy/Treatment Administration	Usage
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Header)	N
[	--- PATIENT begin	R
PID	Patient Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	N
[{AL1}]	Allergy Information	O
[	--- PATIENT_VISIT begin	O
PV1	Patient Visit	O
[PV2]	Patient Visit - Additional Info	N
]	--- PATIENT_VISIT end	
]	--- PATIENT end	
{	--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
[{	--- TIMING begin	N
TQ1	Timing/Quantity	N
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}}	--- TIMING end	
[	--- ORDER_DETAIL begin	N
RXO	Pharmacy/Treatment Prescription Order	N
[	--- ORDER_DETAIL_SUPPLEMENT begin	
[{NTE}]	Notes and Comments (for RXO)	N
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	N
[{	--- COMPONENT begin	N
RXC	Pharmacy/Treatment Component (for RXO)	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for each RXC)	N
}}	--- COMPONENT end	
]	--- ORDER_DETAIL_SUPPLEMENT end	
]	--- ORDER_DETAIL end	
[	--- ENCODING begin	O
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	O
{	--- TIMING_ENCODED begin	O
TQ1	Timing/Quantity	O
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O
}	--- TIMING_ENCODED end	

RAS	Pharmacy/Treatment Administration	Usage
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	O
[{RXC}]	Pharmacy/Treatment Component	O
]	--- ENCODING end	
{	--- ADMINISTRATION begin	R
{RXA}	Pharmacy/Treatment Administration	R
RXR	Pharmacy/Treatment Route	R
[{	--- OBSERVATION begin	O
OBX	Observation/Result	O
[{NTE}]	Notes and Comments (for OBX)	N
}}	--- OBSERVATION end	
}	--- ADMINISTRATION end	
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	O
}	--- ORDER end	

- メッセージ構造はRAS_O17を使用する。
- MSHはメッセージに1つ必須である。
- 本規約ではPIDを必須とする。
- ENCODINGブロックは省略可能である。
- ORC～CTIを実施されたRpと施用の組み合わせごとに繰り返す。Rp、施用ともに複数ある場合は施用の繰り返しを優先する。
- RXCをRpと施用の組み合わせの中で指示された投与薬剤ごとに繰り返す。
- RXAをRpと施用の組み合わせの中で実施された投与薬剤と投与期間の組み合わせごとに繰り返す。投与薬剤、投与期間ともに複数ある場合は投与薬剤の繰り返しを優先する。

以下、図 6.3-1 に「注射実施メッセージと注射箋イメージとの対応関係」を示す。

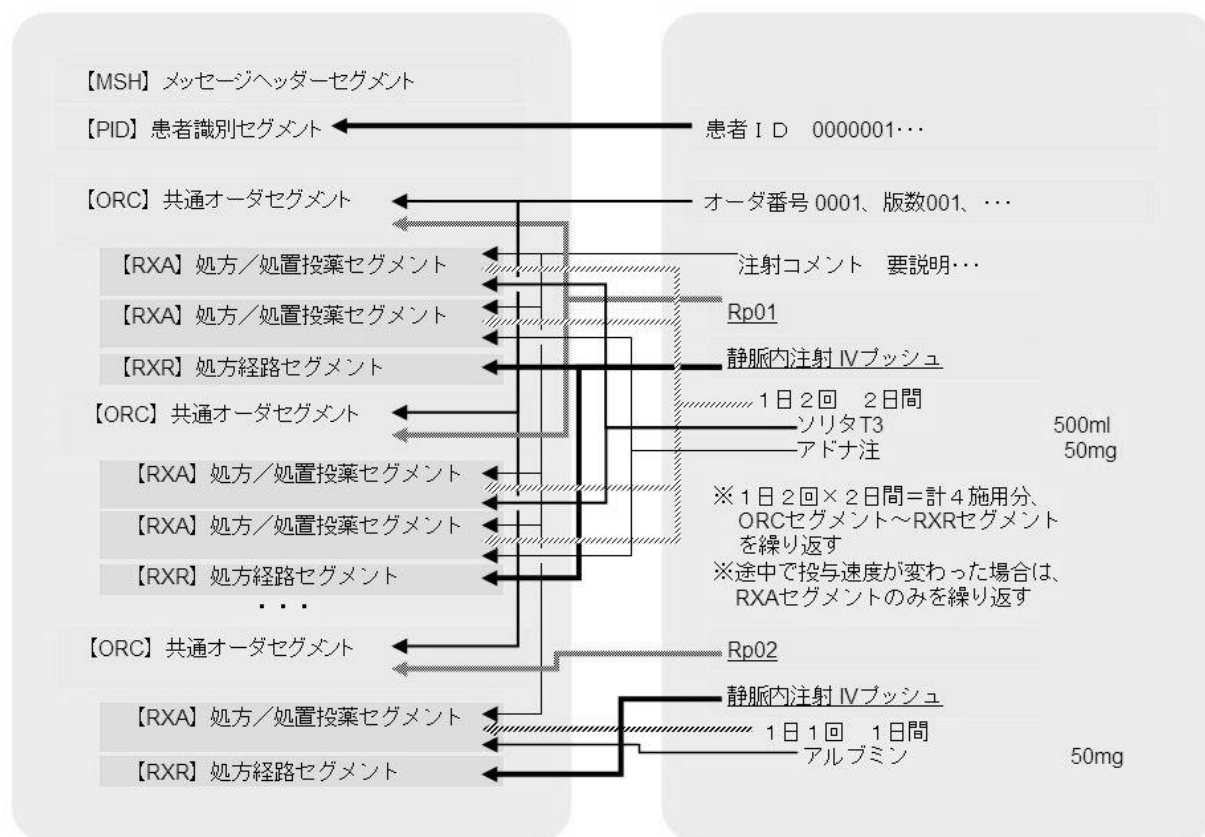


図 6.3-1 注射実施メッセージと注射箋イメージとの対応関係

6.3.2 RRA 注射実施確認応答メッセージ イベント(O18)

RRA 注射実施確認応答メッセージ

RRA	Pharmacy/Treatment Administration Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ERR}]	Error	O
[{SFT}]	SoftWare	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Header)	N
[	--- RESPONSE begin	O
[	--- PATIENT begin	R
PID	Patient Identification	R
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	N
]	--- PATIENT end	
{	--- ORDER begin	O
ORC	Common Order	O
[{	--- TIMING begin	N
TQ1	Timing/Quantity	N
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}]	--- TIMING end	
[	--- ADMINISTRATION begin	O
{RXA}	Pharmacy/Treatment Administration	O
RXR	Pharmacy/Treatment Route	O
]	--- ADMINISTRATION end	
}	--- ORDER end	
]	--- RESPONSE end	

- メッセージ構造はRRA_O18を使用する。
- MSH、MSAはメッセージに1つ必須である。
- 本規約では実施情報を含む場合はPIDを必須とする。
- RESPONSEブロックは省略可能である。
- ORC～RXRを実施されたRpと施用の組み合わせごとに繰り返す。Rp、施用ともに複数ある場合は施用の繰り返しを優先する。
- RXAをRpと施用の組み合わせの中で実施された投与薬剤と投与期間の組み合わせごとに繰り返す。投与薬剤、投与期間ともに複数ある場合は投与薬剤の繰り返しを優先する。

7. 関連セグメント詳細

セグメントの解説の最初にセグメント属性表を設けている。詳細は JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。以下にその要約を示す。

SEQ : セグメント ID に続くフィールド連番

LEN : フィールドの最大長

DT : フィールドのデータ型（データ型の解説を参照）

OPT/JAHIS : フィールドにおける値の省略の可否(JAHIS は JAHIS 使用での取り扱い)

R - 必須

RE - 存在すれば必須（送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する）

C - トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による

O - オプション

X - 本規約では使用しない

B - HL7 の旧バージョンとの互換性のために残されているフィールド

N - 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可）

W - 取り消し

RP# : フィールド成分の反復の可否

N - 反復不可

Y - 反復可、反復回数の制限がある場合続く数値で指定

整数 - 反復数の上限

TBL# : フィールドで使用する HL7 表ないし使用者定義表の番号

ELEMENT NAME : フィールドの名称

* : JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」と差異があることを示す

【注射】は、本規約固有の仕様を表す。同様に、【共通】は、データ交換規約（共通編）固有の仕様を表しており、本規約でも有効である。

7.1 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報セグメント

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.2 CTI - Clinical Trial Identification Segment 治験識別セグメント

CTI セグメントはオプションのセグメントであって、オーダまたは結果が関係している治験、段階および時間ポイントを識別する情報を含んでいる。

HL7属性表－CTI－Clinical Trial Identification 治験識別

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	60	EI	R	R			Sponsor Study ID 後援者試験識別子
2	250	CE	C	C			Study Phase Identifier 試験段階識別子
3	250	CE	O	O			Study Scheduled Time Point 試験予定時間ポイント

CTI フィールド定義

CTI-1 Sponsor Study ID 後援者試験識別子 (EI) 01011

成分:<Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドは、治験の汎用の識別子を含んでいる。コード化方式は HL7 V2.5 「7.8.1 節 CSR-1－試験 ID」に記述されたとおりである。

CTI-2 Study Phase Identifier 試験段階識別子 (CE) 01022

定義: このフィールドは、患者が入った試験のフェーズを識別する。コード化方式の詳細に関しては、HL7 V2.5 「7.8.2 節 CSP-1－試験段階 ID」を参照すること。

CTI-3 Study Scheduled Time Point 試験予定時間ポイント (CE) 01055

定義: このフィールドは、治験のフェーズ中の時間ポイントを識別する。もし「CTI-3－試験予定時間ポイント」が評価されるならば、「CTI-2－試験段階識別子」が評価されなければならない。HL7 V2.5 「7.8.3 節 CSS-1－予定時間ポイント」に対応するべきである。

7.3 ERR - Error Segment エラー情報セグメント

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.4 IN1 - Insurance Segment 保険セグメント

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.5 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ識別セグメント

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.6 MSH - Message Header Segment メッセージヘッダーセグメント

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.7 OBX - Observation/Result Segment 検査結果セグメント

OBX セグメントは、単一検査あるいは部分検査を転送するのに使用される。それは分割不可能なレポートの最小単位に相当する。OBX セグメントは、また、CDA ドキュメントや DICOM イメージデータのようなカプセル化したデータも含み得る。

その主な機能は、レポートメッセージで検査関連情報を伝達することである。しかし、OBX を検査オーダに含めることもできる（HL7 V2.5 4.4 節オーダメッセージ定義を参照のこと）。この場合、実施者が作成する検査結果を解釈できるように、実施者が必要とする臨床情報を OBX で伝送する。例えば、血液酸素を血液ガス検査室へオーダする場合に吸気酸素を報告するのに OBX は必要であり、あるいは、パップ塗抹試験を細胞診検査室へオーダする場合に含まれているべき月経周期情報を報告するためにも OBX は必要である。HL7 V2.5 付録 7.A に記述されているコードは、検査結果を適切に解釈するために、検査実施部門が必要とする個々の情報を識別するためのものである。OBX は、患者の臨床情報を含む必要のある他の HL7 メッセージ中にもある。

【注射】本規約では、依頼時点での身長・体重・感染症等の患者プロファイル情報を部門システムに伝達する目的で主に使用する。

HL7属性表－OBX－Observation/Result Segment 検査結果セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - OBX セットID
2*	3	ID	C	R*		0125	Value Type 値型
3*	250	CE	R	R			Observation Identifier 検査項目ID
4	20	ST	C	C			Observation Sub-ID 検査サブID
5*	65536	*	C	R*	Y		Observation Value 検査結果値
6	250	CE	O	O			Units 単位
7	60	ST	O	O			References Range 標準値
8	5	IS	O	O	Y	0078	Abnormal Flags 異常フラグ
9	5	NM	O	O			Probability 確率
10	2	ID	O	O	Y	0080	Nature of Abnormal Test 異常検査の特質
11*	1	ID	R	R		0085	Observ Result Status 検査結果状態
12	26	TS	O	O			Effective Date of Reference Range 標準値有効日付
13	20	ST	O	O			User Defined Access Checks ユーザ定義アクセス点検
14	26	TS	O	O			Date/Time of the Observation 検査日時
15	250	CE	O	O			Producer's ID 実施者ID
16	250	XCN	O	O	Y		Responsible Observer 検査責任者
17	250	CE	O	O	Y		Observation Method 検査方法
18	22	EI	O	O	Y		Equipment Instance Identifier 機器インスタンス識別子
19	26	TS	O	O			Date/Time of the Analysis 分析日時

OBX フィールド定義

OBX-1 Set ID - OBX セットID (SI) 00569

定義：このフィールドは、通し番号を含んでいる。ASTM との互換性を維持するためのもの。

OBX-2 Value Type 値型 (ID) 00570

定義：このフィールドは、OBX 内の検査結果値のフォーマットを含んでいる。「OBX-11 検査結果状態」が「X」でない場合、それは値を持たねばならない。値が CE、CNE または CWE である場合、結果はコード化入力値でなければならない。値型が TX または FT である場合、結果はテキスト群である。検査の値型で有効な値は、「HL7 表 0125 値型」に列記される。

【共通編】現在は、「HL7 表 0440 データ型」が使われていると思われる。

検査値は、2.5 節「データ型」で定義されたデータ型のフォーマットに応じて表記されなければならない。例えば、PN は成分デリミタにより分離した 6 つの成分から成る。

NM は有効な型であるが、通常数字として報告される検査では、結果の一部として非数値文字が報告されることが多いので（結果が測定器で計りきれないことを示すために >300 を使う場合など）、文字列(ST)データ型を持つことがある。例えば、” >300” では、” >” は記号であり、桁” 300” は数値と考えられる。しかしながら、ST タイプのこの使用は推奨されない。なぜなら SN（構造化した数値）データ型は今そのような報告を受け入れ、さらに、SN データ型によって受信システムが大きさを解釈できるからである。

HL7 データ型はすべて有効であり、表 0125 に含まれている。ただし、CM、CQ、SI および ID は除く。CM 定義が意味を持つためには、CM に関する詳細がフィールド定義に含まれていなければならない。「OBX-5 検査結果値」はデータ型 OBX-3 によって影響を及ぼされる一般的なフィールド定義である。したがって、CM はこの文脈中で定義されない。

CQ は無効である。なぜなら「OBX-5 検査結果値」のためのユニットが、「OBX-6 単位」を備えた OBX セグメント中で明示的に常に指定されるからである。

SI は無効である。なぜなら、それは単に HL7 メッセージセグメントに適用されるに過ぎないからである。

ID は無効である。なぜなら、それは一定のフィールド定義を必要とするからである。

実際の検査値が OBX では送られていないが、他のどこかに存在する場合、RP 値（参照ポイント）を使用しなければならない。例えば、検査が画像（ドキュメント関連画像あるいは医学関連画像）から成る場合、画像そのものは OBX で送ることができない。その場合、送信システムは、参照ポイントを送信するよう選択することができる。受信システム側は、DICOM などの他の標準インタフェースにより、あるいは適切なデータベースサーバーにより実際の画像へアクセスする必要がある場合は、いつでもこの参照ポイントを使用することができる。

HL7表 0125 - Value type 値型

Value	Description
AD	Address 住所
CE	Coded Entry コード化された値
CF	Coded Element With Formatted Values 値整形済コード化要素
CK	Composite ID With Check Digit 点検数字付き複合 ID
CN	Composite ID And Name 複合 ID と名前
CNE	Coded with No Exceptions 例外なしコード化値
CP	Composite Price 複合価格
CWE	Coded with Exceptions 例外を含むコード化値
CX	Extended Composite ID With Check Digit チェックデジット付き拡張複合 ID
DT	Date 日付
ED	Encapsulated Data カプセル化されたデータ
FT	Formatted Text (Display) 整形済みテキストデータ
MO	Money 金額
NM	Numeric 数値
PN	Person Name 人名
RP	Reference Pointer 参照ポインタ
SN	Structured Numeric 構造化数値
ST	String Data 文字列データ
TM	Time 時間
TN	Telephone Number 電話番号
TS	Time Stamp (Date & Time) タイムスタンプ
TX	Text Data (Display) テキストデータ
XAD	Extended Address 拡張住所
XCN	Extended Composite Name And Number For Persons 拡張複合 ID 番号および人の名前
XON	Extended Composite Name And Number For Organizations 拡張複合組織名称および識別子番号
XP	Extended Person Number 拡張人名
XTN	Extended Telecommunications Number 拡張遠距離通信番号

【共通編】 CNE、CWE を追加。

これらのデータ型の完全な定義は、2.5 節「データ型」の中で与えられる。構造化した数値(SN)データ型は、HL7 V2.3 で初めて扱われ、それが提供するものは、報告範囲（例えば、3-5 あるいは

10-20)、力価(例えば、1:10)および範囲外の指示(例えば、>50)であって、構造化され、コンピュータが解釈できる方法で提供される。

我々は、OBX セグメント中の FT データ型を許可する。しかし、その使用は推奨しない。フォーマティングされたテキストは、意味のある構造を通常意味する。例えば、異なるライン上で報告された独立している3つの診断のリストを意味する。しかし、理想的には、独立している診断の3つの文中の構造は、3つの個別の OBX セグメントとして報告される。

大量のテキストを送るとき以外、TX は使用してはならない。TX データ型では、反復デリミタは段落の区切りを識別するためだけに使用できる。短い、そして、恐らくコード化できるテキスト文字列を送るため ST を使用すること。

CDA ドキュメントは、ドキュメント (MDM または ORU のような) を置き換えることができる任意のメッセージ中で、OBX セグメントにて置き換えられる。OBX セグメント内では、MIME パッケージは、カプセル化された(ED)データ型としてコード化される。

OBX-3 Observation Identifier 検査項目 ID (CE) 00571

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、検査を表す一意な識別子を含んでいる。形式は「コード化要素」(CE)の形式と同じ。

例: 8625-6^P-R interval^LN

ほとんどのシステム構成では、識別子によって示されるのは、受信システムが受信した検査を処理するのに使用できる他の検査属性を列記したマスタ検査表だろう。そのようなマスタ検査表を送信するためのメッセージセグメントのセットについては HV7 V2.5.8 章に記述される。検査項目 ID とマスタ検査表との関係は、請求コード(請求レコード内の)と料金表の关系到類似している。

このフィールドの第1識別子にローカル・コードを使用する場合、汎用的な識別子も同様に送信することを強く推奨する。それにより、様々な提供者が同じサービスについて、それぞれ結果を送信してきた場合(例えば、病院臨床検査室と民間臨床検査室が、老人ホームに血清カリウムの検査結果を供給してきた場合)、受信側でそれらの結果を同様に扱う事ができる。

LOINC は HL7 で承認された検査のためのコーディングシステムである。臨床検査、身体所見、放射線学研究、医療費請求のための添付ファイルなどの項目を網羅しており、www.regenstrief.org/loinc.htm から手に入れることができる。

利用可能な汎用的な識別子の1つは、検査室および臨床測定のための LOINC コードである(「HL7 使用者定義表 0396」および HL7 [www](http://www.hl7.org) リスト・サーバーを参照のこと)。また、神経生理学検査に関しては ASTM E1467 の附属書 X2 を参照すること。

読影所見に関する識別子の討議は HL7 V2.5 7.2.3 節と 7.2.4 節を参照のこと。

【注射】患者プロフィール情報を記述する場合、共通編で定義されている検査項目については、その検査項目 ID を使用すること。それ以外の検査項目については、LOINC を推奨とする。

OBX-4 Observation Sub-ID 検査サブ ID (ST) 00572

定義: このフィールドは、1つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ観察 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。例えば、胸部 X 線レポートには独立した3つの診断が含まれることがある。標準では、3つの OBX セグメント(1つの診断所見に1つの OBX セグメント)が必要である。これらの OBX セグメントの1番目のサブ ID に1、2番目のサブ ID に2、および3番目のサブ ID に3を入れることにより、HL7 は、編集あるいは交換に際し、各 OBX セグメントを一意に識別することができる。

サブ識別子は、外科病理学などのレポートで関連成分をグループ化するのにも使われる。外科病理学レポートでは、1回の手術により得られた組織をすべて1つのレポートにまとめるということは、昔からよくある。胆嚢および虫垂の検査を記述した単一の外科病理学レポートを考えてみる。このレポートは概ね図 7.7.1 に示すように転送されるだろう。

```
OBR|1||1234^LAB|88304&SURG PATH REPORT|...<cr>
OBX|1|CE|88304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM|...<cr>
```

```

OBX|2|TX|88304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALLBLADDER|...<cr>
OBX|3|TX|88304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAM SHOWS HISTOLOGICALLY
    NORMAL GALLBLADDER TISSUE|...<cr>
OBX|4|CE|88304&IMP|1|M-00100^NML^SNM|...<cr>
OBX|5|CE|88304&ANT|2|T66000^APPENDIX^SNM|...<cr>
OBX|6|TX|88304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED, SWOLLEN, BOGGY APPENDIX|...<cr>
OBX|7|TX|88304&MDT|2|INFILTRATION WITH MANY PMN's - INDICATING INFLAMMATORY CHANGE|...<cr>
OBX|8|CE|88304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM|...<cr>

```

図 7.7.1 サブ識別子使用の例

図 7.7.1 の例では、レポートの各成分に対して 2 つのセグメントがある（2 つある組織のそれぞれに対して 1 つのセグメント）。このように、88304&ANT セグメントが 2 個存在する；88304&GDT セグメントが 2 個存在する。88304&MDT セグメントが 2 個存在する。胆嚢に適用されるセグメントはすべてサブ識別子として「1」を持つ。虫垂に適用されるセグメントはすべてサブ識別子「2」を持つ。

検査サブ ID はその他の目的でグループ化する場合にも使用できる。それはいくつかの種類の体液採取および排泄のレポートを編成するのに使用することができる。例えば、複数の静脈ラインにより採血を実施した場合、それぞれの静脈ラインでは、多くの個別の検査（OBX セグメント）、採取量、採取の型（血液、D5W、血漿など）、静脈ラインの部位などが必要になる。つまりそれぞれの静脈ラインが個別の OBX セグメントを必要とする。複数の静脈ラインが走っている場合、HL7 では、第 1 の静脈ラインに関係する OBX セグメントすべてに検査サブ ID 「1」を割り当てることにより、それらの OBX セグメントを論理上リンクすることができる。同様に、サブ ID 「2」を割り当てることにより、第 2 の静脈ラインに関してすべての OBX をリンクすることができる。複数の外科的ドレーンが存在する場合に、その出力に対しても同様のことができる。

同じ検査項目 ID の反復 OBX を識別するサブ ID の使用は、実はサブ ID をグループ化のため使用する特別の場合である。それは図 7.7.1 の OBX セグメントを表にすればわかる。この表では、列は検査の特定の種類に対応し、セルはそれぞれ対応する OBX に関連するサブ ID 番号に対応する。

別個検査	88304&ANT	88304&GDT	80304&MDT	80304&IMP
subID、 第1のグループ	1	1	1	1
subID、 第2のグループ	2	2	2	2

結果をグループ化するサブ ID の使用は、テーブルを定義することと等価である。そして、反復を識別するためのサブ ID の使用は、このテーブルの 1 つの列で表される特別な場合である。

しかしながら、我々がグループ内の 1 連の反復検査を行っていれば、この方法は曖昧になる。例えば、図 7.7.2 に示すような所見が追加された検査は、第 8 と第 9 の OBX の中に 2 つの所見を含んでいる。これは実は、上に与えられた表の単一のセル内に、入れ子にされた行が存在することを表わす。

```

OBX|1|CE|880304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM...
OBX|2|TX|880304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALL BLADDER...
OBX|3|TX|880304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAMINATION SHOWS HISTOLOGICALLY
    NORMAL GALLBLADDER TISSUE...
OBX|4|CE|880304&IMP|1|M-00100^NML^SNM...
OBX|5|CE|880304&ANT|2|T57000^APPENDIX^SNM...
OBX|6|TX|880304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED APPENDIX...
OBX|7|TX|880304&MDT|2|INFLAMMATION WITH MANY PUS CELLS-ACUTE INFLAMMATION...
OBX|8|CE|880304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM...
OBX|9|CE|880304&IMP|2|M-30280^FECALITH^SNM...

```

図 7.7.2 サブ識別子使用の例

「OBX-5 検査結果値」の下テキストは、同じ検査項目 ID および検査サブ ID を備えた 2 つの OBX を扱うことに関するガイダンスを提供する。それらは 1 ユニットとして送られ交換される。しかしながら、一部のシステムは、OBX のセットが受信システム中の 1 つの合成された検査へ組み合わせられるという意味に解釈する。ユーザが編集および修正の目的ために 1 つのタイプ内の各々の

反復を区別し、または1つのセル内の結果を区別したい場合、ユーザはドットおよび文字列（十進分類法に似ている）を使用するよう我々は推奨する。このシステムを使用すると、図 7.7.2 は図 7.7.3 になる。そのような入れ子がさらに深いレベルに生じる場合があるならば、この方法は拡張することができる。

```
OBX|1|CE|880304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM...
OBX|2|TX|880304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALL BLADDER...
OBX|3|TX|880304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAMINATION SHOWS HISTOLOGICALLY
    NORMAL GALLBLADDER TISSUE...
OBX|4|CE|880304&IMP|1|M-00100^NML^SNM...
OBX|5|CE|880304&ANT|2|T57000^APPENDIX^SNM...
OBX|6|TX|880304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED APPENDIX...
OBX|7|TX|880304&MDT|2|INFLAMMATION WITH MANY PUS CELLS-ACUTE INFLAMMATION...
OBX|8|CE|880304&IMP|2.1|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM...
OBX|9|CE|880304&IMP|2.2|M-30280^FECALITH^SNM...
```

図 7.7.3 サブ ID の使用の例

倍数の必要がない場合、null または 1 を使用すること。

検査が検査項目 ID OBX-3 に対する同じ等価物を備えた多くの OBX を含んでいる場合、サブ ID に対し、異なる値を使用しなければならない。これは実際、図 7.7.3 に示す反復の場合である。しかし、OBX のセットをグループ化する必要はない。そのような3つの OBX は、サブ ID の 1、2、などを使用して識別することがある；あるいは図 7.7.3 に示されるように、サブ ID の 1.1、1.2、1.3 を使用することがある。図 7.7.4 に示すのは、心電図、胸部 X 線写真の報告書の例で3つの診断所見を持ち、サブ ID フィールドの 1、2、3 を使用して、これらの3つの結果を識別している。

```
OBX|1|CE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|1|^atrial fibrillation|...
OBX|2|CE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|2|^OLD SEPTAL MYOCARDIAL INFARCT|...
OBX|3|CE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|3|^poor R wave progression|...
```

図 7.7.4 同じ検査項目 ID を備えた3つの独立の結果を識別するため使用されたサブ ID の例

OBX-5 Observation Value 検査結果値 (*) 00573

定義：このフィールドは、検査実施者により検査された値を含んでいる。検査結果値はこのフィールドのデータ型に応じてフォーマットされるが、そのデータ型は「OBX-2 値型」に含まれる。それは必須ではない。なぜなら一部のシステムは、特に市販後調査を報告する際に、正常／異常(OBX-8)だけを報告するからである。

検査結果項目の長さは「OBX-2 値型」により可変である。このフィールドは、適切なデータ型、例えば、CE、TX、および FT データ型を有するマルチパートを構成する単一の結果を繰り返すことができる。

表記

このフィールドには、同じセグメントの「OBX-3 検査項目 ID」の値が含まれる。検査に依存するが、データ型は数値（例えば、呼吸数）、具体的なコード（SNOMED で記述された病理所見など）あるいは日時（1 単位の血液が病棟に送られる日時）のどれかである。検査結果値は、同じセグメントの「OBX-2 値型」で指定されたデータ型として表記される。数値なのか、あるいは短いテキストなのかどうかにかかわらず、結果は ASCII テキストで記録されるものとする。

論理上独立している検査の報告

放射線検査や「病歴・身体計測」などの書き取りレポートの主要箇所は、個別の OBX セグメントとして報告される。また、論理上独立している個々の検査は、個別の OBX セグメントで報告すべきである。つまり、1 個の OBX セグメントには、論理上独立している複数検査の“結果”を含んではない。この要求事項により、「OBX-6 単位」および「OBX-8 異常フラグ」、および「OBX-9 確率」の内容が明白に解釈できるようになる。例えば、電解質およびバイタルサイン・セットは、4 つの個別の OBX セグメントとして報告されるだろう。2 つの診断（うっ血性心不全と肺炎など）は、それが退院時サマリーの一部として報告されたのかあるいは胸部 X 線レポートの一部として報

告されたのかにかかわらず、さらに2つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。同様に、単一の細菌培養内で分離された2つの細菌性生物は、2つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。

1つのOBXセグメントで、独立した2つの診断“記述文”を報告することはできないが、2つの診断“記述文”がそれぞれ一部（修飾子）として一緒になって1つの診断記述文を構築するのであれば、定性値として複数回答することができる（通常、反復デリミタにより分離されたCEデータ型として）。例えば、右上葉（1つのコードとして記録される）と肺炎（別のコードとして記録される）の両方を1つのOBXセグメントで報告できるだろう。そのような複数の“値”は反復デリミタにより分離されるだろう。

共通の検査項目IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメント

いくつかのシステムでは、単一の検査に複数データ型の“一部”が含まれることがある。よくある例は、数値結果の後にコード化注記(CE)が続くことである。この場合、検査結果情報は、複数のOBXセグメントで送ることができる。例えば、あるセグメントは、数値結果を表すための数値データ型あるいは文字列データ型であるが、もう1つのセグメントはコード化注記を表すCEデータ型である場合などがある。実施者が複数のコード化注記を報告しているとすると、その複数のコード化注記は、すべて単一の論理検査情報を修正してしまうので、反復デリミタで分離された1つのOBXセグメントで送信されるだろう。同じ検査項目IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは、最も重要なOBXセグメント（正常なフラグ/単位、および/あるいは、基準値および状態フラグを持つOBXセグメント）を最初に指定して、常に連続して送信すべきである。OBX6~12の値は、同じ「OBX-3 検査項目ID」と「OBX-4 検査サブID」を持つ後続のOBXセグメントでは、nullとすべきである。置換または削除をする場合、同じ検査項目IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは、1単位として扱われる。どれか1つが置換、または削除されると、すべてが置換される。

コード化値

OBXセグメントにCEデータ型の値が含まれる場合、検査はコードおよび（または）テキストの組み合わせとして保管される。HL7 V2.5 7.8.3 節の「CSS-臨床試験スケジュールセグメント」にCEデータ型として表した結果の例を示す（「OBR-1」の1番目と2番目のOBXセグメント、「OBR-2」の1番目と2番目のOBXセグメントに記述されている結果）。検査は、（推奨検査を表す）検査項目ID、（診断を表す）診断コードか所見、または病理学レポートで使う部位、あるいは他の任意の種類のコード化結果などである。

コード化検査に保管された情報は、必ずしもコード化する必要はない。例えば、胸部X線診断がCEデータ型であったとしても、純粋テキストとして転送することができるだろう。この場合は、例えば、以下のように記述して、“結果コード”の第2成分として検査を記録しなければならない。

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE. |...<cr>
```

しかし、個別の診断、指導などは、純粋テキストとして記録するとしても、個別の結果セグメントに記録すべきである。すなわち、うっ血性心不全と肺炎は、

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE AND PNEUMONIA|...<cr>
```

ように送信するのでなく、以下のように送信すること。

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE| ...<cr>
OBX|2|CE|71020&IMP|2|^PNEUMONIA|...<cr>
```

さらに望ましいのは、テキスト記述（構成要素2）の代わりに、あるいはそれに加えて、コンピュータで理解可能なコード（構成要素1）を含む完全なコード化された結果であろう。1つのCE値に複数の値を含めることができ、これらはコードとテキストの混合であってもよいが、1つの診断、所感、または概念を構築するために必要な場合に限られる。テキストが独立している値としてコードの後に来る場合、それはコードの修飾子あるいは追加として解釈される。例えば、

OBX|1|CE|710120&IMP^CXR|1|428.0^CONGESTIVE HEART FAILURE^I9C~^MASSIVE HEART...<cr>

成分2のテキストは、成分1のコードの正確な記述とするべきである。同様に、もし使用されれば、成分5のテキストは成分4のコードの正確な記述とするべきである。

OBXへのCDAの挿入

CDAドキュメントは、OBXセグメントで交換される。「OBX-2 値型」の値はEDである。OBX-5 検査結果値にカプセル化されたデータ型としてエンコードされたMIMEパッケージを含む。その成分は以下に通りである。

- ・「OBX-5.2 データ型値」を'multipart'に設定
- ・「OBX-5.3 データサブタイプ値」を'x-hl7-cda-level-one'に設定
- ・「OBX-5.4 エンコード値」を'A'に設定（注意：MIMEパッケージそれ自身はBase64でエンコードされているわけではない。MIMEパッケージの実体がBase64でエンコードされる。MIMEパッケージ自身はASCIIテキストで送信される。したがって、正しい値の内容は'A'であり'Base64'ではない）。
- ・「OBX-5.5 データ値」は、MIMEパッケージと等しいものが配置される。MIMEパッケージ内のすべての実体は、Base64でエンコードされている必要がある。2章にあるように、データ要素はHL7のデリミタで分離されなければならない（および改行のような非印字ASCII文字か非ASCII文字）、そして2.4節でエスケープ文字を定義しているように受信アプリケーションは、そのデータをディエスケープする必要がある。その結果、MIMEパッケージで必要とされるCR/LFシーケンス送信前にエスケープされる（すなわち、'\X0D0A\'に変換される）。最初のMIMEコンテンツタイプは'applica-tion/x-hl7-cda-level-one+xml'に設定されており、CDAドキュメント自体を含める必要がある。送信されるCDAドキュメントから参照されるマルチメディアオブジェクトは、MIMEパッケージの連続する実体に配置される。

【注射】身長・体重・感染症などの患者プロフィール情報の送信：

身長・体重・感染症などの患者プロフィール情報を記述する場合、項目ごとに適切なデータ型を使用し、例えば以下のような表記を行う。

例：

```
OBX|1|NM|8302-2^身長^LN||170.0|cm^cm^ISO+||||F|||20220803<CR>
OBX|2|NM|3141-9^体重^LN||80.0|kg^kg^ISO+||||F|||20220803<CR>
OBX|3|CWE|883-9^ABO血液型^LN||A^A型^JHSC0001||||F<CR>
OBX|4|CWE|01^消毒アレルギー^JHSC0003||Y^あり^HL70532||||F<CR>
OBX|5|CWE|54536-8^感染症有無^LN||N^なし^HL70532||||F<CR>
OBX|6|CWE|82810-3^妊娠有無^LN||Y^あり^HL70532||||F<CR>
OBX|7|CWE|05^運動障害^JHSC0005||N^なし^HL70532||||F<CR>
OBX|8|CWE|01^飲酒頻度^JHSC0006||01^毎日^JHSC0007||||F<CR>
OBX|9|CWE|02^飲酒量^JHSC0006||03^2~3合未満^JHSC0008||||F<CR>
OBX|10|CWE|01^喫煙有無^JHSC0009||03^吸っていた^JHSC0010||||F<CR>
```

OBX-6 Units 単位 (CE) 00574

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

背景：検査の値が連続的な尺度で測定される場合、OBXセグメントの単位項目内で測定単位を報告しなければならない。HL7 V2.2以降の仕様では、単位を報告する項目はすべてデータ型CEである。

単位コードのためのデフォルトのコーディングシステムは、単一ケースの単位のISOの略語(ISO 2955-83)、およびISOの省略形と衝突しない拡張子から構成される。我々はISO+としてこのコーディングシステムを指定する。

ISO単位の省略形および拡張子の両方が、HL7 V2.5 7.4.2.6.2 節「ISOおよびANSIの慣習的な単位省略形」の中で定義される、ISO+省略形はデフォルトのコーディングシステムのためのコードである。したがって、ISO+単位が使用される場合、ISO+省略形だけを送る必要がある。また、単位項目の内容は、HL7 V2.1と下位互換性を持つ。

報告する単位の識別

我々は、ISO+省略単位を排他的に使用するように検査担当者に強く奨励するが、必要な場合米国の慣習的な単位(ANSIX3.50)およびローカルに定義されたコードを含む他のコードシステムの使用を許す。ローカルな単位は、L または 99zzz と呼ばれる。ここで z は英数字である（図 7.7.2 および 7.7.3 を参照のこと）。ANSIX3.50-1986 は、これらの規格を丁寧に説明し、また、フィートまたはガロンのような米国の慣習的な単位のための、単一ケース省略形の表を提供している。

我々は当初 ANSIX3.50-1986 の米国の慣習的な単位をデフォルト値 ISO+コーディングシステムの中に含める意図があった。しかしながら、ISO の省略形と米国の慣習的な単位の省略形の間に重複がある。例えば、ft は米国の慣習的な単位でフィートの省略形であり、ISO の中の femtotesla の省略形である。

pt は米国の慣習的な単位で pint（パイント）の省略形であり、ISO の中の picotesla の省略形である（ANSI 文書は、一部の ISO 単位の省略形に関する ISO の文書とさらに異なることに留意すること）。潜在的な曖昧さを回避するために、我々はもう 1 つのコーディングシステム、すなわち ANS+を定義した（図 7.7.6 参照のこと）。それに含まれるのは、米国の慣習的な単位（例えば、フィート、ポンド）、ANSIX3.50-1986 に定義された ISO の省略形、図 7.7.6 に列挙された非メートル系の単位、およびこれらの単位の ISO の組み合わせである。一部の ANSI ISO 単位省略形は ISO の中のそれらの省略形と異なることに留意すること（図 7.7.6 の下の注を参照のこと）。

ANS+仕様は、ISO および米国の慣習的な単位の両方、および様々な非メートル系の単位を含んでいるので、省略形のうちのいくつかは曖昧である。特別の検査の文脈では混同はほとんどないが、この曖昧さがあるので ANS+単位コードはできるだけ避けた方がよい。

ANS+単位コード（省略形）が送信される場合、ANS+は、項目の第 3 の（第 6 の）成分に含まれていなければならない。もし距離の単位がメートル(ISO+)として送信されれば、ISO+が単位のデフォルト値コーディングシステムなので、それは m として送信される。しかしながら、もし米国の慣習的な単位のフィートで送信されれば、単位は ft^ANS+として送信される。要求されたとき、単位の全文は第 2 の成分として送ることができる。これは CE データ型の規則に従った形である。

ISO および ANSI の両方とも、大文字と小文字が混合した省略形のセットを提供する。しかし、これらの省略形は意味の損失なしで単一のケースに変換できない。それゆえこの仕様書内では使用すべきでない。この仕様書の内容は、ケースの如何を問わず（大文字か小文字かに関係なく）解釈できるように要求されているからである。

ISO および ANSI の慣習的な単位省略形

ISO は 7 つの基本次元からその単位を構築している。すなわち、メートル、キログラム、秒、アンペア、ケルビン、モルおよびカンデラである（図 7.7.5 を参照のこと）。他の単位は、基本単位に接頭辞を付けて誘導する。これによってスケールを変え、および／または 2 つ以上の基本単位または組み立て単位を代数的に組み合わせたものを作る。しかしながら、いくつかの組み立て単位はそれ自身の省略形を持っている（図 7.7.5 を参照のこと）。米国の慣習的な単位の省略形は図 7.7.5 に与えられる。

ISO の規則は、ANSIX3.50 の中でよく説明されており、倍数接頭辞を加えることにより、異なる目盛の単位を作成する方法を提供する。これらの接頭辞は単語または省略形として表現できる。この規格では、省略形だけを扱う。

単位	省略形	単位	省略形	単位	省略形
基本単位コード／省略形					
アンペア	a	ケルビン	k	メートル	M
カンデラ	Cd	キログラム	kg	モル	Mol
				秒	S
指定された名前および省略形を持つ組み立て単位					
クーロン	c	時間	Hr	パスカル	Pal
日	d	ジュール	J	ボルト	V
セルシウス度	cel	分（時間の）	Min	ワット	W
ファラド	f	ニュートン	N	ウェーバー	Wb
ヘルツ	hz	オーム	Ohm	年	Ann
他の単位					
原子質量単位	u	グレー	gy	角度の分	Mnt
ベル	b	ヘンリー	h	ラジアン	Rad

単位	省略形	単位	省略形	単位	省略形
デシベル	db	リットル	l	ジーメンズ	Sie
度	deg	ルーメン	Lm	ステラジアン	Sr
グラム	g	ルクス	Lx	テスラ	T
完全なセットに関しては、ISO2955-1983を参照すること。					

図7.7.5 ISOの単一ケース単位の省略形

倍数接頭辞のISOの省略形は、図7.7.5に与えられる。 10^{-24} （1兆分の1のさらに1兆分の1）から 10^{24} （1兆×1兆）の範囲の接頭辞がある。キロ（×1000）の単一ケース省略形はkである。1000秒から成る単位の省略形はksであり、1000グラムはkgであり、1000メートルはkmであり、以下同様である。いくつかの接頭辞は基本単位の省略形を共有する。例えば、ファラドとフェムト(10^{-18})は両方とも省略形はfである。混乱を回避するために、ISOは接頭辞だけの単独使用を禁止する。また、1つの複合単位に2つの接頭辞を使用することを推奨しない。したがって、fは常にファラドを意味し、ffは、1ファラドの100万分の1のさらに1兆分の1を意味する。複合した接頭辞は許されない。

単位は、指数関数的に、何乗または何乗分の1で表現できる。正の指数はその数を単位の省略形の直後に付ける。つまり、平方メートルはm²によって表示される。負の指数は基礎単位の直後に負数を付ける。例えば、1平方メートルあたりはm⁻²で表される。分数の指数は分数を括弧の中に入れて表す：メートルの平方根はm(1/2)として表現される。単位の掛け算は単位のための終止符(.)によって示される。例えば、メートル掛ける秒はm.sで表す。スペースが許されないことに留意すること。割り算は2つの単位のための斜線(/)によって示される。例えば、毎秒メートルはm/sとして表示される。

ISO単位省略形の代数的な組み合わせであって、基本ISO単位の割り算、掛け算または累乗によって作ったものも有効なISO省略形単位である。累乗は掛け算または割り算に優先する。例えば、1ヘルツ当たりのマイクロボルトの2乗（スペクトルのパワーの単位）はuv²/hzと表され、マイクロボルトの2乗割る1ヘルツとして評価される。一方、1ヘルツの平方根当たりのマイクロボルト（スペクトルの振幅の単位）はuv/hz(1/2)と表され、マイクロボルト割る1ヘルツの平方根として評価される。もし2つ以上の割り算演算子が表現中に含まれるならば、結合は括弧内に入れて曖昧さを避ける。しかし最良のアプローチは、a/(b/c)を変換してa.c/bあるいはa.c.b-1として表現を単純化することである。

ISOコードは、単位を構築するための文法である。これらの単位の構造の規則は図7.7.5と図7.7.7に基づいている。図7.7.6は、英語圏諸国単位だけに使用すべきで、それは図7.7.7と一緒に使用すべきではない。ISO+表はこの文法から構成された最も一般的な単位（および重要な非ISO単位）が含まれている。文法から派生した他のISO単位も有効である。

単位	省略形	単位	省略形	単位	省略形
長さ		体積		時間	
インチ	in	立方フィート	cft	年	yr
フィート	ft	立方インチ	cin	月	mo
マイル (法定)	mi	立方ヤード	cyd	週	wk
海里	nmi	大さじ	tbs	日	d
ロッド	rod	小さじ	tsp	時間	hr
ヤード	yd	パイント	pt	分	min
		クォート	qt	秒	sec
		ガロン	gal		
		オンス (流体)	foz		
面積		質量			
平方フィート	sqf	ドラム	dr		
平方インチ	sin	グレーン	gr (常衡)		
平方ヤード	syd	オンス (重量)	oz		
		ポンド	lb		
他の ANSI 単位、誘導単位、およびその他					
**英国の熱単位	btu	**華氏の温度	degf	**ミリラド	mrاد
立方フィート/分	cft/min	**フィート/分	ft/min	**ラド	RAD

注：時間の慣習的な米国の単位の省略形は、年を除いて ISO と同じである。年の場合は ISO=ANN、AMSI=yr である。X3.50 の中のメートル単位は、次のものを除いて ISO と同じである：パスカル（「pa」は ANSI、「pal」は ISO）；ANSI は「min」を時間と角度の両方に使用し、一方 ISO は「mnt」を角度に使用している；そして秒は ISO では「s」と略され、ANSI では「sec」と略される。
注：ANS+の仕様には米国、ISO 両方の慣習的な単位、およびその他の非メートル方の単位が含まれているため、一部の省略形は曖昧である。混乱はほとんどないはずだが、特定の検査に照らして、可能であれば ANS+コードを無効にするよい理由になる。
この一覧表は全部を網羅したものではない。他のメートル系および米国の標準単位については、ANSI X3.50-1986、テーブル 1 を参照すること。
**ANSI で明示的に列挙されていない非メートル系単位

図7.7.6 一部の米国慣用単位のANSI+単位コード

接頭辞		コード	接頭辞		コード
ヨッタ*	10^{24}	ya	ヨクト	10^{-24}	y
ゼッタ*	10^{21}	za	zepto	10^{-21}	z
エクサ	10^{18}	ex	アト	10^{-18}	a
ペタ	10^{15}	pe	フェムト	10^{-15}	f
テラ	10^{12}	t	ピコ	10^{-12}	p
ギガ	10^9	g	ナノ	10^{-9}	n
メガ	10^6	ma	マイクロ	10^{-6}	u
キロ	10^3	k	ミリ	10^{-3}	m
ヘクト	10^2	h	センチ	10^{-2}	c
デカ	10^1	da	デシ	10^{-1}	d

*これらの省略形は、単一ケース省略形の ISO 仕様の中では定義されていない。

図7.7.7 倍数接頭辞のための単一ケースISO省略形

HL7 V2.5 7.18.3 節には、一般的な ISO 組み立て単位の省略形が列挙されている。そこには、一般的な単位、例えば、ミリ当量、国際単位、mm(Hg)についての標準単位の省略形、および分割記号の後ろに分母のみがあり分子のないもの、例えば、 $1/c$ のような上記に引用した ISO 規格の一部ではないものも含まれる。我々は、薬ルートおよび生理学的な対策に合わせて、また、それ以外の場合はバージョン 2.2 のギャップを埋めるために単位テーブルを拡張した。

我々は、単位の定義において IUPAC1995 のシルバースタック 2 に基本的に従った。しかしながら、IUPAC は、単位を報告し表示するための基準を指定し、それらを識別するために 8 ビット・データセットを使用する。この規格は、患者情報の送信に関係がある。したがって、我々は太文字、小文字に無関係な英字、および少数の特殊文字（例えば、「 $\cdot$ 」、「/」、「(」、「)」、「*」、および「_」）に限定して、送信中に起こりうる混乱を回避した。したがって、我々は ISO 2955-1983（情報処理—制限のある文字セットを持ったシステム中の、SI および他の単位の表現）、および ANSI X3.50-1986（制限のある文字セットを持ったシステム中の、米国の慣習的な単位、SI および他の単位の表現）の、太文字、小文字に無関係の単位省略形を、それらが定義されている場合、使用する。これは、場合によっては IUPAC 省略形が ISO+ と異なる省略形を持つことを意味する。例えば、IUPAC 省略形が標準の英字だけを使用していたとしてもである。例えば、パスカルは IUPAC では Pa と略される。しかし、ISO+（ISO 2955 に従う）では PAL である。なぜなら Pa は太文字、小文字に無関係な表示として（Pa と）見るとピコアンペアを意味するからである。しかしながら、送信用の要件は、エンドユーザに紙またはビデオディスプレイで報告するプレゼンテーションのため IUPAC 基準を使用することを妨げない。

すべての単位省略形は、太文字、小文字に無関係である。ミリリットルは、ML、ml あるいは mL と書くことができる。このテーブルでは、我々はすべての省略形に対して小文字を使用した。ただし L は太文字にした。数字の 1(1) と混同しないためである。これは表示方法の変更であって規則の変更ではない。システムとしては通常どおり太文字または小文字で引き続き送信すべきである。

HL7 V2.5 7.18.4 節「一般的な ISO 誘導単位および ISO 拡張子」を参照のこと。

ローカルの単位コード

ローカル・コードは、第 3 の成分の中で 99zzz のコード・ソースを示すことによって単位に使用できる。ここで 99zzz は英数字の文字列である。ローカル・コードの場合には、コードのテキスト名あるいは単位の記述も（第 2 の成分中で）送信されるべきである。その結果を受信システムが、

別のサービスによって送られた同じ測定の結果と比較できるようにするためである（2.5 節「データ型」を参照のこと）。「L」はコードがローカルに定義されることを示すために、第 3 の成分に保存されるべきである。さらに、特定化されたローカル・コード指示も、CE データ型定義中で指定されたように、使用できる。

OBX-7 References Range 標準値 (ST) 00575

成分:

フォーマットが数値の場合:

- a) 下限 - 上限 (下限と上限の両方が定義された場合。例えば、カリウム 3.5-4.5 の場合)
- b) > 下限 (下限のみが定義された場合。例えば、>10)
- c) < 上限 (上限のみが定義された場合。例えば、<15)

アルファベットの値:

正常値はこの場所で報告される可能性がある。

定義: 有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。

薬剤の量を計測する場合、下限により治療の期待できる最小量を表し、上限によりそれ以上の薬剤投与により通常副作用が発生しうることを表す。

OBX-8 Abnormal Flags 異常フラグ (IS) 00576

定義: このフィールドは、結果の正常状態を示すテーブルルックアップを含んでいる。適用できる場合は、この値を送ることを強く推奨する。検査が抗菌物質感受性の場合、解釈コードは次の通りである: S=敏感; R=耐性; I=中間; MS=少し敏感; VS=過敏 (詳細については、ASTM 1238-調査-を参照のこと)。採りうる値については、「使用者定義表 0078 異常フラグ」を参照のこと。

検査室で、胸部 X 線あるいは微生物培養などのテキスト・レポートの正常状態を識別できる場合、正常な場合は N、異常な場合は A として報告すべきである。複数のコード (例えば、異常と悪化) を報告する場合は、反復デリミタ (例えば、A~W) により分離されるだろう。

使用者定義表 0078 - Abnormal flags 異常フラグ

値	内容
L	基準値下限以下
H	基準値上限以上
LL	パニック下限以下
HH	パニック上限以上
<	測定限界下限未満
>	測定限界上限超
N	正常 (非数値結果に適用)
A	異常 (非数値結果に適用)
AA	非常に異常 (数値単位のパニック値に対応するが、これは非数値単位に適用される)
null	範囲未定義、もしくは正常が適用されない
U	大幅な上昇変化
D	大幅な下降変化
B	改善—方向が適用されない場合使用
W	悪化—方向が適用されない場合使用
微生物感受性の場合のみ	
S	敏感
R	耐性
I	中間
MS	少し敏感
VS	過敏

結果は、結果の正確な数値を指定せずに正常状態を報告することによってメモ書きによって報告されることがある。そのようなメモは、臨床医のノートではありふれたことで、その場合医師は「グルコース結果は正常であった」と書くだけである。そのようなメモ報告は薬品の症例報告にも見られる。そのような場合、結果は、「OBX-5 検査結果値」の中でなにかの値を指定せずに、「OBX-8 異常フラグ」中に正常コードを報告することによって、OBX の中で報告できる。

OBX-9 Probability 確率 (NM) 00577

定義：このフィールドは、定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率（結果が特定のコードとなる確率）を含んでいる。主として離散的コード化結果に適用される。0～1（0 と 1 を含む）の ASCII 文字列で表した 10 進数である。

OBX-10 Nature Of Abnormal Test 異常検査の特質 (ID) 00578

定義：このフィールドは、異常な検査の性質を含んでいる。有効な値については「HL7 表 0080 異常検査の特質」を参照すること。適用できる限り多くのコードを含むことができ、それらは反復デリミタで区切られる。例えば、年齢、性別および人種に基づいた正常値は、A~S~R としてコードになる。

この表のコードの使用上の制約は、PID セグメントで定義されているもの、具体的には PID-35-種コード、PID-36-品種コード、および PID-37-血統情報と一致している必要がある。

HL7表 0080 - Nature of Abnormal Testing 異常検査の特質

値	内容
A	年齢別分布
N	なし — 一般正常範囲
R	人種別分布
S	性別分布
SP	種
B	品種
ST	血統

OBX-11 Observ Result Status 検査結果状態 (ID) 00579

定義：このフィールドは、検査結果状態を含んでいる。有効なコードについては、HL7 表 0085—検査結果状態を参照のこと。このフィールドは、1 つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。

それは必須フィールドである。HL7 の旧バージョンは、「F」のデフォルト値の定義によりこれを暗黙の内に述べた。コード F は、結果が正確でありかつ最終であると確認されたことを示す。コード W は、結果が間違っていると（正しくないと）確認されたことを示す；置換（修正）された結果はその後送信されることがある。コード C は、OBX-5—検査結果値 フィールドに含まれたデータが、同じ検査項目 ID（適用可能な場合、接尾辞を含んで）および検査サブ ID を持つ以前に送信（確認）された最終結果データを通常置換すべきであることを示す。以前の結果が間違っていたからである。コード D は、同じ検査項目 ID（接尾辞を含んで）および検査サブ ID を備えた結果セグメント中で、以前に送信されたデータが削除されることを示す。結果を変更するか削除する場合、同じ検査項目 ID および検査サブ ID を備えた多数の OBX セグメントは、1 単位として交換されるか削除される。結果の正常な進行、すなわち中間（例えば、「グラム陽性球菌」）から最終（例えば、「ぶどう球菌アウレウス」）結果への進行は、C（補正）として送信されてはならない。それらは、最終になるまでは P あるいは S（特定の場合に依存して）として送信されるべきである。

検査セットが必須とするオーダが動的に必要な特定のオーダ時間での条件がある状況がある。この検査セットは OBX セグメントがオーダに従って伝達され、その上、依頼システムによって生成することによって定義される。例えば、血清グルコース負荷試験は検査室によって異なる場合がある。ある機関では、それらを-30, 0, 30, 60, 90 分でレポートし、他の機関では、それらを-30, -15, 0, 30, 60, 120 分でレポートする。マスタファイルの登録は検査セットそれ自身ではなく、検査セットのそれぞれ個々の成分で存在する。

他の例では、明細は可能要素の各置換で、マスタファイル定義なしでオーダするレニン検査である（レニン検査：腎臓により分泌される血圧調節に関わるプロテアーゼ）。ORM メッセージ中の OBX セグメントを使用して、検査セットそれ自身の、既存のマスタファイル定義を定義しないで、これらの順列を調節する動的な明細を作成できる。OBX での結果ステータス項目は、ORM メッセージでの OBX が動的な明細を提供するために使用されるのか、オーダに対するコンテキストとして結果を伝達するために使用するかを示すことができる。

動的な仕様に使用される OBX には、OBX-11 が O で、OBX-2 と OBX-5 が null で、詳細な検査コード、単位などが含まれていなければならない。

【注射】身長・体重・感染症などの患者プロフィール情報を表現する場合には最終結果の情報という意味で、'F'を使用する。

HL7表 0085 - Observation Result Status Codes Interpretation 検査結果状態コード解釈

Value	Description
C	Record coming over is a correction and thus replaces a final result 到着レコードは修正であり結果を書き換え
D	Deletes the OBX record OBX レコードを削除する
F	Final results; Can only be changed with a corrected result. 最終結果： 修正結果でのみ変更可能
I	Specimen in lab; results pending 臨床検査室の検体；結果保留
N	Not asked; used to affirmatively document that the observation identified in the OBX was not sought when the universal service ID in OBR-4 implies that it would be sought. 未確認、OBX-4 探せない OBX 検査項目 ID を確定するために使用する
O	Order detail description only (no result) 検査依頼項目の詳細を示す
P	Preliminary results 事前結果
R	Results entered -- not verified 入力された結果 -- 検証されない
S	Partial results 部分結果
X	Results cannot be obtained for this observation この検査では、結果は得られない
U	Results status change to Final. Without retransmitting results already sent as 'preliminary. 結果状態を最終へ変更。結果状態が「最終」に変わる。「予備」としてすでに送られた結果は再送信しない。例えば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される。
W	Post original as wrong, e.g., transmitted for wrong patient オリジナルを間違っているものとしてポストする。例えば、間違っている患者のために送信された。

OBX-12 Effective Date of Reference Range 標準値有効日付 (TS) 00580

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドには、「OBX-7 標準値」が有効になった日付（およびオプションで時刻）が含まれる。

使用規則：このフィールドは、「OBX-7 標準値」が設定されている場合にのみ設定できる。

このフィールドが存在するとき、それは異なる参照範囲を有する同一の結果間の比較を容易にする。基準範囲の値は、検査室での実務の変化により変わる場合がある。そのような差異は、臨床検査医学における最新の実践、または最新の機器の使用を反映する可能性がある。

OBX-13 User Defined Access Checks ユーザ定義アクセス点検 (ST) 00581

定義：このフィールドは、これにより実施者は、受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できるようになる。

ほとんどの分類は固定の検査項目 ID 属性であり、関連検査マスタファイルで定義することができるので、このフィールドはほとんど必要とされない（HL7 第 8 章の説明を参照のこと）。

しかし、受信システムが計算のやり直しを望まない場合がまれにあり、この場合そのような制御の仕方でも検査結果値により変わることがある。例えば、抗酸菌感受性結果の場合である。生物、検体採取部位、あるいは患者アレルギー状態に応じて、安価な抗菌物質の感受性結果だけを表示したいと望むシステムもあるだろう。送信部門側では、特権ユーザ（例えば、感染症の専門医）はすべての結果を閲覧できるように、すべての感受性を送信したいが、非特権ユーザは生物が反応した（敏感だった）“所望している”抗菌物質だけを閲覧するだろう。HL7 では、その他のケースも生じると想定されている。

OBX-14 Date Time Of the Observation 検査日時 (TS) 00582

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、次の 2 つの状態が必要になる。まず、1 つのレポートヘッダ(OBR)の下で報告された複数の検査が、互いに異なる日付を持つ場合である。これが起こりえるのは、同じセットのある測定と別の測定が異なる時間を持つ可能性があり、照会、負荷試験・シーケンス、あるいはクリアランス検査の場合である。

次に、OBX セグメントを依頼者から実施者へ送る場合にも、検査日時は必要である。この場合には、転送中の検査の日付は、要求検査の日付とはなんの関係もないだろう。フランスでは慣例とし

て、要求側部門が、新規の一連の検査要求と共に、一連の最終検査結果を送る。これらの検査の日付は、実施者検査室にとって重要である。

どのような場合でも、検査日時は生理学的日時、あるいは生理学的日時に最も近い日時である。検体に対して行われる検査の場合は、該当日時は検体採取日時である。患者に対して直接行われる測定（例えば、X線画像、病歴、身体測定）の場合には、検査日時は測定が行われた日時である。

OBX-15 Producer's ID 実施者 ID (CE) 00583

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、検査実施責任者の一意な識別子を含んでいる。例えば、検査結果が外部検査室により提供される場合、実施者 ID を明示的に報告すべきである。このフィールドが null の場合、受信システム側は、送信団体が検査を実施したと仮定する。この情報が必要なのは、米国の CLIA 規格を満たすためである。実施者 ID を表すコードは CE データ型として記録される。米国では、実施部門のメディケア番号が識別子として示唆される。

OBX-16 Responsible Observer 検査責任者 (XCN) 00584

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Sur-name Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：要求された場合、このフィールドは、検査に直接責任を負う個人（つまり検査を実行、もしくは検証した人）の識別子を含んでいる。看護部門では、検査責任者は通常、観察（例えば、血圧測定）を実行した専門家である。検査室では、検査責任者は解析を実行・検証した医療技術者である。検査責任者を表すコードは、CE データ型として記録される。ローカル・コードとしてコードを送る場合、「OBX-15 実施者 ID」と組み合わせたときに、一意にして明白でなければならない。

OBX-17 Observation Method 検査方法 (CE) 00936

成分:<identifier <Identifier (ST)> ^ <textText (ST)> ^ <nameName of coding system (IS)> ^ <alternate identifierCoding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <alternate

textAlternate Text (ST)> ^ <nameName of alternate coding system (ISAlternate Coding System (ID)>

定義：このオプションのフィールドは、次の場合に検査が得られた方法、あるいは処置を送信するために使用できる。送信システムが異なる方法によって得られた1つの測定中で識別を希望し、その区別が検査項目IDで暗示されない場合である。化学検査室は、検査名の一部として与えられた血清成分（例えば、血清カリウム）を測定するために使用される、異なる2つの方法を通常識別しない。これらの区別の完全な議論に関しては、LOINC ユーザマニュアル4を参照すること。もし検査実施サービスが、特定検査を得るため使用された方法を報告し、方法が検査名に埋め込まれて「いない」ならば、それらはこのフィールドを使用できる。

（米国）疾病予防管理センター(CDC)方法コード(CDCM)は、方法／機器を報告するためのコードシステム1つの候補である。EUCLIDES 方法コードは別のものである。使用者定義表は代替手段である。

OBX-18 Equipment Instance Identifier 機器インスタンス識別子 (EI) 01479

成分:<Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、検査結果の作成を担当する機器インスタンス（例えば、アナライザ、アナライザモジュール、アナライザのグループなど）を識別する。これは、組織が名前空間ID、または空白の場合は「実施者ID」(OBX-15)で指定される施設の設備のマスタリストによる識別子である。このマスタリストから機器タイプ、シリアル番号などを取得することは可能であるが、すべてのOBXでこの情報を転送することは計画されていない。このフィールドを繰り返すことにより、機器の階層表現（最下位レベルが最初）、例えば、機器のモジュール、モジュールからなる機器、複数の機器のクラスタなどが可能になる。

OBX-19 Date/time of the Analysis 分析日付 (TS) 01480

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、機器インスタンス識別子（上記参照のこと）で指定された機器による分析結果の生成に関連するタイムスタンプを転送するために使用される。

7.8 ORC Order Common Segment 共通オーダーセグメント

共通オーダーセグメント(ORC)は、(要求されるすべてのタイプのサービスである)すべてのオーダーに共通するフィールドの転送に使用される。ORCセグメントは、オーダーメッセージ(ORM)に必須である。ORCは、オーダー詳細セグメントがある場合は、オーダー応答(ORR)メッセージにおいて必須であるが、それ以外では必要ない。

(例えば、薬剤、食事のような)特定のタイプのオーダーセグメントに詳細が必要なら、任意のオーダー詳細セグメント(例えば、RXO,ODSのような)の前にORCがなければならない。場合によってはORCは、ORC|OK|<placer order number>|<filler order number>|<cr>の文字列のように簡単になりうる。

そのオーダーに詳細が必要でないならば、オーダー詳細セグメントは省略してもよい。例えば、あるオーダーを保留にするには、ORCを以下のフィールドを埋めて転送する：HD型の値を持つ「ORC-1 オーダー制御」と「ORC-2 依頼者オーダー番号」、そして「ORC-3 実施者オーダー番号」。

ORCのフィールドとオーダー詳細セグメントのそれらには多少の重複がある。この点については、後続の節で記述する。

HL7属性表—ORC—Order Common Segment 共通オーダーセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1*	2	ID	R	R		0119	Order Control オーダー制御
2*	22	EI	C	R			Placer Order Number 依頼者オーダー番号
3	22	EI	C	O			Filler Order Number 実施者オーダー番号
4*	22	EI	O	R			Placer Group Number 依頼者グループ番号
5	2	ID	O	O		0038	Order Status オーダー状態
6	1	ID	O	O		0121	Response Flag 応答フラグ
7	200	TQ	B	B	Y		Quantity/Timing 数量/タイミング
8	200	EIP	O	N			Parent 親
9*	26	TS	O	O			Date/Time of Transaction トランザクション日時
10*	250	XCN	O	O	Y		Entered By 入力者
11	250	XCN	O	O	Y		Verified By 検証者
12*	250	XCN	O	O	Y		Ordering Provider オーダー発行者
13	80	PL	O	O			Enterer's Location 入力場所
14	250	XTN	O	O	Y/2		Call Back Phone Numberコールバック用電話番号
15	26	TS	O	O			Order Effective Date/Time オーダー有効日時
16*	250	CE	O	O			Order Control Code Reason オーダー制御コード理由
17*	250	CE	O	R			Entering Organization 入力組織
18*	250	CE	O	O			Entering Device 入力装置
19	250	XCN	O	O	Y		Action By 発動者
20	250	CE	O	O		0339	Advanced Beneficiary Notice Code 予告受益者通知コード
21	250	XON	O	O	Y		Ordering Facility Name オーダー施設名
22	250	XAD	O	O	Y		Ordering Facility Address オーダー施設住所
23	250	XTN	O	O	Y		Ordering Facility Phone Number オーダー施設電話番号
24	250	XAD	O	O	Y		Ordering Provider Address オーダー依頼者住所
25	250	CWE	O	O			Order Status Modifier オーダー状態修飾子
26	60	CWE	C	C			Advanced Beneficiary Notice Override Reason 予告受益者通知上書き理由
27	26	TS	O	O			Filler's Expected Availability Date/Time 実施者 サービス可能日時
28	250	CWE	O	O		0177	Confidentiality Code 守秘コード
29	250	CWE	O	R		0482	Order Type オーダータイプ
30	250	CNE	O	O		0483	Enterer Authorization Mode 入力者承認モード

ORC 使用上の注意

依頼者オーダーグループ

© JAHIS 2023

本標準規格では、複数のオーダーを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。ほとんどの場合、これは1人の患者に対して「オーダーリングセッション」を表すために使用される。

オーダーグループは、「ORC-4 依頼者グループ番号-placer group number」に関連するオーダー(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダーに依頼者グループ番号を付けたときに確立する。オーダーグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべての ORCs およびすべての詳細セグメントからなる。オーダーは、グループから取消を使用して除去したり、取り替えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダーは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

重複フィールド

ORC は、すべてのオーダー (すなわち、要求されたサービス) に共通なフィールドを一様に定義するよう意図されている。ただし、ORC の一部のフィールドは、一部のオーダー詳細セグメント (例えば、OBR、RXO) と重複する。例えば、「ORC-2 依頼者オーダー番号」は、「OBR-2 依頼者オーダー番号」フィールドと同じ意味、および目的を持つ。これによって過去のバージョン、および ASTM との上位互換性が保たれる。

これらのフィールドを使用する規則は、ORC に現れない値はオーダー詳細セグメントに現れねばならない、というものである。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

親／子 — 取消、保留、中断

親オーダーの取消、保留、または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダー、およびすべての関連の子オーダーに対して再帰的に適用されるよう意図されている。

例えば、

EKG アプリケーションが3回の EKG を毎朝連続して行うオーダーを受けるとする。

EKG アプリケーションは3つの子オーダーを、各々の要求された EKG に対して1つずつ作成する。

元の親オーダーを取り消しする要求が受け取られたときに1日目の EKG はすでに実施されていた (親は取り消せなかった)。

残りの未実施の子は要求の結果として取り消しされる。

【注射】本規約では親/子オーダーは使用しない。

ORC フィールド定義

ORC-1 Order Control オーダー制御 (ID) 00215

定義：オーダーセグメントの機能を決定する。有効なエントリについては「HL7 表 0119-オーダー制御コードとその意味」を参照のこと。メッセージによって、制御コードの振る舞いはオーダーまたは個別サービスに適用される。例えば、OMP メッセージの CA コードはそのオーダーを取り消しする。RDS メッセージの同じコードはその調剤を取り消しする。かなり詳しい説明の注記が、この節の最後に設けられている。

このフィールドは、オーダーのための「トリガーイベント」識別子と考えてよい。コードは、次の3つのカテゴリに大別される。

a) イベント要求

イベントを生成するために、「NW」(新規オーダー) や「CA」(オーダー取消要求) のようなコードが使用される。

b) イベント肯定応答承認

イベント要求に返答するために、「OK」(オーダーの受理) や「CR」(要求通り取り消された) のようなコードが使用される。

c) イベント通知

イベントが発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、「OC」(オーダー取消) や「OD」(オーダー中断) のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要ない。

イベント要求コードは、イベントを開始することを意図する。イベント応答コードは、イベントを要求したアプリケーションに応答することを意図する。イベント通知コードは、他のアプリケーションに例えば次のようなことを知らせることを意図する。すなわち、実施者がオーダに対し何かアクションをとり、それを他のアプリケーション（例えば依頼者）が知る必要がある場合などである。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、イベント要求、イベント応答、およびイベント通知型トリガーイベントについて互換性を持って使用できる。しかし、オーダ制御コードは実施者のみから生成することができる（例えばCR）ものや、依頼者のみから生成することができる（例えばCA）ものもある。

HL7表 0119 - Order Control Code オーダ制御コードとその意味

Value	Description	Comments
AF	Order/service refill request approval 補充オーダ要求許可	Placer Applications. AFは補充品や補充量を許可する依頼者からの返答である
CA	Cancel order/service request オーダ取消依頼	Placer Applications. オーダ取消依頼は、以前にオーダしたサービスを実施者に行わせないようにする依頼者からの要求である。取消要求の確認は、実施者によって行われる、例えば、CRのORC-1オーダ制御値を持つメッセージである。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR-要求通りオーダ取消完了、UC-オーダ取消不能。
CH	Child order/service 子オーダ	Placer or Filler Applications. PAとあわせて使用-親オーダコントロールコード。詳細はPAオーダコントロールコードを参照のこと。
CN	Combined result 統合検査結果	Filler Applications. 統合検査結果コードは、複数のオーダに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態は、通常、放射線科医が複数のオーダで表される複数の検査に対して単一のレポートを口述するときの放射線科レポートに見られる。例えば、リウマチ性関節炎患者のひざと手のフィルムは、放射線科医の側で1つの口述レポートを生成することがある。 そのような結果が報告されるとき、CNコードが最後のORC以外のすべてのREを置き替える。結果は最後のORCとそのOBRに続く。3つのORCに続く単一のレポートの例は下記の通りである。 MSH ...<cr> PID ...<cr> ORC CN ...<cr> OBR 1 A4461XA^HIS 81641^RAD 73666^Bilateral Feet ...<cr> ORC CN ...<cr> OBR 2 A4461XB^HIS 81642^RAD 73642^Bilateral Hand PA ...<cr> ORC RE ...<cr> OBR 3 A4461XC^HIS 81643^RAD 73916^Bilateral Knees ...<cr> OBX 1 CE 73916&IMP 1 Radiologist's Impression ...<cr> OBX 2 CE 73642&IMP 1 Radiologist's Impression ...<cr> OBX 3 FT 73642&GDT 1 Description ...<cr>
CR	Canceled as requested 要求通りオーダ取消完了	Filler Applications. 取消（依頼者アプリケーションからのCA）の要求が成功したことを示す実施者アプリケーションからの応答
DC	Discontinue order/service request オーダ中断要求	Placer Applications. 実施者アプリケーションに前もって要求したサービスを中断するための依頼者アプリケーションからの要求。中断と取消の違いとして、中断はオーダ/サービスおよび今後起こるすべての動作に影響、取消は現在のアクションだけに影響する。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR-要求通りオーダ取消完了、UC-オーダ取消不能
DE	Data errors データエラー	Placer or Filler Applications.
DF	Order/service refill request denied 補充オーダ要求拒否	Placer Applications. 補充要求(RF)に対する実施者アプリケーションの応答、DFは依頼者がオーダの補充を許可しないことを示す。オーダ制御コード理由を使用して要求拒否の理由を示してもよい。下記の値が推奨されている。 AA Patient unknown to the provider 提供者が患者を知らない。 AB Patient never under provider care 患者は提供者から医療を受けたことがない。 AC Patient no longer under provider care

Value	Description	Comments												
		患者はもはや提供者の医療を受けていない。 AD Patient has requested refill too soon 患者は補充を要求したがそれが早過ぎる。 AE Medication never prescribed for the patient 薬品が患者に処方されたことがない。 AF Patient should contact provider first 患者は最初に提供者にコンタクトするべきである。 AG Refill not appropriate 補充が適切でない。 注：これらの値は、「NCPDP SCRIPT 応答セグメント・コードリスト修飾子」に由来することに留意すること。 資料の複製は©National Council for Prescription Drug Programs, Inc.（米国規格協会認定の機関）1988, 1992, 2002 NCPDP の承諾を得ること。 Filler Applications. 実施者は、中断（依頼者アプリケーションからの DC）の要求に応じて、オーダー／サービスを中断する。 FU Order/service refilled, unsolicited 補充オーダー済、未承諾 Filler Applications. FU は依頼者に実施者が患者要求のオーダーに対して補充を発行したことを通知する。 HD Hold order request オーダー保留要求 Placer Applications. 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR－要求通りオーダー取消完了、UC－オーダー取消不能。 HR On hold as requested 要求通りオーダー保留 Filler Applications. LI Link order/service to patient care problem or goal オーダー／サービスの患者看護プロブレムまたはゴールへの紐付 Placer or Filler Applications. 詳細は HL7 V2.5 第 12 章：患者看護を参照のこと。 NA Number assigned 番号が割り当て済み Placer Applications. オーダー番号（ORC-2 依頼者オーダー番号 または ORC-3-実施者オーダー番号）の要求に関与する 3 つの状況がある。 1) 実施者アプリケーションが、集中アプリケーション（例えば、HIS）へ ORC-3－実施者オーダー番号を要求する必要があるとき。 2) 実施者アプリケーションが、他のアプリケーション（例えばオーダーエントリ）へ ORC-2－依頼者オーダー番号を要求する必要があるとき。 3) アプリケーション（実施者アプリケーションでない）が新規オーダーのために ORC-3－実施者オーダー番号を割り当てたいとき。 1) 実施者アプリケーションが集中管理された実施者オーダー番号を必要とする場合 SN -このオーダー番号送信コードは、実施者が HIS のような中央集中アプリケーション（以下の表では"other"と呼ぶ）に、ORC-3－実施者オーダー番号を要求するメカニズムを提供する。これは SN の ORC-1-オーダー制御値を含んでいる ORM メッセージを送ることによって行う。この ORC は null の ORC-3-実施者オーダー番号 と ORC-2 依頼者オーダー番号を持つ。これらは実施者がオーダーを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。 ORM (SN タイプ) メッセージは、以下の 2 つの方法によって確認応答される。 i)ORC-1 オーダー制御 の値が OK である ORR メッセージによる。非要求の ORM メッセージは、ORC-1-オーダー制御 の値が NA である ORC を含んでいて、後で送信される。 ii)以下で述べる ORC-1 オーダー制御 の値が NA である ORR メッセージによる。 NA -この番号割り当て済コードは、その他のアプリケーションが実施者アプリケーションに、新しく割り当てられた実施者オーダー番号を知らせることを許す。ORC-1－オーダー制御値、ORC-2－依頼者オーダー番号（SN 値を持つ ORC から）は NA の値を持ち、新しく割り当てられた実施者オーダー番号を含む <table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>SN</td><td>filler application</td><td>placer order number^filler application ID</td><td>Null</td></tr><tr><td>NA</td><td>other application</td><td>placer order number^filler application ID</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr></table> Note: Both the placer order number and the filler order number have the filler's application ID 注：依頼者オーダー番号と実施者オーダー番号の両方が、実施者のアプリケーション ID を持つ。	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	SN	filler application	placer order number^filler application ID	Null	NA	other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number											
SN	filler application	placer order number^filler application ID	Null											
NA	other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID											

Value	Description	Comments																				
		2) 実施者アプリケーションが依頼者オーダ番号を必要とする場合 SN -このオーダ番号送信コードは、実施者アプリケーションが ORC-2ー依頼者オーダ番号をその他のアプリケーションに要求するためのメカニズムを提供する（以下の表では“other”と呼ぶ）。 これは SN の ORC-1ーオーダ制御値を含んでいる ORM メッセージを送ることによって行う。この ORC は、null の ORC-2ー依頼者オーダ番号と、実施者がオーダを生成するときに実施者アプリケーションによって作成された ORC-3ー実施者オーダ番号を持つ。 ORM (SN 型) メッセージは、2 つの方法によって確認応答される。 i) ORC-1ーオーダ制御の値が OK である ORR メッセージによる。非要求 ORM メッセージは、ORC-1ーオーダ制御の値が NA である ORC を含んでいて、後で送信が可能である。 ii)以下で述べる ORC-1ーオーダ制御の値が NA である ORR メッセージによる。 NA -この番号割り当て済コードは、「その他」アプリケーションが実施者アプリケーションに、新しく割り当てられた ORC-2ー依頼者オーダ番号を知らせることを許す。ORC は、NA の ORC-1ーオーダ制御値、新しく割り当てられた ORC-2ー依頼者オーダ番号、および ORC-3ー実施者オーダ番号 (SN 値を持つ ORC から) を含む。 <table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>SN</td><td>filler application</td><td>null</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr><tr><td>NA</td><td>other application</td><td>placer or filler number^placer application ID</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr></table> Note: The new ORC-2-placer order number has the placer's application ID 注：新しい ORC-2 依頼者のオーダ番号は、依頼者のアプリケーション ID を持っている。 3)アプリケーションが実施者オーダ番号を割り当てたい場合 NW - オーダを作成するアプリケーション（実施者アプリケーションではない）が、新規オーダの実施者オーダ番号を割り当てたいとき。 または RO - (RP に続く RO) 。この場合は、“other”のアプリケーションが ORC-3ー実施者オーダ番号を完成させる。この際、実施者オーダ番号の第2成分として実施者アプリケーション ID を使用する。 <table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>NW or RO</td><td>Other application to filler application</td><td>placer order number^placer application ID</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr></table>	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	SN	filler application	null	filler order number^filler application ID	NA	other application	placer or filler number^placer application ID	filler order number^filler application ID	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	NW or RO	Other application to filler application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number																			
SN	filler application	null	filler order number^filler application ID																			
NA	other application	placer or filler number^placer application ID	filler order number^filler application ID																			
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number																			
NW or RO	Other application to filler application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID																			
NW	New order/service 新規オーダ	Placer Applications. NA のコメントを参照のことー番号は割り当て																				
OC	Order/service canceled オーダ取消完了	Filler Applications.																				
OD	Order/service discontinued オーダ中断	Filler Applications.																				
OE	Order/service released オーダ開放	Filler Applications.																				
OF	Order/service refilled as requested 要求通り補充オーダ済	Filler Applications. OF は補充に対する依頼者システムからの要求に直接応答する。																				
OH	Order/service held オーダ保留	Filler Applications.																				
OK	Order/service accepted & OK オーダ受付&OK	Filler Applications. NA のコメントを参照のことー番号割り当て。																				
OP	Notification of order for outside dispense 外部調剤へのオーダ通知	Placer Applications. これらオーダ制御コードは、システム間でオーダを通信するために使用される。それらシステムでは、オーダは情報提供の目的とみなされる。例えば、通信を行うシステムの組織外のベンダによって実行されるオーダである。そのシステムでは、臨床的な継続性のために、そのオーダに関連した																				

Value	Description	Comments																																													
OR PA	Released as requested 要求通りオーダー開放 Parent order/service 親オーダー	情報を維持する必要があるが、オーダーされたサービスを実行するアクションをなんら意図したものではない。 OP は、NW の情報提供バージョンを、PY は RO の情報提供バージョンといえる。NW と RO の表注記は、各々OP と PY にも適用できる。 Filler Applications. Filler Applications. 親(PA)と子(CH)のオーダー制御コードにより、親（オリジナルオーダー）を変えることなく、「親オーダー」から「子オーダー」を生み出すことが可能になる。PA の ORC-1-オーダー制御値を持つ 1 個以上の ORC セグメントは CH の ORC-1-オーダー制御値を持つ 1 個以上の ORC セグメントが後に続く。ORC-6-応答フラグの値によって OBR セグメントが存在しなければならないかどうか決定される。 例えば、細菌培養で 2 つの細菌を生成しそれに対応する感受性試験の結果がでたと仮定して、そのときセグメントのシーケンスは、次の通りである <table border="1"> <thead> <tr> <th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comments</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ORC</td><td>PA</td><td>1st parent ORC</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>CH</td><td>1st child ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>1st child order</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>CH</td><td>2nd child ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>2nd child order</td></tr> </tbody> </table> 親子パターンでの依頼者オーダー番号の割り当ては、依頼者または実施者が子オーダーを生成するかどうか、また後者の場合、依頼者が SN/NA トランザクションをサポートするかどうか依存する。依頼者が子オーダーを生成するならば、それはその通常の手続きに従ってそれらの依頼者オーダー番号を割り当てる。実施者が子オーダーを生成するならば、そこで 2 つの可能性がある。各々の子はその親の依頼者オーダー番号を受け継ぐか、あるいは依頼者が依頼者オーダー番号を割り当てるよう要求するために、実施者が SN/NA トランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施者アプリケーションは、その通常の手続きに従って子の実施者オーダー番号を生成する。 子オーダーがメッセージで送られるときは、常に ORC セグメントの ORC-8-親に親の実施者オーダー番号（実施者から開始する場合）および親の依頼者オーダー番号（実施者から開始する場合、あるいは依頼者から開始する場合）がセットされる。 親子メカニズムは、（例えば、毎朝、連続して 3 回の EKG のオーダーを発行するといったように）、親オーダーを拡張することのために使用される。 Placer Applications. PR は、この ORC が（オーダーに埋め込まれている）以前の検査を含む ORU 構造の一部であることを示す。少なくとも、主に 2 つのユースケースが、以前の検査の完全な結果がそのオーダーとともに転送されることを要求する。 ・臨床検査室は、結果（HIV 等）の確認や試験（遺伝的試験等）を行える設備がないため、他の検査機関に検査を委託する。 ・臨床検査室は、検査報告に含める診断コメントの自動生成のための知識ベースに検査結果を送る。 Placer Applications. OP（外部調剤へのオーダー通知）のコメントを参照のこと。 RE Placer or Filler Applications. 検査付帯情報コードはオーダーと共に患者固有情報を送るのに使用される。オーダー詳細セグメント（例えば、OBR）の後には 1 個またはそれ以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORU メッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。結果がオーダーとともに送られるときは、結果はその結果が対応するオーダーの直後に続けられるべきである。 次の例は、3 個の処方オーダーのためのセグメントのシーケンスを、RE コードの使用例で示す。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comments</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MSH</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>PID</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>NW</td><td>First new order</td></tr> <tr> <td>RXO</td><td></td><td>First order segment</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>NW</td><td>2nd new order</td></tr> <tr> <td>RXO</td><td></td><td>2nd order segment</td></tr> </tbody> </table>	Segment	Order Control	Comments	ORC	PA	1st parent ORC	ORC	CH	1st child ORC	OBR		1st child order				ORC	CH	2nd child ORC	OBR		2nd child order	Segment	Order Control	Comments	MSH			PID			ORC	NW	First new order	RXO		First order segment				ORC	NW	2nd new order	RXO		2nd order segment
Segment	Order Control	Comments																																													
ORC	PA	1st parent ORC																																													
ORC	CH	1st child ORC																																													
OBR		1st child order																																													
ORC	CH	2nd child ORC																																													
OBR		2nd child order																																													
Segment	Order Control	Comments																																													
MSH																																															
PID																																															
ORC	NW	First new order																																													
RXO		First order segment																																													
ORC	NW	2nd new order																																													
RXO		2nd order segment																																													
PR	Previous Results with new order/service 以前の結果																																														
PY	Notification of replacement order for outside dispense 外部調剤へのオーダー修正通知																																														
RE	Observations/Performed Service to follow 検査付帯情報																																														

Value	Description	Comments																																												
RF	Refill order/service request 補充オーダー要求	<table><tr><td>[ORC</td><td>RE</td><td>Patient-specific observation, optional in V 2.2</td></tr><tr><td>OBR]</td><td></td><td>Observation OBR, optional in V 2.2</td></tr><tr><td>OBX</td><td></td><td>An observation segment</td></tr><tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr><tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr><tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>3rd order</td></tr><tr><td>RXO</td><td></td><td>3rd order segment</td></tr></table>	[ORC	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2	OBR]		Observation OBR, optional in V 2.2	OBX		An observation segment	OBX		Another observation segment	OBX		Another observation segment	OBX		Another observation segment				ORC	NW	3rd order	RXO		3rd order segment																	
		[ORC	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2																																										
		OBR]		Observation OBR, optional in V 2.2																																										
		OBX		An observation segment																																										
		OBX		Another observation segment																																										
		OBX		Another observation segment																																										
		OBX		Another observation segment																																										
		ORC	NW	3rd order																																										
		RXO		3rd order segment																																										
HL7 のこのバージョンにおいて、結果は1 個あるいはそれ以上の OBX セグメントとしてオーダと共に送ることができる。ただし ORC と OBR セグメントを必ずしも含む必要はない。 検査情報は ORC を使用せずに ORU メッセージを用いて伝えることができる。 ORU メッセージの OBR セグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。この場合、ORC が ORU メッセージに含まれていることを推奨する。 オーダ制御の値に RE を持つことは、ORM メッセージにおいてオーダの後に検査結果(OBX)が続くことを示す場合にのみ要求される。RE コードは ORU メッセージでは必要ではない。なぜなら OBR セグメントの後に検査結果(OBX)を続けることができるからである。 Placer or Filler Applications. RF は実施者または依頼者の両方による要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求していることもある。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要求していることもある。 標準的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる。実施者要求に関しては AF—補充オーダー要求許可、DF—補充オーダー要求拒否、依頼者要求には、RE—検査付帯情報、UF—補充不能																																														
RL	Release previous hold 前回保留オーダー開放	Placer Applications.																																												
RO	Replacement order 置換後オーダー	Placer or Filler Applications. オーダー置換依頼は以前に依頼された 1 個以上のオーダーの代替えである。 取替えられたオーダーはあたかも取り消されたオーダーのように扱われる。依頼されたサービスが取替えられるかどうか、いつ修正されるかは、現場独自で決定する。 オリジナルのオーダーが元の状態を保つことをサイトが要求するならば、親／子オーダー制御コードを使用する。以下の場合には、オーダー置換コードを使用しない。 取替えられる各オーダーには RP（実施者に対するオーダー置換依頼）の ORC-1—オーダー制御値または RU（実施者によって作成された非要求置換）を使用すること。RU は実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場での取り決め(local agreement)によって、ORC セグメント（RP または RU と）の後には、そのオリジナルのオーダー詳細セグメントが続いてもよい。ORC セグメント（RP または RU を含む）の後には、RO（置換後オーダーを示す）の ORC-1—オーダー制御値を持つ、ORC セグメントが続かなければならない。現場での取り決めによっては、RO 値を持つ ORC は、オーダー詳細セグメントが後に続いてよい。 例えば、部門のアプリケーションが 2 個の OBR オーダを 3 つの異なったオーダーで修正されていたと仮定して、セグメントの順序は、次の通りになる。																																												
<table><tr><th></th><th>Order Control</th><th>Comments</th></tr><tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>1st replaced ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order's detail segment</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>2nd replaced ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr></table>			Order Control	Comments	ORC	RU	1st replaced ORC	OBR		1st replaced order's detail segment				ORC	RU	2nd replaced ORC	OBR		2nd replaced order's detail segment				ORC	RO	1st replacement ORC	OBR		1st replacement order's detail segment				ORC	RO	2nd replacement ORC	OBR		2nd replacement order's detail segment				ORC	RO	3rd replacement ORC	OBR		3rd replacement order's detail segment
	Order Control	Comments																																												
ORC	RU	1st replaced ORC																																												
OBR		1st replaced order's detail segment																																												
ORC	RU	2nd replaced ORC																																												
OBR		2nd replaced order's detail segment																																												
ORC	RO	1st replacement ORC																																												
OBR		1st replacement order's detail segment																																												
ORC	RO	2nd replacement ORC																																												
OBR		2nd replacement order's detail segment																																												
ORC	RO	3rd replacement ORC																																												
OBR		3rd replacement order's detail segment																																												
ORC-6—応答フラグの値によって OBR セグメントが存在しなければならないかどうか決定される。 この取替え方法は、すべての取替え可能なケースを扱う：																																														

Value	Description	Comments																																	
		1 個から 1 個へ、複数から 1 個へ、1 個から複数へ、および複数から複数へである。もし依頼者が実施者に 2 つの RP 付き要求を送り実施者から依頼者への応答があるとすると、2 つの RU（非要求で置換された）は 2 つの RQ（要求通り置換された）となる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>Order Control</th><th>Comments</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ORC</td><td>RQ</td><td>1st replaced ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RQ</td><td>2nd replaced ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr> </tbody> </table> 置換オーダーコードは、実施者アプリケーションによって別のアプリケーションに送れて、置換された正確なオーダーサービスを示す。それは上記の RP と RU のオーダー制御コードによって使用される。 RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダー番号の規則は置換型（RP または RU）によって決定される。 RU 型（すなわち、実施者からの非要求置換）のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、最初に送られた、オーダー制御の値が RU である ORC の依頼者オーダー番号と全く同一である。 RP 型（すなわち、別のアプリケーションから実施者へのオーダー置換要求）のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 置換シーケンスが ORU メッセージ（すなわち、検査結果報告の時に）において使用されるときは推奨セグメントを以下に述べる。 1) RO のオーダー制御値付きの ORC 2) 任意の OBR セグメント（任意のオーダー詳細セグメントによって置換可能） 3) オプションで検査結果セグメント(OBX)が後に続く。 4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR（あるいは任意のオーダー詳細セグメント）または OBX セグメントの後に続けられる。 Placer Applications. オーダー置換依頼は、以前に依頼された、1 個あるいはそれ以上のオーダーの代替えである。今後の議論のためには、RO-置換後オーダーのコメントを参照のこと。 オーダー置換要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が 1 個あるいはそれ以上の新規オーダーを 1 個あるいはそれ以上の新規オーダーと取替えることを許可する。 RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダー番号の規則は置換型（RP または RU）によって決定される。 RU 型（すなわち、実施者からの非要求置換）のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、最初に送られた、オーダー制御の値が RU である ORC の依頼者オーダー番号と全く同一である。 RP 型（すなわち、別のアプリケーションから実施者へのオーダー置換要求）のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 置換シーケンスが ORU メッセージ（すなわち、検査結果報告の時）において使用されるときは推奨セグメントを以下に述べる。 1) RO のオーダー制御値付きの ORC 2) 任意の OBR セグメント（任意のオーダー詳細セグメントによって置換可能） 3) オプションで検査結果セグメント(OBX)が後に続く。 4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR（あるいは任意のオーダー詳細セグメント）、または OBX セグメントの後に続けられる。 Filler Applications.		Order Control	Comments	ORC	RQ	1st replaced ORC	OBR		1st replaced order's detail segment	ORC	RQ	2nd replaced ORC	OBR		2nd replaced order's detail segment	ORC	RO	1st replacement ORC	OBR		1st replacement order's detail segment	ORC	RO	2nd replacement ORC	OBR		2nd replacement order's detail segment	ORC	RO	3rd replacement ORC	OBR		3rd replacement order's detail segment
	Order Control	Comments																																	
ORC	RQ	1st replaced ORC																																	
OBR		1st replaced order's detail segment																																	
ORC	RQ	2nd replaced ORC																																	
OBR		2nd replaced order's detail segment																																	
ORC	RO	1st replacement ORC																																	
OBR		1st replacement order's detail segment																																	
ORC	RO	2nd replacement ORC																																	
OBR		2nd replacement order's detail segment																																	
ORC	RO	3rd replacement ORC																																	
OBR		3rd replacement order's detail segment																																	
RP	Order/service replace request オーダー置換要求																																		
RQ	Replaced as requested 要求通りオーダー置換																																		

Value	Description	Comments
RR	Request received 要求受付	オーダ置換依頼は、以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダの代替えである。今後の議論のためには、RO-置換後オーダのコメントを参照のこと。 オーダ置換要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個あるいはそれ以上の新規オーダを1個あるいはそれ以上の新規オーダと取替えることを許可する。 置換オーダコードは、実施者アプリケーションによって別のアプリケーションに送れて、置換された正確なオーダサービスを示す。それは上記の RP と RU のオーダ制御コードによって使用される。 RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダ番号の規則は置換型 (RP または RU) によって決定される。 RU 型 (すなわち、実施者からの非要求置換) のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、最初に送られたオーダ制御の値が RU である ORC の依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP 型 (すなわち、別のアプリケーションから実施者へのオーダ置換要求) のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 置換シーケンスが ORU メッセージ (すなわち、検査結果報告の時に) において使用されるときは推奨セグメントを以下に述べる。 1) RO のオーダ制御値付きの ORC 2) 任意の OBR セグメント (任意のオーダ詳細セグメントによって置換可能) 3) オプションで検査結果セグメント(OBX)が後に続く。 4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR (あるいは任意のオーダ詳細セグメント) または OBX セグメントの後に続けられる。 Placer or Filler Applications. 下位互換性のためだけに保持されている。
RU	Replaced unsolicited 非要求オーダ置換	
SC	Status changed 状態変更	Filler Applications. オーダ置換依頼は、以前に依頼された1個あるいはそれ以上のオーダの代替えである。今後の議論のためには、RO-置換後オーダのコメントを参照のこと。 オーダ非要求置換通知コードは依頼者アプリケーションから要求されることなしに、実施者アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。 RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダ番号の規則は置換型 (RP または RU) によって決定される。 RU 型 (すなわち、実施者からの非要求置換) のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、最初に送られた、オーダ制御の値が RU である ORC の依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP 型 (すなわち、別のアプリケーションから実施者へのオーダ置換要求) のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 置換シーケンスが ORU メッセージ (すなわち、検査結果報告の時) において使用されるときは推奨セグメントを以下に述べる。 1) RO のオーダ制御値付きの ORC 2) 任意の OBR セグメント (任意のオーダ詳細セグメントによって置換可能) 3) オプションで検査結果セグメント(OBX)が後に続く。 4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR (あるいは任意のオーダ詳細セグメント) 、または OBX セグメントの後に続けられる。 Placer or Filler Applications.
SN	Send order/service number 送信オーダ番号	Placer Applications.
SR	Response to send order/service status request 送信オーダ状態要求応答	NA に関してはコメントを参照のこと-番号割り当て Filler Applications.
SS	Send order/service status request 送信オーダ状態要求	Placer Applications.
UA	Unable to accept order/service オーダ受付不可	Filler Applications. オーダ受付不可コードが使用されるのは、新しいオーダを実施者が受付できないときである。受付できない理由としては、患者がアレルギーを起こす薬剤の処方要求したこと、またはそのオーダを実施するための機器が利用できないこと (例えば、オーダが記入できないなど) が考えられる。これは MSA セグメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること。
UC	Unable to cancel オーダ取消不能	Filler Applications. オーダ取消不能コードは依頼されたサービスが実施者によって取り消せないポイントにあるとき、あるいは現場の取り決めで実施者による取消を禁止するとき使用される。このコードの使用は ORC-6一応答フラグに従う。

Value	Description	Comments
UD	Unable to discontinue オーダー中断不能	Filler Applications.
UF	Unable to refill 補充不能	Filler Applications. UF は実施者システムが許可された補充要求に対してアプリケーションレベル拒否をしたことを示す。
UH	Unable to put on hold オーダー保留不能	Filler Applications.
UM	Unable to replace オーダー修正不能	Filler Applications.
UN	Unlink order/service from patient care problem or goal 患者看護プロブレムまたはゴールからのリンクオーダー解除	Placer or Filler Applications. 詳細は、HL7 V2.5 第12章：患者看護を参照のこと。
UR	Unable to release オーダー開放不能	Filler Applications.
UX	Unable to change オーダー変更不能	Filler Applications.
XO	Change order/service request オーダー変更要求	Placer Applications.
XR	Changed as requested 要求通りオーダー変更	Filler Applications.
XX	Order/service changed unsolicited. オーダー変更（未承諾）	Filler Applications.
MC	Miscellaneous Charge – not associated with an order 雑費—オーダーとは関連なし	applies to DFT^P03^DFT_P03 and DFT^P11^DFT_P11 DFT^P03^DFT_P03 と DFT^P11^DFT_P11 を適用。

注記: HL7 V2.5の当該表は、オーダー制御コードに対応するメッセージの記述が不十分であるため、HL7 V2.7の当該表を採用した。

【注射】本規約では、指示情報、実施情報共に“NW”、“CA”のみ使用する。

本規約で使用する値

Value	Description	Originator	Field Note
NW	New order 新規オーダー	P	l)
CA	Cancel order request オーダーキャンセル依頼	P	a)

注記: Originator: オーダーの発生源を表す

「F」の場合は、実施者(Filler)に由来する。ただし、依頼者にのみ送信する制限はない。

「P」の場合は、依頼者(Placer)、または、システム間で合意した依頼者と同じ権限を有する他のアプリケーションに由来する。

注記: Field Note オーダー制御コードの説明

オーダー制御コードの説明については、HL7 V2.5 4.5.1.1節の「ORCオーダー制御コード表に関する注記」の該当箇所を参照すること。

ORC-2 Placer Order Number 依頼者オーダー番号 (EI) 00216

成分: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: 依頼者アプリケーションのオーダー番号。

成分は個々のオーダー（例えば、OBR）を識別する文字列である。15文字の上限が推奨されるが、必須ではない。依頼者オーダー番号に対してより多くの文字数を要求するアプリケーションに適用するためにこのフィールドの文字数が増える場合、その実装はHL7に準拠している。それは依頼者（オーダーアプリケーション）によって割り当てられる。それは、特定のオーダーリングアプリケーションからのすべてのオーダーの中で、1つのオーダーを一意に識別する。第2から第4までの成分は、HDデータ型と同じ形式で依頼者アプリケーションのアプリケーションIDを含んでいる。第2成分、ネームスペースIDは、アプリケーションに一意に関連している使用者定義のコード化された値である。6文字の上限が推奨されるが、必須ではない。1つの施設または相互に通信する施設のグループは、依頼者や実施者になる可能性のあるアプリケーションの一意なリストを構築し、一意なア

アプリケーション ID を割り当てるべきである。各成分は、成分デリミタによって分離される。
真の依頼者がやや曖昧な（それゆえ一意でない）状況が 3 つある。

- a) RU 置換に続く RO の「ORC-1 オーダ制御値」の場合
- b) CH（子オーダ）の「ORC-1 オーダ制御値」の場合
- c) SN（番号送信）の「ORC-1 オーダ制御値」の場合

アプリケーション ID リストは、HL7 V2.5 第 8 章で文書化されている施設のマスタ辞書の 1 つになる。第三者アプリケーション（オーダの依頼者および実施者以外）が ORM と ORR のメッセージの送受信ができるので、このフィールドの依頼者アプリケーション ID は、（MSH セグメントで識別される）ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい。

「ORC-2 依頼者オーダ番号」は、「OBR-2 依頼者オーダ番号」と同じである。依頼者オーダ番号が ORC の中に存在していないならば、それは関連した OBR 内に存在しなければならない。逆も同様である。もし両方のフィールド、すなわち、「ORC-2 依頼者オーダ番号」および「OBR-2 依頼者オーダ番号」が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果が ORU メッセージで送られる場合、ORC は必須ではないが、依頼者オーダ番号が OBR セグメント内に存在せねばならない。

これらの規則は、上位互換性のため ORC と OBR の両方の中に存在している他のフィールドにも適用される。（例えば、数量／タイミング、親番号、オーダ依頼者、および依頼コールバック用電話番号）。

【注射】本規約では、すべてのオーダ（依頼した単位）をシステム内で一意に識別できるオーダ番号をセットする。オーダ番号は最大 15 桁を推奨とする。

例：| 123456789012345|

ORC-3 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

定義：このフィールドは、実施者アプリケーションに関連したオーダ番号である。それは実体識別子データ型（HL7 V2.5 第 2.A.28 節）の実例である。その第 1 成分は、オーダ詳細セグメント

（例えば OBR）を識別する文字列である。15 文字の上限が推奨されるが、必須ではない。実施者オーダ番号に対してより多くの文字数を要求するアプリケーションに適用するためにこのフィールドの文字数が増える場合、その実装は HL7 に準拠している。それはオーダ実施者（受信）アプリケーションによって割り当てられる。この文字列は、オーダ（オーダ詳細セグメントで指定された）を、特定の実施者アプリケーション（例えば、臨床検査室）における他のオーダから一意的に識別しなければならない。この一意性は時間が経過しても維持されなければならない。

第 2 から第 4 までの成分は実施者アプリケーション ID を含んでいるが、その形は HD データ型である（HL7 V2.5 2.A.36 節「HD 階層的指定子」を参照のこと）。第 2 成分は使用者定義のコード化された値であって、そのアプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから一意的に定義する。6 文字の上限が推奨されるが、必須ではない。実施者オーダ番号の第 2 成分は、オーダの実際の実施者を常に識別する。

施設または相互通信する施設のグループは、オーダの依頼者や実施者となりうるアプリケーションのリストを作成し、一意のアプリケーション ID を割り当てるべきである。アプリケーション ID リストは、HL7 V2.5 第 8 章で文書化される施設のマスタ辞書リストのうちの 1 つになる。第三者アプリケーション（オーダの依頼者および実施者以外のもの）は、ORM および ORR メッセージを送信し受信することができるため、このフィールドの実施者アプリケーション ID は（MSH セグメントで定義される）ネットワーク上の任意の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい。

「ORC-3 実施者オーダ番号」は「OBR-3 実施者オーダ番号」と同じである。実施者オーダ番号が ORC の中になく、それは関連する OBR の中になければならない。（この規則は、ORC および OBR の他の同一のフィールドに対して同じであり、上位および ASTM 互換性を促進する。）結果が ORU メッセージ中で送信される場合、これは特に重要である。この場合、ORC は必須ではないため、識別する実施者オーダ番号は OBR セグメントの中になければならない。

実施者オーダ番号（OBR-3 または ORC-3）は、さらに、オーダおよびその関連する観察を一意に識別する。例えば、施設がいくつかの付随的なアプリケーションからの検査（広義）を共通の

データベースへ集め、この共通のデータベースが検査（広義）のための別のアプリケーションから照会を受ける場合を想定する。この場合、共通のデータベース・アプリケーションによって送信された実施者オーダー番号および依頼者オーダー番号は、それぞれ元の実施者および依頼者の番号になり、共通のデータベース・アプリケーションによって割り当てられた新しい番号ではない。

同様に、オーダーの第三者アプリケーション（実施者または依頼者ではない）がオーダー状態を修正する（例えば、それを取り消す）権限を持つならば、第三者アプリケーションは実施者に次のような ORM メッセージを送るであろう、すなわち、「ORC-1 オーダー制御」の値が「CA」に等しく、それ自体割り当ててのではなく元の依頼者オーダー番号および実施者オーダー番号を含む ORC セグメントを含んでいる。

ORC-4 Placer Group Number 依頼者グループ番号 (EI) 00218

成分: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドによって、オーダー依頼者アプリケーションは何組かのオーダーをグループ化した後にそれらを識別できる。それは実体識別子データ型（HL7 V2.5.2 A.28 節）の実例である。

第1成分は、与えられた依頼者アプリケーションからのオーダーグループをすべて一意に識別する文字列である。15文字の上限が推奨されるが、必須ではない。それは依頼者アプリケーションによって割り当てられ、ORCの依頼者オーダー番号と同じシリーズからくるかもしれないが、そうである必要はない。

第2から第4までの成分は、依頼者アプリケーションIDを構成するが、これは「ORC-2 依頼者オーダー番号」の同様の成分と同一である。

【注射】本規約では、オーダー番号、すべてのRpをオーダー内で一意に識別できる番号（Rp番号）、すべての施用をオーダー内で一意に識別できる番号（施用番号）をアンダースコアを区切り文字として連結したテキストをセットする。オーダー番号はORC-2と同じ値とする。Rp番号は2桁、施用番号は3桁とすることを推奨する。

例: オーダー番号が123456789012345、Rp番号が02、施用番号が003の場合、
|123456789012345_02_003|

ORC-5 Order Status オーダー状態 (ID) 00219

定義: このフィールドは、オーダーの状態を定義する。とりうる値については「HL7表 0038-オーダー状態」を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合にオーダーの状態を報告することであり、行為を開始することではない。オーダー状態は、メッセージが送られる時点で送信アプリケーションに知られていた状態を反映させることを想定している。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

「HL7表 0038-オーダー状態」は「HL7表 0119-オーダー制御コードとその意味」と同じ値の多くを含んでいるが、目的は異なる。オーダー状態は、「ORC-1 オーダー制御値」がSRまたはSCのメッセージにおいて典型的に使用される。これは、要求により、あるいは任意の時点で任意の当事者にオーダーの状態を報告するためである。

HL7表 0038 - Order status オーダー状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available 一部（全部ではない）の結果が利用できる。
CA	Order was canceled オーダーが取り消された
CM	Order is completed オーダーが完了した
DC	Order was discontinued オーダーが中断した
ER	Error, order not found エラー、オーダーが見つからない
HD	Order is on hold オーダーが保留
IP	In process, unspecified 進行中、不定
RP	Order has been replaced オーダー変更された
SC	In process, scheduled 進行中、予定された

ORC-6 Response Flag 応答フラグ (ID) 00220

定義：このフィールドによって依頼者（送信）アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない。しかし、それが可能なとき、実施者（受信）アプリケーションは、その情報を送らなければならない。フィールドが null であるとき、フィールドのデフォルト値は D である。とりうる値については「HL7 表 0121-応答フラグ」を参照のこと。

HL7表 0121 - Response flag 応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only 例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child Eと同じ、および変更と親子
D	Same as R, also other associated segments Rと同じ、および他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly Dと同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned MSA セグメントのみが返却される

ORC-7 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義：（このフィールドは下位互換を保つ目的のためだけに残されている）

ORC-8 Parent 親 (EIP) 00222

定義：このフィールドは、親子の関係が存在するときに、子をその親に関係付ける。親子のメカニズムは、「ORC-1 オーダ制御」の注記のところで述べられる。

第1成分は、「ORC-2 依頼者オーダ番号」と同じフォーマットである。第2成分は、「ORC-3 実施者オーダ番号」と同じフォーマットである。依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号の成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。

「ORC-8 親」は、「OBR-29 親」と同じである。ORC に親が記載されていない場合、関連づけられた OBR に記述されるべきである。（この規定は、ORC と OBR の他の同一フィールドと同じであり、上位互換と ASTM 互換を促進する。）これは、結果が ORU メッセージにおくられた場合に特に重要である。この場合、その ORC は要求されず、識別する実施者オーダ番号が OBR セグメントの中に記述されなければならない。

ORC-9 Date/Time Of Transaction トランザクション日時 (TS) 00223

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、「ORC-1 オーダ制御コード」に反映される現在のトランザクションを開始したイベントの日時を含む。このフィールドは、「MSH-7 メッセージ日時（物理的なメッセージの日時を反映する）」と等価ではない。

【注射】指示情報では、オーダ更新日時を記述する。実施情報では、実施更新日時を記述する。

例：|20220701012410|

ORC-10 Entered By 入力者 (XCN) 00224

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報を含む。これは、現在のトランザクションの「ORC-1 オーダ制御コード」に反映されることに注意する。それは、要求が不正確に入力され、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証跡となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は省略してもよい。

【注射】指示情報では、オーダ更新者のID・氏名(姓・名)をセットする。姓・名の分離が難しい場合は<姓>フィールドを使用する。実施情報では、同様に実施更新者をセットする。

例：|20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^|

ORC-11 Verified By 検証者 (XCN) 00225

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、入力された要求の正確さを検証した人の識別情報を含む。これは、「ORC-1 オーダ制御コード」に反映されるものとして、現在のトランザクションを参照することに

注意する。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、（看護師など）より高い権限者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は省略してもよい。

ORC-12 Ordering Provider オーダ発行者 (XCN) 00226

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、（例えば、依頼している医師など）要求を作成することに責任がある人の識別情報を含む。

「ORC-12 オーダ依頼者」は、「OBR-16 オーダ依頼者」と同じである。オーダ依頼者が ORC に記述されない場合、関連づけられた OBR に記述されるべきである。（この規定は、ORC や OBR の他の同一フィールドと同様であり、上方互換と ASTM 互換を促進する。）これは特に、結果が ORU メッセージに転送された場合に重要である。この場合、ORC が要求されず、識別する実施者オーダ番号が OBR セグメントに記述されるべきである。

【注射】本規約では、依頼医の ID・氏名（姓・名）を示す。姓・名の分離が難しい場合は<姓>フィールドを使用する。

例：|10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^|^|

ORC-13 Enterer's Location 入力場所 (PL) 00227

成分:<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 for Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI):<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Authority for Location (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、要求を入力した人がオーダを入力した時にいた物理的な場所を指定する（例えば、ナースステーション、関連サービス部、クリニック、フロア）。これは「ORC-1 オーダ制御コード」に反映されるものとして、現在のトランザクションを参照することに注意する。入力した人の場所に関係のある副成分だけが値を与えられるべきである（通常は看護ユニット、施設、建物、フロア）。要求を入力した人は「ORC-10 入力者」によって定義される。

【注射】本規約では、入力場所を示す。データ型はPL型なので、

入院の場合、

<病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^N

外来の場合、

<診療科コード>^C

と設定することにし、Person Location Type は必須とする。

Person Location Type には、C：診療科、D：部門、N：病棟を設定する。

例：|010^C|

ORC-14 Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN) 00228

成分:<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^

<Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)>

^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^

<Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドは、要求やそのオーダに関する他の情報を確認するための電話番号を含む。

「ORC-14 コールバック用電話番号」は、「OBR-17 オーダコールバック用電話番号」と同じである。

ORC-15 Order Effective Date/Time オーダ有効日時 (TS) 00229

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、要求への変更が有効になった、あるいは有効になる予定の日時を含む。

「ORC-9 トランザクション日時」が、「ORC-15 オーダ有効日時」以降であれば、ORC およびその下位のセグメントのデータ値はオーダ有効日時に有効になった。

「ORC-9 トランザクション日時」が、「ORC-15 オーダ有効日時」より前ならば、ORC およびその下位セグメントのデータ値はオーダ有効日時に有効になるよう計画される。

「ORC-15 オーダ有効日時」がブランクであれば、その値は、「ORC-9 トランザクション日時」と、トランザクション日時がブランクであれば「MSH-7 メッセージ日時」と等しいと仮定される。

「ORC-15 オーダ有効日時（同じ ORC セグメントのオーダ制御コードイベントのための）」が、ORC-7-数量／タイミングの対応する日時と異なる場合は、「ORC-15 オーダ有効日時」が優先する。1 例として ORC イベントが実施者への継続しているオーダに対する中断要求であり、かつオーダ有効日時が「ORC-7 数量／タイミング」の終了日時の前であれば、オーダ有効日時が優先する。ORC の中で識別されたオーダが子を持っているならば、開始しなかった子は取り消される必要がある。進行中の子がいるならば、それは中断される必要がある;子が中断できる点を超えて進行しているならば、その状態は影響されない。

ORC-16 Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CE) 00230

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier

(ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、オーダ制御コード（HL7 表 0119）によって記述されたオーダイベントに対する理由の説明を含んでいる。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特有のセグメント（例えば、RXO、ORO、OBR）の後の NTE は、その特有のセグメントのためのコメントとなる一方、オーダ制御コード理由の目的は、そのオーダイベントの理由のみを拡張することである。

「ORC-1 オーダ制御」が NW であるときは、「ORC-16 オーダ制御コード理由」には普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、例えば、このフィールドは、取消の理由を説明するためによく使用される。よく知られているアレルギーのために医師からの処方オーダが取り消されたならば、調剤システムからこのフィールドによってアレルギーの事実が報告される。それが薬理相互作用のためにこのオーダを取り消されたならば、このフィ

ールドは、相互作用物質の少なくとも名称（および必要ならコードも）、相互作用を記述する文章、および相互作用の深刻度を含む。

【注射】依頼情報では、オーダ進捗に関するコメント情報を記述する。

例：|001^患者体調不良により実施延期^99ILL|

ORC-17 Entering Organization 入力組織 (CE) 00231

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、入力した人が、オーダを入力／維持したときに属している組織、例えば、医療グループまたは診療科を識別する。要求を入力した人は「ORC-10 入力者」によって定義される。

【注射】本規約では、依頼科のコードと名称をセットする。

例：|01^内科^99ILL|

ORC-18 Entering Device 入力装置 (CE) 00232

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、オーダを入力するのに使用された物理的装置（端末やPC）を識別する。

【注射】指示情報では、オーダ入力端末のIDを記述する。実施情報では、実施情報入力端末のIDを記述する。

例：|PC01^^99ILL|

ORC-19 Action By 発動者 (XCN) 00233

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、対応するオーダ制御コードによって表されるイベントを発動した人の識別情報を含む。例えば、オーダ制御コードがCA（オーダ取消要求）であるならば、このフィールド

は、オーダ取消を要求した人を表す。この人は典型的には医療提供者であるが、必ずしも「ORC-12 オーダ発行者」と同じとはかぎらない。

ORC-20 Advanced beneficiary notice code 予告受益者通知コード (CE) 01310

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、保険未加入の可能性のあるサービスの支払責任に対する患者または患者の代理人の承諾状態を示す。この要素は、外来患者に対する CMS 医療要求を満たすことを促す。この要素は、(a)サービスに関連づけられた診断コードが医療上必要な治療の対象かどうか、(b)この種のサービスに対して、そのサービスに対する支払責任があるかもしれないことを患者に通知されているか、(c)そして、患者がサービスに対する請求に同意しているか、を示している。そのフィールドの値は、「使用者定義表 0339-予告受益者通知コード」から引用される。

使用者定義表 0339 – Advanced beneficiary notice code 予告受益者通知コード

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures サービスは、医療上必要な治療の対象である
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service 患者に支払責任のあることが通知されており、サービスの支払の同意がある
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed 患者に支払責任のあることが通知されており、支払者が請求されるよう依頼する
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed 予告受益者通知がサインされていない

ORC-21 Ordering facility name オーダ施設名 (XON) 01311

成分:<Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドは、オーダ依頼している施設名を含む。

ORC-22 Ordering facility address オーダ施設住所 (XAD) 01312

成分:<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD):<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは、オーダ依頼している施設の住所を含む。

ORC-23 Ordering facility phone number オーダ施設電話番号 (XTN) 01313

成分:<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義: このフィールドは、オーダ依頼している施設の電話番号を含む。

ORC-24 Ordering provider address オーダ依頼者住所 (XAD) 01314

成分:<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD):<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは、オーダを要求した医療提供者の住所を含む。

ORC-25 Order status modifier オーダ状態修飾子 (CWE) 01473

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、「ORC-5 オーダ状態」フィールドの修飾または絞り込みのためにある。このフィールドは、定義されたオーダ状態コードへの付加的な特定レベルまたは付加的な情報を提供するのに利用される。HL7 定義表により制御されるオーダ状態フィールドとは異なり、このフィールドは CWE データ型であり、アプリケーションはオーダ状態修飾子コードの制限のないライブラリをサポートすることが許される。

使用規則: このフィールドは、「ORC-5 オーダ状態」フィールドに値がある場合のみ値を持ってよい。

例: オーダ状態が IP のオーダを処理している LIS が、検査室内でのオーダ進捗状況や、そのオーダが外部検査機関に送られたことを示すのに、オーダ状態修飾子を用いて最新情報を送ってもよい。医療関連でないオーダを利用する別の例では、電話を患者の病室に転送するよう依頼されたが、一時的に切れてしまったような場合である。「ORC-5 オーダ状態」は IP を示し、「ORC-25 オーダ状態修飾子」は切れた状態を示す。第3の例は、薬剤部での調剤に関するものである。処方箋が調剤されているかどうかを知るだけでは不十分な場合がある。「ORC-25 オーダ状態修飾子」はラベルが印刷されたかどうか、処方箋が記載されたかどうか、処方箋が発行されたかどうか、などを示す。

ORC-26 Advanced Beneficiary Notice Override Reason 予告受益者通知上書き理由 (CWE) 01641

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、患者が予告受益者通知にサインしない理由を含む。理由はコード化してもよいしフリーテキストで入力してもよい。「HL7 表 0552-予告受益者通知上書き理由」を参照のこと。

条件: このフィールドは、「ORC-20 予告受益者通知コード」の値が、通知にサインされていない場合に要求される。例えば、ORC-20 が「使用者定義表 0339-予告受益者通知コード」の3あるいは4の値を持つ場合、または、関連する外部コード表で同様の値が入力されている場合、追加の修飾または説明のための情報が正当なものとして認められる。

HL7表 0552 - Advanced beneficiary notice override reason 予告受益通知上書き理由

Value	Description	Comments

ORC-27 Filler's Expected Availability Date/Time 実施者サービス可能日時 (TS) 01642

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、処方箋が受け取り可能な時、補充品が送付ないし受け取られる時、または検体検査結果が利用可能となる時。

ORC-28 Confidentiality Code 守秘コード (CWE) 00615

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティおよび/あるいはセンシティブティのレベルに関する情報を含む。（例えば、非常に機微、機微ではない、機微など）。可能な値に関しては、「HL7表 0177-守秘コード」を参照のこと。特定の守秘レベルでのデータの具体的な処理に関しては、施設固有の取り決めに委ねる。

HL7表 0177 - Confidentiality Code 守秘コード

Value	Description	Comments
AID	AIDS patient 患者	
EMP	Employee 従業員	
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール/薬物中毒 治療患者	
HIV	HIV(+) patient HIV(+)患者	
PSY	Psychiatric patient 精神病患者	
R	Restricted 限定	
U	Usual control 通常管理	
UWM	Unwed mother 未婚の母	
V	Very restricted 非常に限定	
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士	

ORC-29 Order Type オーダタイプ (CWE) 01643

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダが入院患者の設定ないし外来患者の設定で実行されるかどうかを示している。もし、このフィールドが値を持っていないければ、システムのデフォルト値がとられる。推奨値に関しては、「HL7表 0482-オーダタイプ」を参照のこと。

例：退院前にフォローアップの理学療法ないし地域薬局で処方箋を受け取るオーダが出される。その患者は、PV1 によると入院患者だが、そのオーダは外来患者オーダである。

HL7表 0482 - Order Type オーダタイプ

Value	Description	Comments
I	Inpatient Order 入院患者オーダ	
O	Outpatient Order 外来患者オーダ	

【注射】本規約では、オーダの入外区分をセットする。

例：|I^入院患者オーダ^HL70482|

ORC-30 Enterer Authorization Mode 入力者承認モード (CNE) 01644

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダを作成あるいは変更する責任を持つ医師から記録者が得た承認の形態を示している。推奨値に関しては、「HL7表 0483-承認モード」を参照のこと。

HL7表 0483 - Authorization Mode 承認モード

Value	Description	Comments
EL	Electronic 電子的	
EM	E-mail	
FX	Fax	

Value	Description	Comments
IP	In Person 本人自ら	
MA	Mail	
PA	Paper 紙	
PH	Phone 電話	
RE	Reflexive (Automated system) 条件に基づく (自動化システム)	
VC	Video-conference TV 会議	
VO	Voice 口頭	

7.9 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.10 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント

JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.11 RXA - Pharmacy/Treatment Administration Segment 薬剤／治療投薬セグメント

ORC セグメントは実施者オーダ番号およびオーダ制御コード RE を持たなくてはならない。施設固有の別形としては、受信アプリケーションがそれらのデータのうちのいずれかを必要とする場合、RXO および関連する RXC および／または RXE(および関連する RXC)が存在してもよい。RXA は投薬データを伝える。

HL7属性表－RXA－Pharmacy/Treatment Administration Segment 薬剤／治療投薬セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	NM	R	R			Give Sub-ID Counter 与薬サブIDカウンタ
2*	4	NM	R	R			Administration Sub-ID Counter 投薬サブIDカウンタ
3*	26	TS	R	R			Date/Time Start of Administration 投薬開始日時
4*	26	TS	R	RE			Date/Time End of Administration (If Applies) 投薬終了日時
5*	250	CE	R	R		0292	Administered Code 投薬コード
6	20	NM	R	R			Administered Amount 投薬量
7*	250	CE	C	C			Administered units 投薬単位
8*	250	CE	O	O			Administered Dosage Form 投薬剤形
9*	250	CE	O	O	Y		Administration Notes 投薬注記
10*	250	XCN	O	O	Y		Administering Provider 投薬者
11*	200	LA2	C	C			Administered-at Location 投薬場所
12*	20	ST	C	C			Administered Per (Time Unit) 単位時間あたりの投薬量
13	20	NM	O	O			Administered Strength 投薬力価
14	250	CE	O	O			Administered Strength Units 投薬力価単位
15	20	ST	O	O	Y		Substance Lot Number 薬剤ロット番号
16	26	TS	O	O	Y		Substance Expiration Date 薬剤有効期限
17	250	CE	O	O	Y	0227	Substance Manufacturer Name 薬剤製造者名
18*	250	CE	O	O	Y		Substance/Treatment Refusal Reason 薬剤／治療拒否理由
19*	250	CE	O	O	Y		Indication 指示
20*	2	ID	O	O		0322	Completion Status 完了状態
21	2	ID	O	O		0323	Action Code - RXA アクションコード - RXA
22*	26	TS	O	O			System Entry Date/Time システム入力日時
23	5	NM	O	O			Administered Drug Strength Volume 投薬力価容量
24	250	CWE	O	O			Administered Drug Strength Volume Units 投薬力価容量単位
25	60	CWE	O	O			Administered Barcode Identifier 投薬バーコード識別子
26	1	ID	O	O		0480	Pharmacy Order Type 薬剤オーダタイプ

RXA フィールド定義

RXA-1 Give Sub-ID Counter 与薬サブID カウンタ (NM) 00342

定義：RXG セグメントにこの RXA セグメントを対応づける場合、このフィールドを使用する。2 つのアプリケーションが RXG と RXA セグメントを対応づけしていない場合、このフィールドの値はゼロ(0)である。

例：|0|

RXA-2 Administration Sub-ID Counter 投薬サブID カウンタ (NM) 00344

定義：その薬剤／治療がはじめてこのオーダのために実施されるときに、このフィールドは1で始まる。個々の薬剤／治療の追加の実施により1ずつ増加する。

【注射】速度変更時に1ずつ増加する。

注記：点滴の投与速度の変更を記録する場合のように、複数の RXA セグメントを単一の RXG セグメントに対応づけることができる。

例：|1|

RXA-3 Date/Time Start of Administration 投薬開始日時 (TS) 00345

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：オーダが連続的な投薬(点滴のように)に対するもので、速度が開始後のある時点に変更される場合、RAS メッセージの変更を記録するために発行することができる。そのような RAS メッセージにおいては、このフィールドは、同一メッセージの RXA-12-単位時間あたりの投薬量 *単位* に記録された新しい値に速度が変更された時刻を記録する。

【注射】本規約では、薬剤単位の 1 回ごとの実施開始日時とする。途中で速度変更を行った場合は、その開始日時も記述する。

例：|20090701080521|

RXA-4 Date/Time End of Administration (If Applies) 投薬終了日時(当てはまる場合) (TS) 00346

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：null の場合、RXA-3-投薬開始日時の日時と仮定される。

【注射】本規約では、薬剤単位の 1 回ごとの実施終了日時とする。途中で速度変更を行った場合は、その終了日時も記述する。

例：|20090701130543|

RXA-5 Administered Code 投薬コード (CE) 00347

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、実施された薬剤／治療の識別子を含んでいる。それは機能的には OBR-4-汎用サービス ID と同等である。投薬された薬剤がワクチンである場合、このフィールドをコード化するために CVX コードを使用してもよい。(HL7 表 0292-投薬されたワクチン-を参照のこと)。

【注射】本規約では、標準マスタとしては、MEDIS-DC の標準医薬品マスタを使用することを推奨する。この場合、HOT9 や可能な場合には HOT11 コードを使用し、コーディングシステム名には「HOT」を格納する。

例：|108010001^アドナ注（静脈用）5 0 m g ^HOT|

RXA-6 Administered Amount 投薬量 (NM) 00348

定義：このフィールドは、投薬された量を含んでいる。

例：|1|

RXA-7 Administered units 投薬単位 (CE) 00349

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、投薬された投与量コードが単位を暗黙的に示さない場合必須となるので、条件付きである。このフィールドは、投与された薬剤の実際の数量を反映した、単純な単位でなければならない。それは複合単位を含んでいない。

【注射】取りうる値は表 7.11.1 に示す通りとする。値がセットできない場合は「'''」をセットする。

表 7.11.1 単位略号 (MERIT-9)

Value	Description
TAB	錠
CAP	カプセル
G	グラム
MG	ミリグラム
MCG	マイクログラム
L	リットル
ML	ミリリットル
UNT	単位
AMP	管、アンプル
BAG	袋
BTL	瓶
HON	本

Value	Description
KO	個
PCK	包
SHT	枚
VIL	バイアル

第3成分(name of coding system)には、‘MR9P’を設定する。

例： |AMP^アンプル^MR9P|

RXA-8 Administered Dosage Form 投薬剤形 (CE) 00350

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：剤形は、薬剤／治療が調剤のために集められる形態を示す。例えば、錠剤、カプセル、坐薬である。ある場合には、この情報が RXA-5-投薬コードにおける調剤／与薬コードによって暗黙的に示される。投薬コードが剤形を指定しない場合、このフィールドを使用すること。

【注射】本規約では、取りうる値は下表に示す通りとする。

表 7.11.2 剤形略号 (MERIT-9)

Value	Description
TAB	錠剤
CAP	カプセル剤
PWD	散剤、ドライシロップ剤
SYR	シロップ剤
SUP	坐剤
LQD	液剤
OIT	軟膏、ゲル
CRM	クリーム
TPE	テープ、貼付剤
INJ	注射剤

第3成分(name of coding system)には、‘MR9P’を設定する。

RXA-9 Administration Notes 投薬注記 (CE) 00351

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、薬剤／治療を実施する提供者からの注意を含んでいる。もしコード化されれば、使用者定義表が要求される。フリーテキストの場合(例えば、通常の点滴、混合薬または軟膏について記述する)、第1成分は null とし、第2成分にテキストをセットする。例えば、|this is a free text administration note|。

【注射】本規約では、投薬実施における投与経路コメント、投与部位コメント、手技コメント、ラインコメント、用法コメントをセットする。コーディングシステム名は、それぞれ「JHSIC002」「JHSIC003」「JHSIC004」「JHSIC005」「JHSIC007」をセットする。「2.6 各種コメント」も参照のこと。

例：|^左手に実施^JHSIC002|

RXA-10 Administering Provider 投薬者 (XCN) 00352

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

定義：このフィールドは、薬剤／治療を実施する者の提供者 ID を含んでいる。

【注射】本規約では、注射実施の担当者とする。

例：|20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^|

RXA-11 Administered-at Location 投薬場所 (CM) 00353

成分:<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^
<Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Street Address (ST)> ^
<Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)>

定義：第1成分は、薬または治療が実施された入院患者か外来患者の場所を含む（適用可能な場合）。デフォルト値(null)は患者の現在の患者登録場所である。施設固有の表を使用する。最初の8つの成分は、PV1-3-患者の割り当てられた所在の最初の8つの成分と同じ形式を持っている。最後の8つの成分は、PV1-3-患者の割り当てられた所在の第9成分を置換し、住所の完全な仕様を表す。

【注射】本規約では、注射実施の場所とする。

例：|09A^021^4^^^N|

RXA-12 Administered Per (Time Unit) 単位時間当たりの投薬量 (ST) 00354

定義：このフィールドは、RXA-6-投薬量およびRXA-7-投薬単位を使用することにより計算された、この薬剤／治療が実施された速度を含んでいる。治療が処方された速度で連続的に実施される場合(例えば、ある点滴)必須とされるので、このフィールドは条件付きである。

【注射】本規約では、単位あたりの投与量及び実施投与速度に使用する単位とする。

例：|102ml/hr|||||CP||20090701130613<CR>

RXA-13 Administered Strength 投薬力価 (NM) 01134

定義：RXA-5-投薬コードが力価を指定しない場合に使用する。これはRXA-14-投薬力価単位と組み合わせて使用される力価の数値の部分である。

RXA-14 Administered Strength Units 投薬力価単位 (CE) 01135

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：RXA-5-投薬コードが力価を指定しない場合に使用する。これは力価のRXA-13-投薬力価と組み合わせて使用され、力価の単位である。

注記：これらの単位は "複合数量" でありうる。つまり、単位は単位時間当たりの数量を表現してもよい。例えば、毎時マイクログラム($\mu\text{g/h}$)は許容可能な値である。これらの複合単位はISO+表に含まれている。ISO+単位の完全な定義に関しては、HL7 V2.5.7 章を参照すること。

RXA-15 Substance Lot Number 薬剤ロット番号 (ST) 01129

定義：このフィールドは、投薬された薬剤のロット番号を含んでいる。

注記：ロット番号は、薬剤を保持するコンテナに付けられたラベル上、およびコンテナを収容するパッケージ上に印刷された番号である。薬剤が例えばワクチンで、希釈剤が要求される場合、ロット番号は希釈剤のバイアルに表示されることがある。しかしながら、希釈剤に関連したいかなるそのような識別子も関心のある識別子ではない。希釈剤以外の薬剤ロット番号が報告されるべきである。

RXA-16 Substance Expiration Date 薬剤有効期限 (TS) 01130

定義：このフィールドは、投薬された薬剤の有効期限を含んでいる。

注記：ワクチン有効期限は必ずしも "日" 成分を持っているとは限らない。したがって、そのような日付はYYYYMMとして送信してもよい。

RXA-17 Substance Manufacturer Name 薬剤製造者名 (CE) 01131

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、投薬された薬剤の製造者を含む。

注記： ワクチンについては、コード化システム MVX をこのフィールドをコード化するために使用してもよい。薬剤の製造者が、RXA-5-投薬コードで使用されるコードによって識別されなければ、このフィールドを使用してもよい。

RXA-18 Substance/Treatment Refusal Reason 薬剤／治療拒否理由 (CE) 01136

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、患者が薬剤／治療を拒絶した理由を含んでいる。このフィールドでのいかなるエントリも、患者が薬剤を摂取しなかったことを示す。

【注射】本規約では、進捗に関するコメントとする。

例：|^容体急変のため倍の速度で実施^JHSIC008|

RXA-19 Indication 指示 (CE) 01123

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、薬剤／治療が処方された条件またはプロブレムの識別子を含んでいる。複数の指示が適切である場合、繰り返してもよい。

【注射】本規約では、実施投与速度に関するコメントとする。

例：|^倍速で実施^JHSIC006|

RXA-20 Completion Status 完了状態 (ID) 01223

定義：処置実施イベントのステータス。有効な値については HL7 表 0322 - 完了状態を参照のこと。

【注射】本規約では、投与の進捗とする。

HL7表 0322 - Completion Status 完了状態

Value	Description	Comments
CP	完了した	
RE	拒絶された	
NA	実施しなかった	
PA	部分的に実施した	

例：|CP|

RXA-21 Action Code - RXA アクションコード-RXA (ID) 01224

定義：レコードの状態。このフィールドの情報によりワクチンメッセージで RXA の仕様が可能になる。そこでは、正しくない患者識別情報と一緒に送信された予防接種情報を修正する方法が必要になる。有効な値については HL7 表 0323 - アクションコードを参照のこと。

HL7 表 0323 - Action Code アクションコード

Value	Description	Comments
A	追加	
D	削除	
U	更新	

RXA-22 System Entry Date/Time システム入力日時 (TS) 01225

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：投薬情報がシステムに入力された日時。このフィールドは、一意な識別フィールドの提供により、治療投薬情報が不注意に複数回入力された場合に、インスタンスを検知するために使用される。通常的环境下では、このフィールドは人によって入力されるよりも、コンピューターシステムによって自動的に提供される。

【注射】本規約では、実施情報がシステムに登録された日時とする。

例：|20090701165043|

RXA-23 Administered Drug Strength Volume 投薬力価容量 (NM) 01696

定義：この数値フィールドは薬剤力価濃度が含まれる容積を定義する。例えば、アセタミノフェン 120MG/5ML エリクシルの意味は 120MG の薬剤が 5ML の量の液剤に入っているということであり、RXA-13, RXA-14, RXA-23 および RXA-24 において、次のようにコード化される。

例：RXA|||||||120|mg^^ISO|||||||5|ml^^ISO ...

RXA-24 Administered Drug Strength Volume Units 投薬力価容量単位 (CWE) 01697

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、RXA-23 投薬力価容量に関連した容積単位を示す。RXA-23 の例を参照のこと。

RXA-25 Administered Barcode Identifier 投薬バーコード識別子 (CWE) 01698

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドには、与薬発生に対して薬剤システムが割り当てたバーコード番号が入っている。点滴静注オーダに対しては、多くの薬剤システムでオーダの袋／瓶を識別するバーコード番号を生成する。この番号は、インスタンスの識別子でありうる、すなわち、患者、薬剤の組み合わせ、日程に対して一意である場合もあるが、単に薬剤の識別だけを行う場合もある。

バーコード番号の合成および使用はアプリケーションの交渉に依存する。このフィールドの例は次のようなものである：バーコード番号は 9XXXXXXXX000 のようなフォーマットである。数字の '9' は定数であり、XXXXXXXX は識別を可能にする 7 文字で、患者の記録番号およびオーダ ID から割り当てられるか抽出される。000 は 0 埋めの 3 文字の点滴静注の瓶の番号である。

このフィールドの第 1 成分の最大長は 40 文字であり、現在用いられている、バーコードの最大長まで許容できるようになっている。第 2 成分にはコード化される項目の記述が入っており、第 3 成分はバーコードのタイプを定義するものとなっている。

例：12345678901^IV bottle^3X9

RXA-26 Pharmacy Order Type 薬剤オーダタイプ (ID) 01699

定義：薬剤オーダタイプフィールドは、オーダが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダの一般的カテゴリを定義するものである。有効な値については HL7 表 0480 薬剤オーダタイプを参照のこと。

このフィールドはまた、処理すべき関連するオーダおよび／もしくは報告をグループ化するために使用してもよい。例えば、投薬管理記録 Medication Administration Records (MARs) はしばしば、大容量の液剤、医薬品と少容量の液剤とを施設固有のワークフローに基づいて異なるグループ分けを行う。

使用規則：このフィールドはすべての薬剤トランザクションにおいてオプションである。値を持たないときは、デフォルトの「M」が仮定される。

7.12 RXC - Pharmacy/Treatment Component Segment 薬剤／治療成分オーダセグメント

RXO セグメントによってオーダされた薬剤あるいは治療が複合薬剤か点滴溶剤であり、さらに OBR-4 汎用サービス ID に成分（基本薬剤およびすべての添加物）を指定するコード化された値がない場合は、その成分(基本薬剤および添加剤)は 2 つ以上の RXC セグメントによって指定される。RXC レベルでの代替品についての薬剤もしくは処置アプリケーションの方針は、RXO レベルと同一である。

HL7属性表－RXC－Pharmacy/Treatment Component Segment 薬剤／治療成分オーダセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	1	ID	R	R		0166	RX Component Type RX成分タイプ
2*	250	CE	R	R			Component Code 成分コード
3*	20	NM	R	R			Component Amount 成分量
4*	250	CE	R	R			Component Units 成分単位
5	20	NM	O	O			Component Strength 成分力価
6	250	CE	O	O			Component Strength Units 成分力価単位
7*	250	CE	O	O	Y		Supplementary Code 補足コード
8	5	NM	O	O			Component Drug Strength Volume 成分薬力価容量
9	250	CWE	O	O			Component Drug Strength Volume Units 成分薬力価容量単位

RXC フィールド定義

RXC-1 RX Component Type RX 成分タイプ (ID) 00313

定義：このフィールドの値は次の通りである。

HL7表0166 – RX Component Type RX 成分タイプQBP

Value	Description	Comments
B	基本薬剤 (Base)	
A	添加剤 (Additive)	

点滴以外の場合でも、“B” 値が適用できる。例えば、皮膚軟膏が調合されている場合、“B” 項目は標準の基本軟膏を表し、他の成分が混合される。

“B” セグメントで指定された“基本薬剤”の量は、“A”成分を混合した量として定義される。したがって、1 グループとしての RXC セグメントにより、（基本薬剤セグメントで定義した）特定量の“処方”を定義する。RXO に定義された与薬量は、この基本薬剤量に対応する必要はない。例えば、RXC セグメントは1 グラムの特定抗生物質とともに標準タイプの食塩水 1 リットルの処方を指定する一方、与薬量(RXO からの)では、点滴溶剤を 24 時間ごとに 2 リットル投薬するように指定できる。

各々の“A”セグメントで指定された量は、RXC セグメントで指定された基本薬剤量に加えられる数量として定義される。

“基本薬剤”成分が存在する場合、それらは最初に送信されるべきである。最初に送信される“基本薬剤”成分は、他の“基本薬剤”と区別が必要な場合、“第一基本薬剤”とみなされるべきである。同様に、最初に送信される“添加剤”は、他の“添加剤”と区別が必要な場合、“第一添加剤”とみなされるべきである。

例：|B|

RXC-2 Component Code 成分コード (CE) 00314

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは OBR-4 汎用サービス ID と同等である。それは、与薬および調剤コードと同じ方法で基本薬剤または成分を定義する。与薬および調剤コードと同様、この中に記述できるのは、テキストのみ、コードのみ、テキスト+コードあるいはテキスト+コード+単位(暗示的または明

示的)のいずれかである。与薬および調剤コードと同様に、RXC-4成分単位が存在する場合、コードによって意味された単位をオーバーライドする。もしテキストのみが存在する場合、薬剤または処置アプリケーションは、成分の薬剤や治療を手動で確認するか、再入力を行わなければならない。

【注射】本規約では、標準マスタとしては、MEDIS-DC の標準医薬品マスタを使用することを推奨する。この場合、HOT9 コードを使用し、コーディングシステム名には「HOT」を格納する。

例： |107750602^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT|

RXC-3 Component Amount 成分量 (NM) 00315R

定義：このフィールドは、指定された量の基本薬剤へ加えられる成分の量を示す。

【注射】本規約では、該当薬剤の投与予定量とする。

例： |1|

RXC-4 Component Units 成分単位 (CE) 00316R

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、成分量のための単位を示す。存在する場合、RXC-2-成分コードによって意味された単位をオーバーライドする。これは、加えられている成分の実際量を反映する単純単位でなければならない。それは複合単位を含まない。

【注射】取りうる値は表 7.12.1 に示す通りとする。値がセットできない場合は「'''」をセットする。

表 7.12.1 単位略号 (MERIT-9)

Value	Description
TAB	錠
CAP	カプセル
G	グラム
MG	ミリグラム
MCG	マイクログラム
L	リットル
ML	ミリリットル
UNT	単位
AMP	管、アンプル
BAG	袋
BTL	瓶
HON	本
KO	個
PCK	包
SHT	枚
VIL	バイアル

第3成分(name of coding system)には、「MR9P」を設定する。

例： |HON^本^MR9P|

RXC-5 Component Strength 成分力価 (NM) 01124

定義：RXC-2-成分コードが力価を指定しない場合に使用する。これは力価の数値部分であり、RXC-6 成分力価単位と組み合わせて使用される。

RXC-6 Component Strength Units 成分力価単位 (CE) 01125

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：RXC-2-成分コードが力価を指定しない場合に使用する。これは力価の単位であり、RXC-5-成分力価と組み合わせて使用される。

注記: これらの単位は "複合数量" でありうる。つまり、単位は単位時間当たりの数量を表現してもよい。例えば、毎時マイクログラム($\mu\text{g/h}$)は許容可能な値である。これらの複合単位は ISO+ 表に含まれている。ISO+ 単位の完全な定義に関しては、HL7 V2.5.7 章を参照すること。

RXC-7 Supplementary Code 補足コード (CE) 01476

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

このフィールドは、薬物治療あるいは他の治療物質に関係している任意のコードの識別情報を格納する。共通のコードは次のものを含んでいる： Generic Product Identifier (GPI)、Generic Code Number_Sequence Number (GCN_SEQNO)、National Drug Code (NDC)。

【注射】本規約では、麻薬薬剤、抗がん剤、血液製剤などの特殊薬剤に関する区分および投与予定の薬剤に関するコメントとする。詳細は、 4.1 節「本規約で定義する JAHIS 標準テーブル」を参照のこと。

例：|03^抗がん剤^JHSI0004~^ジェネリック不可^JHSIC009|

RXC-8 Component Drug Strength Volume 成分薬力価容量 (NM) 01671

定義：この数量フィールドは、その薬力価の濃度が含まれている容量を定義する。例えば、アセタミノフェン 120MG/5ML エリクシルは、120MG の薬が容量にして5 の溶液に入っていることを意味し、RXC-5, RXC-6, RXC-8 および RXC-9 において次のようにコード化される。

RXC|||||120|mg^^ISO||5|ml^^ISO ...<cr>

RXC-9 Component Drug Strength Volume Units 成分薬力価容量単位 (CWE) 01672

成分:<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは RXC-8 成分薬力価容量に関する単位を示す。RXC-8 の例を参照のこと。

7.13 RXE - Pharmacy/Treatment Encoded Order Segment 薬剤／治療コード化したオーダーセグメント

RXE セグメントは、薬剤部門または治療部門アプリケーションのオーダーのコード化について詳述する。このセグメントには、RXE-16-残りの補充回数、RXE-17-調剤の補充／投与残回数、RXE-18-調剤済補充／投与最新日時、RXE-19-1日当たりの総投与量などの、投薬固有のオーダー状態フィールドも含まれる。

ORC-7-数量／タイミングは、RXE-1-数量／タイミングおよび RXG-3-数量／タイミングとは異なる意味を持っているので注意が必要である。薬剤部門あるいは治療部門は調剤／与薬行為を予定する“権限”を持っている。従って、薬剤部門あるいは治療部門は RXE-1-数量／タイミングおよび RXG-3-数量／タイミング中に予定情報をコード化する責任を持っている。ORC-7-数量／タイミングは変更されない。それは、オリジナルオーダーで要求された与薬／調剤の予定を常に指定する。

HL7属性表－RXE－ Pharmacy/Treatment Encoded Order Segment 薬剤／処置コード化したオーダーセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
1	200	TQ	B	B			Quantity/Timing 数量/タイミング
2*	250	CE	R	R			Give Code 与薬コード
3*	20	NM	R	R			Give Amount – Minimum 与薬量-最小
4	20	NM	O	O			Give Amount – Maximum 与薬量-最大
5*	250	CE	R	R			Give Units 与薬単位
6*	250	CE	O	O			Give Dosage Form 与薬剤形
7*	250	CE	O	O	Y		Provider's Administration Instructions 依頼者の投薬指示
8	200	LA1	B	B			Deliver-to Location 配布先
9	1	ID	O	O		0167	Substitution Status 代替品状態
10	20	NM	C	C			Dispense Amount 調剤量
11	250	CE	C	C			Dispense Units 調剤単位
12	3	NM	O	O			Number of Refills 補充回数
13*	250	XCN	C	C	Y		Ordering Provider's DEA Number オーダ発行者のDEA番号
14*	250	XCN	O	O	Y		Pharmacist/Treatment Supplier's Verifier ID 薬剤師/治療提供者の検証者ID
15*	20	ST	C	R			Prescription Number 処方箋番号
16	20	NM	C	C			Number of Refills Remaining 残りの補充回数
17	20	NM	C	C			Number of Refills/Doses Dispensed 調剤済補充／投与回数
18	26	TS	C	C			D/T of Most Recent Refill or Dose Dispensed 調剤済補充／投与最新日時
19	10	CQ	C	C			Total Daily Dose 1日あたりの総投与量
20	1	ID	O	O			Needs Human Review 人によるレビューの必要性
21*	250	CE	O	O	Y		Pharmacy/Treatment Supplier's Special Dispensing Instructions 薬剤部門／治療部門による特別な調剤指示
22	20	ST	C	C			Give Per (Time Unit) 与薬の時間単位
23*	6	ST	O	O			Give Rate Amount 与薬速度
24	250	CE	O	O			Give Rate Units 与薬速度単位
25	20	NM	O	O			Give Strength 与薬力価
26	250	CE	O	O			Give Strength Units 与薬力価単位
27*	250	CE	O	O	Y		Give Indication 与薬指示
28	20	NM	O	O			Dispense Package Size 調剤パッケージサイズ
29	250	CE	O	O			Dispense Package Size Unit 調剤パッケージサイズの単位
30	2	ID	O	O		0321	Dispense Package Method 調剤パッケージ方法
31	250	CE	O	O	Y		Supplementary Code 補足コード
32	26	TS	O	O			Original Order Date/Time 当初のオーダー日時
33	5	NM	O	O			Give Drug Strength Volume 与薬力価容量
34	250	CWE	O	O			Give Drug Strength Volume Units 与薬力価容量単位

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
35	60	CWE	O	O		0477	Controlled Substance Schedule 規制薬物スケジュール
36	1	ID	O	O		0478	Formulary Status 処方集ステータス
37	60	CWE	O	O	Y		Pharmaceutical Substance Alternative 代替薬物
38	250	CWE	O	O			Pharmacy of Most Recent Fill 最新の調剤実施部門
39	250	NM	O	O			Initial Dispense Amount 最初の調剤量
40	250	CWE	O	O			Dispensing Pharmacy 調剤薬剤部門
41	250	XAD	O	O			Dispensing Pharmacy Address 調剤薬剤部門の住所
42*	80	PL	O	O			Deliver-to Patient Location 患者への配達場所
43	250	XAD	O	O			Deliver-to Address 配達先住所
44	1	ID	O	O		0480	Pharmacy Order Type 薬剤オーダータイプ

RXE フィールド定義

RXE-1 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義：このフィールドは、下位互換性のためだけに保持されている。読者は HL7 V2.5 4.5.4 節、HL7 V2.5 4.5.5 節にそれぞれ記述されている TQ1 と TQ2 セグメントを参照すること。

このフィールド定義を適宜修正して、薬剤/治療オーダーに必要なオーダー相互間の依存性をカバーするには、4.14.4 節“RXE-薬剤/治療コード化されたオーダーセグメント”を参照すること。このフィールドは、薬剤または治療のタイミングの完全にコード化されたバージョンを表現するために、薬剤または非薬剤治療提供者によって使用される。それは、オリジナルのオーダーで要求された数量/タイミングである、ORC-7-数量/タイミングと異なるかもしれない。

RXE-2 Give Code 与薬コード (CE) 00317

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは患者に与えることを依頼され、薬剤または治療提供者によってコード化された薬剤または治療を識別する。それは機能的には OBR-4 汎用サービス ID と同等である。RXE セグメントでは、この与薬コードは完全にコード化しなければならない。調剤フィールドは、患者に支給されるべき単位、および量を定義する。(以下に示す RXE-10-調剤量および RXE-11-調剤単位を参照のこと) これは、“与えられるべき”または1回ごとの投与されるべき量と必ずしも相関関係があるわけではなく、オーダーで指定される場合もあれば指定されない場合もある。例えば、オーダーの“与薬”部分において、アンピシリンの 250mg 投与というフィールド情報を伝達する一方、オーダーの調剤部分では、この外来患者処方箋に対し同等のジェネリック薬品 30錠を発行する、という要求を伝達することができる。

【注射】本規約では、使用薬剤の種類の区分情報としての注射種別をセットする。注射種別は、JHSI 表 0002-Recipe Code 注射種別を参照する。コーディングシステム名は、JHSI0002 を用いる。

例：一般注射の場合

|00^一般^JHSI0002|

RXE-3 Give Amount - Minimum 与薬量-最小 (NM) 00318

定義：このフィールドは薬剤または治療提供者によってコード化された依頼量を含んでいる。可変投与量オーダーでは、これが最小依頼量である。固定投与量オーダーでは、これがオーダーの正確な量である。

注記:このフィールドは数量/タイミングフィールドの第1成分の複製ではない。なぜなら、薬剤部門/治療部門/治療部門以外のオーダーでは、依頼量の倍数を指定するためにその成分を使用するからである。言い換えれば、薬剤部門/治療部門オーダーについては、数量/タイミングフィールドの数量成分が各サービス間隔で与えるべきものの数量を示す。したがって、処方オーダーでは、その第1成分は常にデフォルトが1になる。したがって、オーダーの実際の実施では、数量/タイミングフィールドの第1成分中の1の値は、常にこのフィールド(要求された与薬量フィールド)で指定された量を1回投薬することを意味する。

【注射】本規約では、指示された1回に投与される薬剤の合計容量をセットする。

RXE-4 Give Amount - Maximum 与薬量-最大 (NM) 00319

定義：可変投与量オーダーでは、これが最大の依頼量である。固定投与量では、このフィールドは使用されない。

RXE-5 Give Units 与薬単位 (CE) 00320

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、薬剤または処置(例えば呼吸治療)アプリケーションによってコード化される与薬量のための単位を含んでいる。

注記:これらの単位は "複合量" でありうる。つまり、単位は、" 当たり " という単語を含む場合がある。例えば、キログラム当たりのマイクログラム($\mu\text{g/kg}$)は許容される値であり、それは体重 1 kg 当たりのマイクログラムを意味する。

複合単位を含んでいる標準単位の表が必要である。そのような表が承認されるまで、それぞれの施設で使用者定義表が必要になる。

【注射】本規約では、下表の中で容量を表すコードのみを使用する。コーディングシステム名は、ISO+を用いる。

例：|L^リットル^ISO+|

表7.13.1 一般的なISO誘導単位および*ISO拡張子

コード/省略形	名前
/arb_u)	*1/任意の単位
/iu	*1/国際単位
/kg	*1/キログラム
/L	1/リットル
1/ml	*1/ミリリットル
10.L/min	*10×リットル/分
10.L/(min.m2)	*10×(リットル/分) / 平方メートル = リットル / (分 × 平方メートル)
10*3/mm3	*10 ³ /立方ミリメートル (例えば白血球カウント)
10*3/L	*10 ³ /リットル
10*3/mL	*10 ³ /ミリリットル
10*6/mm3	*10 ⁶ /立方ミリメートル
10*6/L	*10 ⁶ /リットル
10*6/mL	*10 ⁶ /ミリリットル
10*9/mm3	*10 ⁹ /立方ミリメートル
10*9/L	*10 ⁹ /リットル
10*9/mL	*10 ⁹ /ミリリットル
10*12/L	*10 ¹² /リットル
10*3(rbc)	*10 ³ /赤血球*
a/m	メートル当たりアンペア
(arb_u)	*任意単位
Bar	バー (圧力 ; 1 bar = 100 kilopascals)
/min	毎分のビート
Bq	ベクレル
(bdsk_u)	*ボダンスキー単位
(bsa)	*体表面積
(cal)	*カロリー
1	*触媒の部分
/L	細胞/リットル
Cm	センチメートル
cm_h20	*水柱センチメートル
cm_h20.s/L	水柱センチメートル (秒/リットル) = (水柱センチメートル × 秒) / リットル (例えば平均の肺の抵抗)
cm_h20(s.m)	(水柱センチメートル/秒) / メートル = 水柱センチメートル / (秒 × メートル) (例えば肺の圧力時間積)。
(cfu)	*コロニー生成単位
m3/s	毎秒立方メートル
D	日
Db	デシベル
DbA	*デシベルアスケール
Cel	摂氏の温度

コード/省略形	名前
Deg	角度の度
(drop)	ドロップ
10.un.s/cm5	ダイン×秒/centimeter ⁵ (1 ダイン= 10 micronewton= 10 un) (例えば全身血管抵抗)
10.un.s/(cm5.m2)	((ダイン×秒) /centimeter ⁵) /meter ² = (ダイン×秒) / (centimeter ⁵ × meter ²) (1 ダイン=10 micronewton=10 un) 電子ボルト (例えば全身血管抵抗/体表面積)
eV	電子ボルト (1 電子ボルト=160.217 ゼプトジュール)
Eq	当量
F	ファラド (キャパシタンス)
Fg	フェムトグラム
fL	フェムトリットル
Fmol	フェムトモル
/mL	*ファイバー/ミリリットル
G	グラム
g/d	*グラム/日
g/dL	グラム/デシリットル
g/hr	グラム/時間
g(8.hr)	*グラム/8 時間シフト
g/kg	グラム/キログラム (例えば体重 1 キログラム当たりの薬物投与質量)
g/(kg.d)	(グラム/キログラム) /日=グラム/ (キログラム×日) (例えば 1 日当たり体重 1 キログラム当たりの薬物投与質量)
g/(kg.hr)	(グラム/キログラム) /時間=グラム/ (キログラム×時間) (例えば毎時の体重 1 キログラム当たりの薬物投与質量)
g/(8.kg.hr)	(グラム/キログラム) /8 時間シフト=グラム/ (キログラム× 8 時間のシフト) (例えば 8 時間のシフト当たり体重 1 キログラム当たりの薬物投与質量)
g/(kg.min)	(グラム/キログラム) /分=グラム/ (キログラム×分) (例えば毎分の体重 1 キログラム当たりの薬物投与質量)
g/L	グラム/リットル
g/m2	グラム/Meter ² (例えば単位体表面積当たりの薬物投与質量)
g/min	グラム/分
g.m/(hb)	グラム×メートル/心拍数 (例えば心室のストローク仕事量)
g.m/((hb).m2)	(グラム×メートル/心拍数) /meter ² = (グラム×メートル) / (心拍数× meter ²) (例えば心室のストローク仕事量/体表面積 (心室のストローク仕事の指標))
g(creat)	*グラム、クレアチニン
g(hgb)	*グラム、ヘモグロビン
g.m	グラムメートル
g(tot_nit)	*グラム、窒素の合計
g(tot_prot)	*グラム、タンパク質の合計
g(wet_tis)	*グラム、湿重量組織
Gy	グレイ (吸収された放射線量)
hL	ヘクタリットル=10 ² リットル
H	ヘンリー
In	インチ
in_hg	水銀の (=Hg) のインチ
Iu	*国際単位
Iu/d	*国際単位/日
Iu/hr	*国際単位/時間
Iu/kg	国際単位/キログラム
Iu/L	*国際単位/リットル
Iu/mL	*国際単位/ミリリットル
Iu/min	*国際単位/分
J/L	ジュール/リットル (例えば呼吸仕事量)
Kat	*カタール
kat/kg	*カタール/キログラム
kat/L	*カタール/リットル
k/watt	キロ/ワット
(kcal)	キロカロリー (1kcal=6.693 キロジュール)
(kcal)/d	*キロカロリー/日
(kcal)/hr	*キロカロリー/時間
(kcal)/(8.hr)	*キロカロリー/8 時間シフト
Kg	キログラム
kg(body_wt)	* キログラム体重
kg/m3	キログラム/立方メートル

コード/省略形	名前
kh/h	キログラム/時
kg/L	キログラム/リットル
kg/min	キログラム/分
kg/mol	キログラム/モル
kg/s	キログラム/秒
kg/(s.m2)	(キログラム/秒) / meter^2 = キログラム / (秒 $\times$ meter^2)
kg/ms	1 平方メートル当たりキログラム
kg.m/s	キログラム・メートル毎秒
Kpa	キロパスカル (1 mmHg=0.1333 kilopascals)
Ks	キロ秒
(ka_u)	キング-アームストロング単位
(knk_u)	*クンケル単位
L	リットル
L/d	*リットル/日
L/hr	リットル/時間
L(8.hr)	*リットル/8 時間シフト
L/kg	リットル/キログラム
L/min	リットル/分
L(min.m2)	(リットル/分) / meter^2 = リットル / (分 $\times$ meter^2) (例えば、心拍出量/体表面積 = 心臓の指標)
L/s	リットル/秒 (例えば、ピーク呼気流)
L.s	リットル/秒 / second^2 = リットル $\times$ 秒
Lm	ルーメン
lm/m2	ルーメン / Meter^2
(mdg_u)	*マックレーガン単位
Ma	メガ秒
M	メートル
m2	Meter^2 (例えば体表面積)
m/s	メートル/秒
m/s2	メートル / Second^2
Ueq	*マイクロ当量
Ug	マイクログラム
ug/d	マイクログラム/日
ug/dL	マイクログラム/デシリットル
ug/g	マイクログラム/グラム
ug/hr	*マイクログラム/時間
ug(8hr)	マイクログラム/8 時間シフト
ug/kg	マイクログラム/キログラム
mg/(kg.d)	(マイクログラム/キログラム) / 日 = マイクログラム / (キログラム $\times$ 日) (例えば 1 日当たり患者体重 1 キログラム当たりの薬物投与質量)
mg/(kg.hr)	(マイクログラム/キログラム) / 時間 = マイクログラム / (キログラム $\times$ 時間) (例えば毎時の患者体重 1 キログラム当たりの薬物投与質量)
mg(8.hr.kg)	(マイクログラム/キログラム) / 8 時間のシフト = マイクログラム / (キログラム $\times$ 8 時間のシフト) (例えば 8 時間のシフト当たりの患者体重 1 キログラム当たりの薬物投与質量)
mg/(kg.min)	(マイクログラム/キログラム) / 分 = マイクログラム / (キログラム $\times$ 分) (例えば毎分の患者体重 1 キログラム当たりの薬物投与質量)
ug/L	マイクログラム/リットル
ug/m2	マイクログラム / Meter^2 (例えば患者体表面 1 平方メートル当たりの薬物投与質量)
ug/min	マイクログラム/分
Uiu	*マイクロ国際単位
Ukat	*Microkatel
Um	マイクロメートル (ミクロン)
Umol	ミクロモル
umol/d	ミクロモル/日
umol/L	ミクロモル/リットル
umol/min	ミクロモル/分
us	マイクロ秒
Uv	マイクロボルト
Mbar	ミリバール (1 ミリバール=100 パスカル)
mbar.s/L	ミリバール / (リットル/秒) = (ミリバール $\times$ 秒) / リットル (例えば呼吸性の抵抗)
Meq	*ミリ当量
meq/d	*ミリ当量/日
meq/hr	*ミリ当量/時間

コード／省略形	名前
meq/(8.hr)	ミリ当量／8時間シフト
meq/kg	ミリ当量／キログラム (例えば患者体重 1kg 当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/(kg.d)	(ミリ当量／キログラム)／日=ミリ当量／(キログラム×日) (例えば 1 日当たり患者体重 1kg 当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/(kg.hr)	(ミリ当量／キログラム)／時間=ミリ当量／(キログラム×時間) (例えば毎時の患者体重 1kg 当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/(8.hr.kg)	(ミリ当量／キログラム)／8時間のシフト=ミリ当量／(キログラム×8時間のシフト) (例えば 8 時間のシフトについての患者体重 1kg 当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/(kg.min)	(ミリ当量／キログラム)／分=ミリ当量／(キログラム×分) (例えば毎分の患者体重 1kg 当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/L	ミリ当量／リットル
meq/m2	ミリ当量／Meter ² (例えば患者体表面積 1 平方メートル当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/min	ミリ当量／分
Mg	ミリグラム
mg/m3	ミリグラム／Meter ³
mg/d	ミリグラム／日
mg/dL	ミリグラム／デシリットル
mg/hr	ミリグラム／時間
mg/(8.hr)	ミリグラム／8時間シフト
mg/kg	ミリグラム／キログラム
mg/(kg.d)	(ミリグラム／キログラム)／日=ミリグラム／(キログラム×日) (例えば 1 日当たり患者体重 1kg 当たりの薬物投与質量)
mg/(kg.hr)	(ミリグラム／キログラム)／時間=ミリグラム／(キログラム×時間) (例えば毎時の患者体重 1kg 当たりの薬物投与質量)
mg/(8.hr.kg)	(ミリグラム／キログラム)／8時間シフト=ミリグラム／(キログラム×8時間のシフト) (例えば 8 時間のシフトについての患者体重 1kg 当たりの薬物投与質量)
mg/(kg.min)	(ミリグラム／キログラム)／分=ミリグラム／(キログラム×分) (例えば毎時の患者体重 1kg 当たりの薬物投与質量)
mg/L	ミリグラム／リットル
mg/m2	ミリグラム／Meter ² (例えば患者体表面積 1 平方メートル当たりの薬物投与質量)
mg/min	ミリグラム／分
mL	ミリリットル
mL/cm_h2O	ミリリットル／水柱センチメートル (例えば動的な肺コンプライアンス)
mL/d	*ミリリットル／日
mL/(hb)	ミリリットル／心拍 (例えば心拍出量)
mL/((hb)m2)	(ミリリットル／心拍数)／平方メートル=ミリリットル／(心拍数×平方メートル) (例えば心室の拍出量の指標)
mL/hr	*ミリリットル／時間
mL/(8.hr)	*ミリリットル／8時間シフト
mL/kg	ミリリットル／キログラム (例えば患者体重 1kg 当たりの薬物投与あるいは処理の体積)
mL/(kg.d)	(ミリリットル／キログラム)／日=ミリリットル／(キログラム×日) (例えば 1 日当たり患者体重 1kg 当たりの薬物投与あるいは処理の体積)
mL/(kg.hr)	(ミリリットル／キログラム)／時間=ミリリットル／(キログラム×時間) (例えば毎時の患者体重 1kg 当たりの薬物投与あるいは処理の体積)
mL/(8.hr.kg)	(ミリリットル／キログラム)／8時間のシフト=ミリリットル／(キログラム×8時間のシフト) (例えば 8 時間のシフトについての患者体重 1kg 当たりの薬物投与あるいは処理の体積)
mL/(kg.min)	(ミリリットル／キログラム)／分=ミリリットル／(キログラム×分) (例えば毎分の患者体重 1kg 当たりの薬物投与あるいは処理の体積)
mL/m2	ミリリットル／平方メートル (例えば患者の体表面積当たりの薬物投与あるいは他の処理の体積)
mL/mbar	ミリリットル／ミリバール (例えば動的な肺コンプライアンス)
mL/min	ミリリットル／分
mL/(min.m2)	(ミリリットル／分)／平方メートル=ミリリットル／(分×平方メートル) (例えば体表面積についての規定された注入のミリリットル (酸素消費指標))
mL/s	ミリリットル／秒
Mm	ミリメートル
mm(hg)	*ミリメートル (HG) (1mm Hg=133.322 kilopascals)
mm/hr	ミリメートル／時間
mmol/kg	ミリモル／キログラム (例えば患者体重についての薬物治療のモル量)

コード／省略形	名前
mmol/(kg.d)	(ミリモル／キログラム)／日=ミリモル／(キログラム×日) (例えば1日当たり患者体重についての薬物治療のモル線量)
mmol/(kg.hr)	(ミリモル／キログラム)／時間=ミリモル／(キログラム×時間) (例えば毎時の患者体重についての薬物治療のモル量)
mmol/(8.hr.kg)	(ミリモル／キログラム)／8時間のシフト=ミリモル／(キログラム×8時間のシフト) (例えば8時間のシフトについての患者体重についての薬物治療のモル量)
mmol/(kg.min)	(ミリモル／キログラム)／分=ミリモル／(キログラム×分) (例えば毎分の患者体重についての薬物治療のモル量)
mmol/L	ミリモル／リットル
mmol/hr	ミリモル／時間
mmol/(8hr)	ミリモル／8時間シフト
mmol/min	ミリモル／分
mmol/m2	ミリモル／Meter ² (例えば患者体表面積についての薬物治療のモル量)
mosm/L	*ミリオスモル／リットル
Ms	ミリ秒
Mv	ミリボルト
miu/mL	*ミリユニット／ミリリットル
mol/m3	モル／立方メートル
mol/kg	モル／キログラム
mol/(kg.s)	(モル／キログラム)／秒=モル／(キログラム×秒)
mol/L	モル／リットル
mol/s	モル／秒
Ng	ナノグラム
ng/d	ナノグラム／日
ng/hr	*ナノグラム／時間
ng/(8.hr)	ナノグラム／8時間シフト
ng/L	ナノグラム／リットル
ng/kg	ナノグラム／キログラム (例えば患者体重についての薬物治療の質量)
ng/(kg.d)	(ナノグラム／キログラム)／日=ナノグラム／(キログラム×日) (例えば1日当たり患者体重についての薬物治療の質量)
ng/(kg.hr)	(ナノグラム／キログラム)／時間=ナノグラム／(キログラム×時間) (例えば毎時の患者体重についての薬物治療の質量)
ng/(8.hr.kg)	(ナノグラム／キログラム)／8時間のシフト=ナノグラム／(キログラム×8時間のシフト) (例えば8時間のシフトについての患者体重についての薬物治療の質量)
ng/(kg.min)	(ナノグラム／キログラム)／分=ナノグラム／(キログラム×分) (例えば毎分の患者体重についての薬物治療の質量線量)
ng/m2	ナノグラム／Meter ² (例えば患者体表面積についての薬物治療の質量)
ng/mL	ナノグラム／ミリリットル
ng/min	*ナノグラム／分
ng/s	*ナノグラム／秒
Nkat	*Nanokatel
Nm	ナノメートル
nmol/s	ナノモル／秒
Ns	ナノ秒
N	ニュートン (力)
n.s	ニュートン秒
(od)	*O.D. (光学濃度)
Ohm	オーム (電気的な抵抗)
ohm.m	オーム・メートル
Osmole	オスモル
osmole/kg	オスモル／キログラム
osmole/L	オスモル／リットル
/m3	*粒子／Meter ³
/L	*粒子／リットル
/(tot)	*粒子／総カウント
(ppb)	*10億についていくつ
(ppm)	*100万についていくつ
(ppth)	1000についていくつ
(ppt)	1兆 (10 ¹²) についていくつ
Pal	パスカル (圧力)
/(hpf)	*高出力項目について
(ph)	*pH
Pa	ピコアンペア
Pg	ピコグラム

コード/省略形	名前
pg/L	ピコグラム/リットル
pg/mL	ピコグラム/ミリリットル
Pkat	*Picokatel
Pm	ピコメートル
Pmol	*ピコモル
Ps	ピコ秒
Pt	ピコテスラ
(pu)	*P.U.
%	パーセント
dm ² /s ²	Rem (ヒト線量等量) = 10 ⁻² meter ² /second ² =decimeter ² /second ² 1 ラドの X 線またはガンマ線と等価な電離放射線の線量 [Dorland 医学辞典から]
Sec	角度の秒
Sie	ジーメンス (電気的なコンダクタンス)
Sv	シーベルト
m ² /s	平方メートル/秒
cm ² /s	平方センチメートル/秒
T	テスラ (磁束密度)
(td_u)	トッド・単位
V	ボルト (電位差)
l	ボリウム部分
Wb	ヴェーバー (磁束)

* : 星印のついている項目は純粋の ISO ではないが矛盾しない。
+ : 単位へのこのアプローチを IUPAC は推奨していない。我々は単に後報互換性のためここに残した。

RXE-6 Give Dosage Form 与薬剤形 (CE) 00321

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：剤形は、投薬または治療が調剤のために集められる形態を示す。例えば、錠剤、カプセル、坐薬である。ある場合には、この情報が RXE-2-与薬コードの中の与薬コードによって暗黙的に示される。与薬コードが剤形を指定しない場合、RXE-6-与薬剤形を使用する。

【注射】本規約では、取りうる値は下表に示す通りとする。

例：|INJ^注射剤^MR9P|

表 7.13.2 剤形略号要調整 (MERIT-9 処方オーダー 表3より)

Value	Description
TAB	錠剤
CAP	カプセル剤
PWD	散剤、ドライシロップ剤
SYR	シロップ剤
SUP	坐剤
LQD	液剤
OIT	軟膏、ゲル
CRM	クリーム
TPE	テープ、貼付剤
INJ	注射剤

第三成分 (name of coding system) には、'MR9P' を設定する。

RXE-7 Provider's Administration Instructions 依頼者の投薬指示 (CE) 00298

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、患者への、あるいは投薬または治療の提供者へのオーダー発行者の指示を含んでいる。もしコード化されれば、使用者定義表が使用されなければならない。フリーテキストの場合(例えば、カスタマイズされた静脈注射、混合、軟膏について記述する)、第2成分にテキストを置く。

例えば、|this is a free text administration instruction|

【注射】本規約では、投与方法などの用法に関する各種コメント情報を本フィールドにセットする。具体的には、指示投与速度コメント、指示用法コメント、指示投与経路コメント、指示投与部位コメント、指示手技コメント、指示ライン、指示ラインコメントをセットする。

本フィールドには、複数のコメントがセットされることとなるが、コーディングシステム名により識別することを推奨する。各種コメントとコーディングシステム名については、「2.6 各種コメント」を参照のこと。

例：|^代替経路可能^JHIC007~^できるだけ太い静脈を使用^JHIC003|

RXE-8 Deliver-to Location 配布先 (LA1) 00299

成分:<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Address (AD)>
副成分 for Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
副成分 for Address (AD):<Street Address (ST)> & <Other Designation (ST)> & <City (ST)> & <State or Province (ST)> & <Zip or Postal Code (ST)> & <Country (ID)> & <Address Type (ID)> & <Other Geographic Designation (ST)>
定義：このフィールドは後方互換性のためのみに維持されている。読者は RXE-40, RXE-41, RXE-42 および RXE-43 を参照すること。

RXE-9 Substitution Status 代替品状態 (ID) 00322

定義：有効な値は HL7 表 0167-代替品状態を参照のこと。代替品が作られており、オリジナルの要求と薬コード(RXO-1-要求と薬コード)の記録が必要な場合、オプションの RXO セグメントを RDE メッセージに含むことができる。

HL7表 0167 -Substitution Status 代替品状態

Value	Description	Comments
N	代替薬剤を調剤しなかった。これはデフォルト値(null)と同等である。	
G	ジェネリックの代替薬剤を調剤した。	
T	治療用の代替薬剤を調剤した。	
0	製品選択は示されなかった。	
1	処方担当者が代替品を許可しない。	
2	代替品が許可された一患者が要求した製品を調剤した。	
3	代替品が許可された一薬剤師が選択した製品を調剤した。	
4	代替品が許可された一在庫に無いジェネリック薬品。	
5	代替品が許可された一ジェネリックとして調剤されたブランド薬品。	
7	代替品が許可されない一法律によって命じられたブランド薬品。	
8	代替品が許可された一市販されていないジェネリック薬品。	

RXE-10 Dispense Amount 調剤量 (NM) 00323

定義：このフィールドは、薬剤または治療提供者によってコード化された調剤量を含んでいる。

RXE-11 Dispense Units 調剤単位 (CE) 00324

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>
定義：このフィールドは、薬剤または治療提供者によってコード化された、調剤量のための単位を含んでいる。単位が実際の調剤コードによって暗黙的に示されない場合、このフィールドは必須となる。これは、薬剤が調剤された実際の量を反映する、単純な単位でなければならない。それは複合単位を含んでいない。

RXE-12 Number of Refills 補充回数 (NM) 00304

定義：このフィールドは、オリジナルの補充回数の合計を含んでいる。外来患者のみ。

RXE-13 Ordering Provider's DEA Number オーダ発行者の DEA 番号 (XCN) 00305

成分:<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

【注射】本規約では、麻薬を処方した場合、必ず麻薬施用者の免許番号を設定する。

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：このフィールドは、薬剤師／治療提供者の検証 ID を含んでいる。もし薬剤または治療アプリケーション、あるいは施設によりオーダ(ないしオーダのサブグループ)に要求されれば使用する。

例：|12345^山田^太郎^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^P01&薬剤部&99|L|

定義：このフィールドは薬剤または治療アプリケーションによって割り当てられた処方箋番号を含んでいる。薬剤／治療実施者オーダ番号と一意性において同等である。いくつかの施設では、これが薬剤または治療システム(内部)の連番かもしれない。他の施設では、これが外部形式であるかもしれない。薬剤／治療メッセージの中で使用された時、これは RXE の中に必須のフィールドであるが、市販後調査メッセージの中で使用された時には必須とはされない (HL7 V2.5 第7章を参照)。

定義：残りの補充回数である。処方箋によって外来患者に調剤される場合は必須とされるので、このフィールドは条件付きである。それは入院患者の治療オーダには適切ではない。

定義：調剤の補充残回数ないし投与回数である。処方箋によって外来患者に調剤される場合は必須とされるので、このフィールドは条件付きである。それは入院患者の治療オーダに適切ではない。

定義：補充また投与の最近の調剤日時。

定義：このフィールドは、実際の調剤単位で表現される、個々の調合薬のための1日当たりの投与量合計を含んでいる。

Y Yes—警告が存在することを示す。コード化されたオーダを受け取るアプリケーションは、RXE-21-薬剤部門／治療部門による特別な調剤指示のテキストに注意を払うように、投薬または治療を実施する人に警告する必要がある。

N No—警告が存在しないことを示す。これはデフォルト値（null）と同等である。

RXE-21 Pharmacy/Treatment Supplier's Special Dispensing Instructions 薬剤部門／治療部門による特別な調剤指示 (CE) 00330

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、薬剤または治療提供者によって生成された、そのオーダを調剤／投薬する提供者への特別指示を含む。

【注射】本規約では、処方区分をセットする。処方区分は、表 7.13.3 処方区分（MERIT-9 処方オーダ 表 7 より）と JHSI 表 0001—Pharmacy Supplier's Special Dispensing Instructions 処方区分を参照する。表 7.13.3 処方区分を使用した際のコーディングシステム名は、MR9P を用い、JHSI 表 0001—処方区分を使用した際のコーディングシステム名は、JHSI0001 を用いる。複数の指示がある場合、反復セパレータを使用して、複数記述することができる。

例：入院定時処方の場合

|IHP^入院処方^ MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001|

表 7.13.3 処方区分（MERIT-9 処方オーダ 表 7 より）

ID	Text	Description
TOC	OHP	外来処方
TOC	OHI	院内処方
TOC	OHO	院外処方
TOC	IHP	入院処方
TOC	DCG	退院処方
TOC	ORD	定期処方
TOC	XTR	臨時処方

第三成分 (name of coding system) には、'MR9P' を設定する。

RXE-22 Give Per (Time Unit) 与薬の時間単位 (ST) 00331

定義：このフィールドは、製剤が投薬されるべき速度を計算するために使用する、時間単位を含んでいる。

フォーマット:

S<整数> = <整数> 秒

M<整数> = <整数> 分

H<整数> = <整数> 時間

D<整数> = <整数> 日

W<整数> = <整数> 週

L<整数> = <整数> 月

T<整数> = 決められた時間間隔と量での「投薬量」<整数>の総合計。単位は「数量」フィールドと同じであると仮定する。

INDEF = 無期限に行う—さらにデフォルト

これは、“X”の仕様を除いて、数量／タイミングフィールドの「継続時間」成分で指定したフォーマットと同じである。

このフィールドは、オーダされた薬剤が処方された速度(例えばある点滴)で連続的に投薬されることになっている場合に必須とされるので、条件付きであると定義される。例えば、“与薬量／単位”が 300ml、そして与薬あたりの時間単位が H1(1 時間と等価)だった場合、速度は 300ml/時間である。

RXE-23 Give Rate Amount 与薬速度 (ST) 00332

定義：このフィールドは、薬剤が投与されるべき速度を含んでいる。

【注射】本規約では、指示投与速度をセットする。

RXE-24 Give Rate Units 与薬速度単位 (CE) 00333

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、RXE-23-与薬速度のための単位を含んでいる。でもよい。RXE-23-与薬速度およびRXE-24-与薬速度単位は、投薬の実際速度を定義する。したがって、RXE-23-与薬速度=100、およびRXE-24-与薬速度単位=ml/hr の場合、投薬の要求速度は100ml/時間である。

与薬速度単位はISO単位(表7.13.1 一般的なISO誘導単位および*ISO拡張子)を参照する。ISO単位を使用した場合のコーディングシステム名は、ISO+を用いる。

例: |mL/hr ^ ミリリットル/時間 ^ ISO+|

RXE-25 Give Strength 与薬力価 (NM) 01126

定義: RXE-2-与薬コードが力価を指定しないときに使用する。これはRXE-26-与薬力価単位と組み合わせて使用される力価の数値部分である。

RXE-26 Give Strength Units 与薬力価単位 (CE) 01127

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: RXE-2-与薬コードが力価を指定しないときに使用する。これは力価の単位で、RXE-25-与薬力価と組み合わせて使用される。

注記:これらの単位は"複合量"でありうる。つまり、単位は、時間単位当たりの数量を表現する。例えば、マイクログラム毎時(ug/h)は許容可能な値である。これらの複合単位はISO+表に含まれている。ISO+単位の完全な定義に関しては、HL7 V2.5.7 章を参照のこと。

RXE-27 Give Indication 与薬指示 (CE) 01128

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、薬剤/治療が処方された条件ないし問題を識別する。複合の指示が適切であれば、繰り返してもよい。

【注射】本規約では、用法種別をセットする。取りうる値は、JHSI表 0009—Usage Type 用法種別を参照する。コーディングシステム名は、JHSI0009を用いる。

例: |02 ^ 点滴 ^ JHSI0009|

RXE-28 Dispense Package Size 調剤パッケージサイズ (NM) 01220

定義: このフィールドは、調剤されるパッケージのサイズを含んでいる。単位はRXE-29-調剤パッケージサイズ単位で伝達される。

RXE-29 Dispense Package Size Unit 調剤パッケージサイズの単位 (CE) 01221

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、RXE-28-調剤パッケージサイズの単位を含んでいる。

RXE-30 Dispense Package Method 調剤パッケージ方法 (ID) 01222

定義: このフィールドは、治療を配布する方法を含んでいる。有効な値は、HL7表 0321 - 調剤方法を参照のこと。

HL7表 0321 -Dispense Method 調剤方法

Value	Description	Comments
TR	Traditional 従来	
UD	Unit Dose 服用単位	
F	Floor Stock 病棟常備	
AD	Automatic Dispensing 自動調剤	

RXE-31 Supplementary Code 補足コード (CE) 01476

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、薬剤に関係している任意のコードの識別子を格納する。共通のコードは次のものを含んでいる: Generic Product Identifier(GPI)、Generic Code Number_Sequence Number(GCN_SEQNO)、National Drug Code(NDC)。

RXE-32 Original Order Date/Time 当初のオーダー日時 (TS) 01673

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドには補充承認が要求されている時の、当初のオーダーの日時 (ORC-9) が含まれている。これは当初オーダートランザクションの ORC-9 の中に提示されていた。

RXE-33 Give Drug Strength Volume 与薬力価容量 (NM) 01674

定義: この数量フィールドは薬力価濃度が含まれている容量を示している。例えば、アセタミノフェンの 120MG/5ML エリクシルの意味は、この薬の 120MG は 5ML の薬量の溶液に入っており、RXE-25, RXE-26, RXE-33 および RXE-34 にコードで次のように表される。

RXE|||||||120|mg^^ISO|||||5|ml^^ISO ...<cr>

RXE-34 Give Drug Strength Volume Units 与薬力価容量単位 (CWE) 01675

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは RXE-33 与薬力価容量に関連した容積単位を示す。RXE-33 の例を参照すること。

RXE-35 Controlled Substance Schedule 規制薬物スケジュール (CWE) 01676

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは法律で用量が規制されている薬物もしくは他の物質の分類を特定するものである。米国においては、このような法律としては連邦薬物規制法 the federal Controlled Substance Act (CSA) もしくは州の法律である State Uniform Controlled Substance がある。米国での使用方法で有効な値については、使用者定義表 0477-規制薬物スケジュールを参照のこと。諸外国もこの表の独自のバージョンを作るべきである。

行政管轄体によっては、特定の分類の薬物リストを拡張したり、追加のスケジュールを作成したりする場合があるので、0477 表は使用者定義である。

使用者定義表 0477 – Controlled Substance Schedule* 規制薬物スケジュール

Value	Description	Comments
I	スケジュール I	濫用となる危険性が高い薬物、および米国では現在医薬品として受け入れられていないもの、また医療監督の下においても使用の安全性が認められていない薬物を含む。
II	スケジュール II	米国で現在医薬品として使用が認められているが、濫用の危険性が高く、心理的、身体的に依存性がきわめて高い薬物 (薬品) を含む。
III	スケジュール III	スケジュール I と II にリストされている薬物よりも濫用の危険性が低いもの。CS III の薬品は現在米国で医薬品として使用が認められている。
IV	スケジュール IV	スケジュール III にリストされている薬物よりも濫用の危険性が低いもの。CS IV の薬品は現在米国で医薬品として使用が認められている。
V	スケジュール V	濫用の危険性が低く、IV にリストされているものと比較して心理的、身体的な依存性が低い。米国で医薬品として使用が認められている。
VI	スケジュール VI	州により規定される。

*Pharmacy Law Digest July 1988

RXE-36 Formulary Status 処方集ステータス (ID) 01677

定義：このフィールドは薬剤がその地域の処方集の一部かどうかを特定するものである。有効な値は HL7 表 0478-処方集ステータスを参照のこと。

HL7表 0478 –Formulary Status 処方集ステータス

Value	Description	Comments
Y	薬剤が処方集の中に入っている。	
N	薬剤が処方集の中に入っていない。	
R	薬剤は処方集の中に入っているが、規制が適用される。	
G	薬剤は処方集の中に入っているが、ガイドラインが適用される。	

RXE-37 Pharmaceutical Substance Alternative 代替薬剤 (CWE) 01678

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、処方しようとしている薬品の代替品として処方可能な処方箋に載っている薬品を特定するものである。指定された医薬品が処方箋の中に含まれていない場合、このフィールドは処方箋に載っている代替薬品を提示する。

RXE-38 Pharmacy of Most Recent Fill 最新の調剤実施部門 (CWE) 01679

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは最後にその処方箋を調剤した薬剤部門を特定するものである。

RXE-39 Initial Dispense Amount 最初の調剤量 (NM) 01680

定義：このフィールドは、最初の処方による調剤の量が補充に用いられた処方の量と異なるときに、最初の調剤量を特定するものである。一つのユースケースは、処方者が新しい医薬品を処方した際、患者がその投与量に耐えられるかどうかを見極めたいと思うような場合である。処方者が当初の処方量を 30 錠とし、もし患者が耐えられるなら補充の際には 100 錠にすると明示するような場合である。このような場合 RXE-39 には 30 と記され、RXE-10 には 100 という数値が提示される。

もしこのフィールドが値を持たない場合は、最初の調剤量は RXE-10 と同じになる。

単位は RXE-11 に記されている通りである。

RXE-40 Dispensing Pharmacy 調剤薬剤部門 (CWE) 01681

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは処方箋を調剤する予定の薬剤部門を特定するものである。

RXE-41 Dispensing Pharmacy Address 調剤薬剤部門の住所 (XAD) 01682

成分:<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD):<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは調剤施設の住所を特定するものである。

RXE-42 Deliver-to Patient Location 患者への配達場所 (PL) 01683

成分:<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^
 ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)>
 ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 for Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI):<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Authority for Location (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドでは薬剤が配達される患者の場所が特定される。

【注射】本規約では、払い出し場所をセットする。

RXE-43 Deliver-to Address 配達先住所 (XAD) 01684

成分:<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^
 ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^
 ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD):<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは処方薬剤が、郵送もしくは手渡しされるべき住所を特定するものである。

RXE-44 Pharmacy Order Type 薬剤オーダータイプ (ID) 01685

定義: 薬剤オーダータイプは、オーダーが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダーの一般的カテゴリを定義するものである。有効な値については HL7 表 0480 -薬剤オーダータイプを参照のこと。

このフィールドは処理すべき関連オーダーおよび／もしくはレポートのグループ化する目的にも使用してよい。例えば、医療管理記録 Medication Administration Records (MARs) はしばしば大容量の液剤、医薬品、少量の液剤を、施設固有のワークフローに基づいて異なるグループ化を行う。

使用規則: このフィールドはすべての薬剤トランザクションにおいてオプションである。値を持たない場合には、デフォルト値の「M」が仮定される。

HL7表 0480 – Pharmacy Order Types 薬剤オーダータイプ

Value	Description	Comments
M	投薬	デフォルト値。錠剤、カプセル、粉末、その他の注射以外の／注入以外の製品を含むがこれらには限られない
S	IV 大量溶液	TPN, 混合薬剤、溶液、ドリップなどを含むがこれらに限られない。
O	医療のオーダーに応じて他の溶液	ピギーバックおよび注射（入）器を含むがこれらに限られない。

7.14 RXR - Pharmacy/Treatment Route Segment 薬剤／治療経路セグメント

薬剤／治療経路セグメントは、個々のオーダに適用されるよう規定された経路、部位、投薬装置および投薬方法の任意の組み合わせを含んでいる。薬剤部門、治療部門スタッフおよび／または看護スタッフは、彼らの専門的判断に基づく経路ないし内科医によって提供される投薬指示のいずれかを選択する。

HL7属性表－RXR－ Pharmacy/treatment route segment 投薬経路セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1*	250	CE	R	R		0162	Route 経路
2*	250	CWE	O	O		0550	Administration Site 投薬部位
3*	250	CE	O	O		0164	Administration Device 投薬装置
4*	250	CWE	O	O		0165	Administration Method 投薬方法
5*	250	CE	O	O			Routing Instruction 経路指示
6	250	CWE	O	O		0495	Administration Site Modifier 投薬部位修飾子

RXR フィールド定義

RXR-1 Route 経路 (CE) 00309

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは投薬の経路である。

NDC から取られたコードのように、現行の“経路コード”には、部位を既に含んでいるものがある。そのような場合、コード全体を、CE データ型の“ローカル定義コード”として、このフィールドに含むことができる。有効な値は、使用者定義表 0162－投薬経路を参照のこと。

【注射】指示情報では、指示投与経路をセットする。実施情報では、実施投与経路をセットする。

例：| IV^静脈内^HL70162|

使用者定義表 0162 -Route of Administration 投薬経路

Value	Description	Value	Description
AP	Apply Externally 外用	MM	Mucous Membrane 粘膜
B	Buccal 頬	NS	Nasal 鼻
DT	Dental 歯	NG	Nasogastric 経鼻胃
EP	Epidural 硬膜外	NP	Nasal Prongs* 鼻のブロング*
ET	Endotracheal Tube* 気管内チューブ*	NT	Nasotracheal Tube 鼻気管チューブ
GTT	Gastrostomy Tube 胃瘻チューブ	OP	Ophthalmic 眼
GU	GU Irrigant GU 洗浄剤	OT	Otic 耳
IMR	Immerse (Soak) Body Part 身体部位からの浸透	OTH	Other/Miscellaneous その他／様々
IA	Intra-arterial 動脈内	PF	Perfusion 灌流
IB	Intrabursal 滑液包内	PO	Oral 口
IC	Intracardiac 心臓内	PR	Rectal 直腸
ICV	Intracervical (uterus) 頸内 (子宮)	RM	Rebreather Mask* リブリーザーマスク*
ID	Intradermal 皮内	SD	Soaked Dressing 湿性包帯
IH	Inhalation 吸入	SC	Subcutaneous 皮下
IHA	Intrahepatic Artery 肝内動脈	SL	Sublingual 舌下
IM	Intramuscular 筋肉内	TP	Topical 局所
IN	Intranasal 鼻腔内	TRA	Tracheostomy* 気管切開*
IO	Intraocular 眼内	TD	Transdermal 経皮
IP	Intraperitoneal 腹腔内	TL	Translingual 経舌
IS	Intrasynovial 滑液包内	UR	Urethral 尿道
IT	Intrathecal 鞘内	VG	Vaginal 膣
IU	Intrauterine 子宮内	VM	Ventimask ベンチマスク
IV	Intravenous 静脈内	WND	Wound 創傷
MTH	Mouth/Throat 口／喉		

*主として呼吸器治療および麻酔に使用される。

RXR-2 Administration Site 投薬部位 (CWE) 00310

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、投薬経路の部位を含んでいる。このフィールドで調整後のコード表を使用する場合は、このフィールドの意味を修正するために RXR-6 投薬部位修飾子が用いられることがある。

有効な値については HL7 表 0550－身体器官(Body Parts)を参照のこと。後方互換性のために、HL7 表 0163－身体部位(Body Site)も利用できる。その他の適切な外部のコードセットも利用できる。(例えば SNOMED)

【注射】指示情報では、指示投与部位をセットする。実施情報では、実施投与部位をセットする。HL7 表 0163－身体部位は原則使用しない。「左右」等の補足情報がある場合には RXR-6 を使用する。

例：RXR|ARM^腕^HL70550||R^右^HL70495

HL7表 0550－身体器官

Value	Description	Value	Description
ADB	Abdomen 腹部	ISH	Loop, Ischial 坐骨部
ACET	Acetabulum 寛骨臼	LUMBA	Lumbar 腰部
ACHIL	Achilles アキレス腱	LMN	Lumen 内腔
ADE	Adenoids 咽頭扁桃腺	LUNG	Lung 肺
ADR	Adrenal 副腎	LN	Lymph Node リンパ節
AMN	Amniotic fluid 羊水	LNG	Lymph Node, Groin リンパ節、鼠径部
AMS	Amniotic Sac 羊膜嚢	LYM	Lymphocytes リンパ球
ANAL	Anal 肛門	MAC	Macrophages マクロファージ
ANKL	Ankle 足首	MALLE	Malleolus 踝 (くるぶし)
ANTEC	Antecubital 肘前 (ちゅうぜん)	MANDI	Mandible/Mandibular 下顎
ANTECF	Antecubital Fossa 肘前窩	MAR	Marrow 骨髓
ANTR	Antrum ほら (上顎ほら)	MAST	Mastoid 乳様突起
ANUS	Anus 肛門	MAXIL	Maxilla/Maxillary 上顎
AORTA	Aorta 大動脈	MAXS	Maxillary Sinus 上顎洞
AR	Aortic Rim 大動脈の縁	MEATU	Meatus 管の外側開口
AV	Aortic Valve 大動脈弁	MEC	Meconium 胎便
APDX	Appendix 虫垂	MEDST	Mediastinum 縦隔
AREO	Areola 乳輪	MEDU	Medullary 髄質
ARM	Arm 腕	MOU	Membrane 皮膜
ARTE	Artery 動脈	MPB	Meninges 髄膜
ASCIT	Ascites 腹水	METAC	Metacarpal 中手骨
ASCT	Ascitic Fluid 腹水	METAT	Metatarsal 中足骨
ATR	Atrium 心房	MILK	Milk, Breast 乳、乳房
AURI	Auricular 耳介	MITRL	Mitral Valve 僧帽弁
AXI	Axilla 脇のした	MOLAR	Molar 臼歯
BACK	Back 背中	MP	Mons Pubis 恥丘
BARTD	Bartholin Duct バルトリン管	MONSU	Mons Ureteris 尿管
BARTG	Bartholin Gland バルトリン腺	MONSV	Mons Veneris(Mons Pubis) 恥丘
BRTGF	Bartholin Gland Fluid バルトリン腺液	MOUTH	Mouth 口
BPH	Basophils 好塩基球	MRSA2	Mrsa: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
BID	Bile Duct 胆管	MYO	Myocardium 心筋
BIFL	Bile fluid 胆汁	NAIL	Nail 爪
BLAD	Bladder 膀胱	NAILB	Nail Bed 爪床
BLOOD	Blood 血液	NAILF	Nail, Finger 爪、指
BLDA	Blood, Arterial 動脈血	NAILT	Nail, Toe 爪、足指
BLDC	Blood, Capillary 毛細血管血	NARES	Nares 鼻孔
BLDV	Blood, Venous 静脈血	NASL	Nasal 鼻
CBLD	Blood, Cord 臍帯血	NSS	Nasal Septum 鼻中隔
BLD	Blood, Whole 全血	NLACR	Nasolacrimal 鼻涙
BDY	Body, Whole 全身	NP	Nasopharyngeal 鼻咽頭
BON	Bone 骨	NP	Nasopharynx 鼻咽頭
BMAR	Bone marrow 骨髓	NTRAC	Nasotracheal 鼻気管
BOWEL	Bowel 腸	NAVEL	Navel へそ
BOWLA	Bowel, Large 大腸	NECK	Neck 首

Value	Description	Value	Description
BOWSM	Bowel, Small 小腸	NERVE	Nerve 神経
BRA	Brachial 上腕	NIPPL	Nipple 乳首
BRAIN	Brain 脳	NOSE	Nose 鼻
BCYS	Brain Cyst Fluid 脳嚢胞液	NOS	Nose (Nasal Passage) 鼻腔
BRST	Breast 胸	NOSE	Nose(Outside) 外鼻
BRSTFL	Breast fluid 胸液	NOSTR	Nostril 鼻孔
BRO	Bronchial 気管支	OCCIP	Occipital 後頭
BROCH	Bronchiole/Bronchiolar 細気管支	OLECR	Olecranon 肘頭
BRONC	Bronchus/Bronchial 気管支	OMEN	Omentum 腹膜のひだ
BRV	Broviac 長期用中心静脈カテーテル	ORBIT	Orbit/Orbital 眼窩
BUCCA	Buccal 頬側	ORO	Oropharynx 中咽頭
BURSA	Bursa 滑液包	OSCOX	Os coxa (pelvic girdle) 寛骨 (下肢帯)
BURSF	Bursa Fluid 滑液包液	OVARY	Ovary 卵巣
BUTT	Buttocks 臀部	PALAT	Palate 口蓋
CALF	Calf ふくらはぎ	PLATH	Palate, Hard 硬口蓋
CANAL	Canal 管	PLATS	Palate, Soft 軟口蓋
CANLI	Canaliculus 小管	PALM	Palm 手のひら
CNL	Cannula カニューレ、套管	PANCR	Pancreas 膵臓
CANTH	Canthus 眼角	PAFL	Pancreatic Fluid 膵液
CDM	Cardiac Muscle 心筋	PAS	Parasternal 胸部傍
CARO	Carotid 頸動脈	PARAT	Paratracheal 気管傍
CARP	Carpal 手根骨	PARIE	Parietal 頭頂部
CAVIT	Cavity 窩洞	PARON	Paronychia 爪周囲炎
CHE	Cavity, Chest 胸洞	PAROT	Parotid 耳下腺
CECUM	Cecum/Cecal 盲腸	PAROT	Parotid Gland 耳下腺
CSF	Cerebral Spinal Fluid 脳脊髄液	PATEL	Patella 膝蓋骨
CVX	Cervix 頸部	PELV	Pelvis 骨盤
CERVUT	Cervix/Uterus 子宮頸部	PENSH	Penile Shaft 陰茎軸
CHEEK	Cheek 頬	PENIS	Penis 陰茎
CHES	Chest 胸部	PANAL	Perianal/Perirectal 肛門周囲/直腸周囲
CHEST	Chest Tube 胸管	PERI	Pericardial Fluid 心膜液
CHIN	Chin あご	PCARD	Pericardium 心膜
CIRCU	Circumcision Site 包皮切斷部位	PCLIT	Periclitral 陰核周囲
CLAVI	Clavicle/Clavicular 鎖骨	PERIH	Perihepatic 肝周囲
CLITO	Clitoral 陰核 (女)	PNEAL	Perineal 会陰
CLIT	Clitoris 陰核 (女)	PERIN	Perineal Abscess 会陰部膿瘍
COCCG	Coccygeal 尾骨	PNEPH	Perinephric 腎周囲
COCCY	Coccyx 尾骨	PNM	Perineum 会陰
COLON	Colon 結腸	PORBI	Periorbital 眼窩周囲
COLOS	Colostomy 人工肛門	PERRA	Perirectal 直腸周囲
COS	Colostomy Stoma 人工肛門	PERIS	Perisplenic 脾臓周囲
CDUCT	Common Duct 総胆管	PER	Peritoneal 腹膜
CONJ	Conjunctiva 結膜	PERT	Peritoneal Fluid 腹膜液
CORAL	Coral サンゴ状	PERIT	Peritoneum 腹膜
COR	Cord 臍帯	PTONS	Peritonsillar 扁桃周囲
CORD	Cord Blood 臍帯血	PERIU	Periurethral 尿道周囲
CORN	Cornea 角膜	PERIV	Perivesicular 肺胞
CRANE	Cranium, ethmoid 頭蓋、篩骨	PHALA	Pharynx 咽頭
CRANF	Cranium, frontal 頭蓋、前頭骨	PILO	Pilonidal 毛嚢
CRANO	Cranium, occipital 頭蓋、後頭骨	PINNA	Pinna 耳介
CRANP	Cranium, parietal 頭蓋、頭頂骨	PLC	Placenta 胎盤
CRANS	Cranium, sphenoid 頭蓋、蝶形骨	PLACF	Placenta (Fetal Side) 胎盤 (胎児側)
CRANT	Cranium, temporal 頭蓋、側頭	PLACM	Placenta (Maternal Side) 胎盤 (母体側)
CUBIT	Cubitus 肘	PLANT	Plantar 足底
CUFF	Cuff カフ	PLEUR	Pleura 胸膜
CULD	Cul De Sac 盲管	PLEU	Pleural Fluid 胸膜液
CULDO	Culdocentesis ダグラス窩穿刺	PLR	Pleural Fluid (Thoracentesis Fld) 胸水 (胸腔穿刺液)
DELT	Deltoid 三角筋	POPLI	Popliteal 膝窩
DENTA	Dental 歯	PREAU	Preauricular 耳介前方
DEN	Dental Gingiva 歯肉	PRERE	Prerenal 腎前
DIAF	Dialysis Fluid 透析液	PRST	Prostate Gland 前立腺
DPH	Diaphragm 横隔膜	PROS	Prostatic Fluid 前立腺液
DIGIT	Digit 指	PUBIC	Pubic 恥骨

Value	Description	Value	Description
DISC	Disc 椎間板	PUL	Pulmonary Artery 肺動脈
DORS	Dorsum/Dorsal 舌背	RADI	Radial 橈骨
DUFL	Duodenal Fluid 十二指腸液	RADIUS	Radius 橈骨
DUODE	Duodenum/Duodenal 十二指腸	RECTL	Rectal 直腸
DUR	Dura 硬膜	RECTU	Rectum 直腸
EAR	Ear 耳	RBC	Red Blood Cells 赤血球
EARBI	Ear bone, incus 耳骨、砧骨	RENL	Renal 腎臟
EARBM	Ear bone, malleus 耳骨、槌骨	RNP	Renal Pelvis 腎盂
EARBS	Ear bone, stapes 耳骨、鐙（あぶみ）骨	RPERI	Retroperitoneal 腹膜後
EARLO	Ear Lobe 耳たぶ	RIB	Rib 肋骨
ELBOW	Elbow 肘	SACRA	Sacral 仙骨
ELBOWJ	Elbow Joint 肘關節	SACRO	Sacroccygeal 仙尾骨
ENDC	Endocardium 心内膜	SACIL	Sacroiliac 仙腸関節
EC	Endocervical 子宮頸管	SACRU	Sacrum 仙骨
EOLPH	Endophthalmitis 眼球内部	SALGL	Salivary Gland 唾液腺
ENDM	Endometrium 子宮内膜	SCALP	Scalp 頭皮
ET	Endotracheal 気管内	SCAPU	Scapula/Scapular 肩甲骨
EUR	Endourethral 尿道内	SCLER	Sclera 強膜
EOS	Eosinophils 好酸球	SCROT	Scrotum/Scrotal 陰囊
EPICA	Epicardial 噴門上部	SEMN	Semen 精液
EPICM	Epicardium 心外膜	SEM	Seminal Fluid 精液
EPD	Epididymis 精巢上体	SEPTU	Septum/Septal 隔膜
EPIDU	Epidural 硬膜外	SEROM	Seroma 血清腫
EPIGL	Epiglottis 喉頭蓋	SHIN	Shin 脛
ESOPG	Esophageal 食道	SHOLJ	Shoulder Joint 肩関節
ESO	Esophagus 食道	SHOL	Shoulder 肩
ETHMO	Ethmoid 篩骨	SIGMO	Sigmoid S字結腸
	External Jugular 外部咽喉部	SINUS	Sinus 副鼻腔
EYE	Eye 目	SKM	Skeletal Muscle 骨格筋
BROW	Eyebrow 眉	SKENE	Skene's Gland スキーン腺
EYELI	Eyelid 瞼	SKULL	Skull 頭蓋
FACE	Face 顔面	INSTS	Intestine, Small 小腸
FBINC	Facial bone, inferior nasal concha 顔面骨、下鼻甲介	SOLE	Sole 足底
FBLAC	Facial bone, lacrimal 顔面骨、涙腺		
FBMAX	Facial bone, maxilla 顔面骨、上顎骨	SPRM	Spermatozoa 精子
FBNAS	Facial bone, nasal 顔面骨、鼻	SPHEN	Sphenoid 蝶形骨
FBPAL	Facial bone, palatine 顔面骨、口蓋	SPCOR	Spinal Cord 脊髓
FBVOM	Facial bone, vomer 顔面骨、鋤骨	SPLN	Spleen 脾臓
FBZYG	Facial bone, zygomatic 顔面骨、頬骨	STER	Sternum/Sternal 胸骨
FALLT	Fallopian Tube 卵管	STOM	Stoma 瘻孔
FEMOR	Femoral 大腿部	USTOM	Stoma, Urinary 瘻孔、泌尿器
FMH	Femoral Head 大腿頭部	STOMA	Stomach 胃
FEMUR	Femur 大腿骨	STUMP	Stump 残根部
FET	Fetus 胎児	SCLV	Sub Clavian 鎖骨下
FIBU	Fibula 腓骨	SDP	Subdiaphragmatic 横隔膜下
FING	Finger 指	SUB	Subdural 硬膜下
FINGN	Finger Nail 指の爪	SUBD	Subdural Fluid 硬膜下液
FOL	Follicle 小胞	SGF	Subgaleal Fluid 帽状腱膜下液
FOOT	Foot 足	SUBM	Submandibular 顎下腺
FOREA	Forearm 前腕	SUBX	Submaxillary 顎下腺
FOREH	Forehead 額	SUBME	Submental 顎下
FORES	Foreskin 包皮	SUBPH	Subphrenic 横隔膜下
FOURC	Fourchette 陰唇小帯	SPX	Supra Cervical 上頸部
GB	Gall Bladder 胆嚢	SCLAV	Supraclavicle/Supraclavicular 鎖骨上
GEN	Genital 性器	SUPRA	Suprapubic 恥骨上
GVU	Genital - Vulva 外陰部	SUPB	Suprapubic Specimen 恥骨上検体
GENC	Genital Cervix 子宮頸部	SWT	Sweat 汗
GL	Genital Lesion 性器外傷	SWTG	Sweat Gland 汗腺
GENL	Genital Lochia 悪露	SYNOL	Synovial 滑膜
GLAND	Gland 腺	SYN	Synovial Fluid 滑液
GLANS	Glans 亀頭	SYNOV	Synovium 滑膜
GLUTE	Gluteal 臀部	TARS	Tarsal 足根骨
GLUT	Gluteus 臀筋	TDUCT	Tear Duct 涙管
		TEAR	Tears 涙

Value	Description	Value	Description
GLUTM	Gluteus Medius 中殿筋	TEMPL	Temple こめかみ
GROIN	Groin 鼠径	TEMPO	Temporal 側頭部
GUM	Gum 歯茎	TML	Temporal Lobe 側頭葉
HAR	Hair 毛髪	TESTI	Testicle(Testis) 精巣
HAL	Hallux 第一趾	THIGH	Thigh 太腿
HAND	Hand 手	THORA	Thoracentesis 胸腔穿刺
HEAD	Head 頭	THORA	Thorax/Thoracic 胸郭
HART	Heart 心臓	THRB	Throat 咽喉、のど
HV	Heart Valve 心臓弁	THUMB	Thumb 親指
HVB	Heart Valve, Bicuspid 心臓弁、二尖弁	TNL	Thumbail 親指の爪
HVT	Heart Valve, Tricuspid 心臓弁、三尖弁	THM	Thymus 胸腺
HEEL	Heel かかと	THYRD	Thyroid 甲状腺
HEM	Hemorrhoid 痔核	TIBIA	Tibia 脛骨
HIP	Hip 腰	TOE	Toe つま先
HIPJ	Hip Joint 股関節	TOEN	Toe Nail つま先の爪
HUMER	Humerus 上腕骨	TONG	Tongue 舌
HYMEN	Hymen 処女膜	TONS	Tonsil 扁桃腺
ILC	Ileal Conduit 回腸導管	TOOTH	Tooth 歯
ILE	Ileal Loop 回腸ループ	TSK	Tooth Socket 歯槽
ILEOS	Ileostomy 回腸造瘻	TRCHE	Trachea/Tracheal 気管
ILEUM	Ileum 回腸	TBRON	Transbronchial 経気管支
ILIAC	Iliac 腸骨	TCN	Transcarina Asp 気管竜骨
ILCR	Iliac Crest 腸骨稜	ULNA	Ulna/Ulnar 尺骨
ILCON	Ilical Conduit 腸骨導管	UMB	Umbilical Blood 臍帯血
INGUI	Inguinal 鼠径管	UMBL	Umbilicus 臍
JUGI	Jugular, Internal 頸静脈	UMBL	Umbilicus/Umbilical 臍帯
INT	Intestine 腸	URET	Ureter 尿管
ICX	Intracervical 子宮頸管内	URTH	Urethra 尿道
INASA	Intranasal 鼻腔内	UTERI	Uterine 子宮
INTRU	Intrauterine 子宮内	SAC	Uterine Cul/De/Sac 子宮盲管
INTRO	Introitus 膣口	UTER	Uterus 子宮
ISCHI	Ischium 坐骨	VAGIN	Vagina/Vaginal 膣
JAW	Jaw 顎	VCUFF	Vaginal Cuff 膣円蓋
KIDN	Kidney 腎臓	VG	Vaginal Vault 膣円蓋
KNEE	Knee 膝	VAL	Valve 弁
KNEEF	Knee Fluid 膝液	VAS	Vas Deferens 精管
KNEEJ	Knee Joint 膝関節	VASTL	Vastus Lateralis 外側広筋
LABIA	Labia 陰唇	VAULT	Vault 子宮頸管
LABMA	Labia Majora 大陰唇	VEIN	Vein 静脈
LABMI	Labia Minora 小陰唇	VENTG	Ventragluteal 腹部臀部
LACRI	Lacrima 涙液	VCSF	Ventricular CSF 脳室脊髄液
LAM	Lamella 層板	VERMI	Vermis Cerebelli 小脳虫部
INSTL	Intestine, Large 大腸	VERTC	Vertebra, cervical 脊椎 (頸部)
LARYN	Larynx 咽喉頭	VERTL	Vertebra, lumbar 脊椎 (腰部)
LEG	Leg 脚	VERTT	Vertebra, thoracic 脊椎 (胸部)
LENS	Lens 水晶体	VESI	Vesicle 小胞
WBC	Leukocytes 白血球	VESCL	Vesicular 小胞
LING	Lingual 舌	VESFLD	Vesicular Fluid 小囊液
LINGU	Lingula 小舌	VESTI	Vestibule(Genital) 前庭 (性器)
LIP	Lip 唇	VITR	Vitreous Fluid ガラス体液
STOOLL	Liquid Stool 液状便	VOC	Vocal Cord 声帯
LIVER	Liver 肝臓	VULVA	Vulva 外陰部
LOBE	Lobe 耳たぶ	WRIST	Wrist 手首
LOCH	Lochia 悪露		

RXR-3 Administrative Device 投薬装置 (CE) 00311

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは薬あるいは他の治療の実施を援助するために使用される機械装置を示す。共通の例は異なるタイプの点滴セットである。有効な値については、使用者定義表 0164—投薬装置を参照のこと。

【注射】指示情報では、指示投与装置をセットする。実施情報では、実施投与装置をセットする。

例：|AP^アプリケーションタ^HL70164|

使用者定義表 0164 -Administration Device 投薬装置

Value	Description	Value	Description
AP	Applicator アプリケーター	IVS	IV Soluset 点滴溶剤セット
BT	Buretrol ビューレトロール	MI	Metered Inhaler メーター付吸入器
HL	Heparin Lock ヘパリン固定具	NEB	Nebulizer 噴霧器
IPPB	IPPB	PCA	PCA Pump P C Aポンプ
IVP	IV Pump 点滴ポンプ		

RXR-4 Administrative Method 投薬方法 (CWE) 00312

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、要求された薬または治療の患者への実施方法を示す。有効な値については、使用者定義表 0165—投薬方法を参照のこと。

【注射】指示情報では、指示手技をセットする。実施情報では、実施手技をセットする。有効な値については、JHSI 表 0003—Precise Continuation Drip ID 精密持続点滴も参照する。その際のコーディングシステム名は、JHSI0003 を用いる。

例：|IVP^IVプッシュ^HL70165|

使用者定義表 0165 -Administration Method 投薬方法

Value	Description	Value	Description
CH	Chew 咀嚼	NB	Nebulized 噴霧装置適用
DI	Dissolve 溶解	PT	Paint 塗布*
DU	Dust 掃除	PF	Perfuse 灌流
IF	Infiltrate 浸透	SH	Shampoo 洗髪
IS	Insert 挿入	SO	Soak 浸透
IR	Irrigate 洗浄	WA	Wash 洗浄
IVPB	IV Piggyback I V ビギーバック	WI	Wipe 拭き取り
IVP	IV Push I V プッシュ		

* 【注射】原文では「Pain 痛み」となっているが、「Paint 塗布」が正しいと思われる。

RXR-5 Routing Instruction 経路指示 (CE) 01315

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、特に複数の投薬経路が可能なときに、投薬経路についての指示を提供する。典型的な場合は、IV ラインが注入経路として可能であるとき、どの IV ラインを使用すべきかを指定する。

【注射】指示情報では、指示ラインをセットする。実施情報では、実施ラインをセットする。

例：|01^末梢ルートメイン1^99ILL|

RXR-6 Administration Site Modifier 投薬部位修飾子 (CWE) 01315

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドには、RXR-2 投薬部位の意味を修正する修飾子が含まれている。

このフィールドに使われているコード表は RXR-2 投薬部位に使われているコード表に依拠する。もし RXR-2 が HL7 表 0550—身体器官を用いる場合にはこのフィールドは、HL7 表 0495—身体器官修飾子 (HL7 V2.5 の 4.23.4 節を参照のこと) からの値のみを持つことができる。もし、RXR-2 が HL7 表 0163—身体部位を用いる場合は、RXR-6 には値を持つべきではない。RXR-2 にその他のコードセットを使用する場合 (例えば SNOMED)、RXR-6 には修飾子とそのコードセットの中に定義されているか、もしくは関連がある場合にのみ値を持ってよい。

条件規則：このフィールドは、RXR-2 投薬部位にコードが値を持つ場合にのみ値を持ってよいが必須ではない。

HL7表 0495 – Body Site Modifier 身体器官修飾子

Value	Description	Comments
ANT	Anterior 前部	
BIL	Bilateral 左右	
DIS	Distal 末梢	
EXT	External 外部	
LAT	Lateral 側面	
L	Left 左	
LOW	Lower 下	
MED	Medial 中央	
POS	Posterior 後部	
PRO	Proximal 基部	
LLQ	Quadrant, Left Lower 左下腹部	
LUQ	Quadrant, Left Upper 左上腹部	
RLQ	Quadrant, Right Lower 右下腹部	
RUQ	Quadrant, Right Upper 右上腹部	
R	Right 右	
UPP	Upper 上	

7.15 TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング／数量セグメント

TQ1 セグメントは、オーダ管理やスケジューリングシステムで起きる、イベントとアクションの複雑なタイミングを指定するのに使用される。このセグメントは、サービスの量、頻度、優先度、およびタイミングを決定する。このセグメントの繰り返しを許すことで、あるサービスの量、頻度、優先度を継続的に持たせることが可能になる。

以下に TQ1 が繰り返されるユースケースを示す。

- 心筋酵素 (直ちに)、後は毎 4 時間
- ストレプトキナーゼ検査、1 回目 (直ちに) の採血を行い、検査を実施 (直ちに)、その後 4 時間ごとに採血し、検査を実施 (直ちに)。
- ゲンタマイシン 100mg (すぐ)、80mg 毎 12 時間 2 回分 (最初 1 回分 80mg) 1 回分 100mg の後きっかり 12 時間後 (2 回目のサービス要求かも)。
- アクティバース 15mg ボーラス (直ちに)、次に 30 分間 50mg、次に 60 分間 35mg (2 回目のサービス要求かも)。
- 初めにイモディウム 4mg (2 カプセル) 経口、次に 2mg (1 カプセル) 各軟便(unformed stool)後、1 日あたり最大 16mg 。
- 初日 Zithromax 500mg (2 錠剤 tabs) 経口、次に 250mg (1 カプセル) 経口で 1 日 1 回を 5 日間 (2 回目のサービス要求かも)。
- 禁煙の処方薬 Zyban (ブプロピオン Bupropion) 150mg 経口から開始、毎午前を 3 日間、次に 150mg 経口、1 日 2 回を 7 週から 12 週間に増量。
- コルヒチン 1mg(2 錠)経口 (すぐ)、次に 1 錠毎 1 から 2 時間、痛みが緩和するか、あるいは好ましくない副作用 (下痢、胃腸障害) が出るまで。(2 回目のサービス要求かも)
- 初日 doxycycline 100mg 経口、1 日 2 回、次に 100mg 経口、1 日 1 回。
- スコパラミン、xxxmg、術前 1 時間。相対時間=-1^hour、優先度=P(術前)、あるいは代替繰り返しパターン= P1H^Preop、1 Hour before Surgery^99LocalCode、相対時間は空で優先度が P (術前)。

HL7属性表-TQ1-Timing/Quantity タイミング／数量

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - TQ1 セットID
2	20	CQ	O	O			Quantity 数量
3*	540	RPT	O	C*	Y	0335	Repeat Pattern 繰り返しパターン
4	20	TM	O	O	Y		Explicit Time 明示的な時間
5	20	CQ	O	O	Y		Relative Time and Units 相対的時間と単位
6	20	CQ	O	O			Service Duration サービス期間
7*	26	TS	O	O			Start Date/Time 開始日時
8*	26	TS	O	O			End Date/Time 終了日時
9*	250	CWE	O	O	Y	0485	Priority 優先度
10	250	TX	O	O			Condition Text 条件テキスト
11*	250	TX	O	C*			Text Instruction テキスト指示
12	10	ID	C	C		0427	Conjunction 連結
13*	20	CQ	O	O			Occurrence Duration 発生期間
14*	10	NM	O	C*			Total occurrence's 発生総数

TQ1 フィールド定義

TQ1-1 Set ID - TQ1 セットID (SI) 01627

定義：伝送された最初のタイミング指定に対してシーケンス番号は 1、2 番目のタイミング指定では 2、以下同様。

TQ1-2 Quantity 数量 (CQ) 01628

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

© JAHIS 2023

副成分 for Units (CE):<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、サービスが各々のサービス間隔で提供されるべき数量を指定する。例えば、2 つの血液培養を 4 時間毎に取得すべき場合、その量は 2 である。あるいは、3 ユニットの血液の血液型が判別され、クロスマッチされる場合、量は 3 となる。このフィールドのデフォルト値は 1 である。

もし、複数のサービスが要求される場合、複数のサービス要求が発行され、各々のサービスに各自一意な発行者／実施者番号を与えることを強く推奨する。

TQ1-3 Repeat Pattern 繰り返しパターン (RPT) 01629

成分:<Repeat Pattern Code (CWE)> ^ <Calendar Alignment (ID)> ^ <Phase Range Begin Value (NM)> ^ <Phase Range End Value (NM)> ^ <Period Quantity (NM)> ^ <Period Units (IS)> ^ <Institution Specified Time (ID)> ^ <Event (ID)> ^ <Event Offset Quantity (NM)> ^ <Event Offset Units (IS)> ^ <General Timing Specification (GTS)>

副成分 for Repeat Pattern Code (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：その治療が実施されるべき繰り返しの頻度である。オーダエントリシステムで使用する頻度と SIG コード表と類似している。

このフィールドは、より複雑な繰返しパターンを構築するために繰り返される。例えば、毎就寝時は、「[QD~HS]」と表現される。

数量タイミグ指定がある期間の後、異なる繰返しパターンに変化しなければならない時、新しい TQ1 セグメントが新しい繰返しパターンを示すために使用されなければならない。現行の TQ1 の終了日は現行のタイミグ指定が終了する時を示し、次の TQ1 の開始日は新しいタイミグ指定が開始する時を示すことに注意すること。TQ1-12 の結合フィールドが次の TQ1 セグメントが連続してあるいは並行して実行されるかを決定する。

【注射】本規約では、頓用指示とあいまい指示で使い、使用者定義表 0335 繰り返しパターンと表 7.15.1 頓用指示 (MERIT-9 処方オーダー 表 5 より) を条件成分に設定する。

例：疼痛時の場合

|PRNpain&疼痛時&MR9P|

朝 (あいまい指示) の場合

|M&朝&HL70335|

使用者定義表 0335 -Repeat pattern 繰り返しパターン

Value	Description	Comments
Q<整数>S	<整数>秒ごと	
Q<整数>>M	<整数>分ごと	
Q<整数>H	<整数>時間ごと	
Q<整数>D	<整数>日ごと	
Q<整数>W	<整数>週ごと	
Q<整数>L	<整数>月 (月周期) ごと	
Q<整数>J<日番号>	週の特定の曜日に繰り返す	フランス語の <i>Jour</i> (日) より。<整数>がないとき繰り返し頻度は1と見なされる。<日番号>は1=月曜日から7=日曜日までである。したがって、Q2J2は2週に1度の火曜日ごととなり；Q1J6は毎日曜日となる。
		(例、9AM-4PM)
BID	日に2回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM-9PM)
TID	日に3回、施設で定められた時刻	(例、9AM-11AM-4PM-9PM)
QID	日に4回、施設で定められた時刻	(例、5ID=日に5回；8ID=日に8回)
xID	日にX回、施設で定められた時刻で、Xは数字の5以上	
QAM	朝の施設で決められた時間に	
QSHIFT	8時間の3回のシフトを1回ずつ施設で決められた時間に	(Q2Dと同じ)
QOD	1日おきに	
QHS	毎日就寝時間の前に	
QPM	夕の施設で決められて時間に	

Value	Description	Comments
C	サービスは開始時刻から終了時刻まで連続的に提供される	(例、PRNQ6H) ; 頻度の間隔が必要に応じてこれもこの成分がnullの時のデフォルト
U <spec>	将来の使用のため、<指定>はUNIXのcron仕様で定義された繰り返しの指定	
U <指定>	必要に応じて	
PRN	xxxはある繰り返しコード	
PRNxxx	一回のみ	
Once	<タイミング>C ("cum")<食事>	(例、前後の食事の間、夕食と就寝の間)
食事に関連したタイミング		
A	Ante (前)	
P	Post (後)	
I	Inter (間)	
M	Cibus Matutinus (朝食)	
D	Cibus Diurnus (昼食)	
V	Cibus Vespertinus (夕食)	

表 7.15-1 頓用指示 (MERIT-9 処方オーダ 表5より)

投与条件	テキスト
検査時	PRNLTS
頭痛時	PRNheadache
疼痛時	PRNpain
歯痛時	PRNteeth pain
発熱時	PRNfever or PRNfebrile
胸痛時	PRNchest pain
腹痛時	PRNabdominal pain
不眠時	PRNinsomnia
不安時	PRNanxiety
いらいら時	PRNnervous
めまい時	PRNdizziness or PRNvertigo
かゆいとき	PRNitching
発作時	PRNattack
便秘時	PRNcostipation
下痢時	PRNdiarrhea
嘔吐時	PRNvomiting
咳き込み時	PRNcough
空腹時	PRNhungry
血圧上昇時	PRNhigh BP
亡尿時	PRNauria
多尿時	PRNpolyuria

第3成分 (name of coding system) には、'MR9P'を設定する。

TQ1-4 Explicit Time 明示的な時間 (TM) 01630

定義：このフィールドはTQ1-3のコードによって参照された実際の時間を明示的にリストする。このフィールドは、実際の実施時間が施設内でまちまちであるケースでTQ1-3を明確化するために使用される。仮にサービスの時間が1日よりもっと長い期間を要求する場合、このフィールドはサービス要求があった各々の日に同じ実施時間が発生する場合にのみ実行が可能となる。仮にサービス要求の実際の開始時間 (TQ1-7によって与えられる) が最初の明示的時間よりも後である場合、開始時間後の最初の明示的時間に最初の実施が行われる。患者が明示的時間の異なる組み合わせを持つ場所に移動したケースでは、既存のサービス要求は、変更された明示的時間を示す新しい数量／タイミングによって更新される。

使用上の注意：このフィールドは、TQ1-3 繰り返しパターンが存在しない場合には値を持たない。

TQ1-5 Relative Time and Units 相対的時間と単位 (CQ) 01631

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE):<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> &

<alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、サービス要求あるいはボトル記録のためのスケジュールの間隔を定義するために使用される。仮にこのフィールドが値を持つ場合、TQ1-4 明示的時間間隔フィールドの値をオーバーライドする。CQ データ型の単位成分は、時間単位に制約される。

例:

TQ1|1|1|Q1H|60^min&&ANS+ - Q1H はサービス間隔 60 分ごとと定義される

TQ1|1|1|Q6H|6^hr&&ANS+ - Q6H はサービス間隔 6 時間ごとと定義される

TQ1|1|1|QD|1^d&&ANS+ - QD はサービス間隔 1 日ごとと定義される

TQ1-6 Service Duration サービス期間 (CQ) 01632

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE):<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> &

<alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、サービスが要求される期間を含む。このフィールドの数量成分は、正で、ゼロでない数字でなければならない。このフィールドの単位部分は、時間の単位に制約される。

例：ワールプール（whirlpool 渦流浴）を 3 日間に 1 日 3 回 20 分間。3 日間はサービス期間。

TQ1|1|1|TID|3^d&&ANS+|||||20^min&&ANS+|9<cr>

TQ1-7 Start Date/Time 開始日時 (TS) 01633

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、サービスを開始すべき最早日時を示す場合に、要求者によって指定される。しかしながら、多くの場合、開始日時は暗黙的に指定されるかサービス要求レコード（例えば、緊急-STAT）によって定義される。これらの場合、このフィールドは空である。しかしながら実施サービスでは、サービス要求を受け取った後にこのフィールドに値を記録し、実施サービスの内部使用のため、開始日時をもとに終了時間を計算することがよくある。

【注射】本規約では、施用単位の実施予定開始日時をセットする。あいまい指示の場合は、YYYYMMDD、それ以外の場合は、YYYYMMDDHH[MM[SS]]を設定する。

TQ1-8 End Date/Time 終了日時 (TS) 01634

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：サービス要求者によって指定される場合、このフィールドはサービスが実行されるべき最遅日時を含む。仮に指定された時間までにサービスが実行されなかった場合、そのサービスは全く実行されるべきではない。要求者はいつもこの値を記入するとは限らず、実施サービスが受け取った指示と実際の開始時間をもとに記入してもよい。終了日時の値にかかわらず、サービスは期間あるいは終了日時によって指定された最早日時で停止されるべきである。

【注射】本規約では、施用単位の実施予定終了日時をセットする。あいまい指示、ワンショットのときには、null をセットする。それ以外の場合は、YYYYMMDDHH[MM[SS]]を設定する。

TQ1-9 Priority 優先度 (CWE) 01635

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、要求の優先度を記述する。仮にこのフィールドがブランクならデフォルトは R である。推奨値に関しては、使用者定義表 0485—拡張優先度コードを参照のこと。

【注射】本規約では、注射指示の優先度をセットする。

例：|S^緊急^HL70485|

使用者定義表 0485 - Extended Priority Codes 拡張優先度コード

Value	Description	Comments
S	Stat 緊急	最も高い優先度
A	ASAP できるだけ早く	Sの次の優先度
R	Routine ルーチン	デフォルト
P	Preop 術前	
C	Callback 返信	

Value	Description	Comments
T	Timing critical タイミングが重要	できるだけ要求時間に近づけることが重要な要求。例えば、抗菌レベル
TS<integer>		タイミングは<整数値>秒以内であることが重要
TM<integer>		タイミングは<整数値>分以内であることが重要
TH<integer>		タイミングは<整数値>時間以内であることが重要
TD<integer>		タイミングは<整数値>日以内であることが重要
TW<integer>		タイミングは<整数値>週以内であることが重要
TL<integer>		タイミングは<整数値>月以内であることが重要
PRN	As needed 必要に応じて	

TQ1-10 Condition Text 条件テキスト (TX) 01636

定義：これは薬が与えられる条件を記述するフリーテキストのフィールドである。例えば、疼痛時、あるいは血圧を 110 以下に保つこと。このフィールドの存在は、この薬がどのように、および／または、いつ与えられるべきかを決定するために人間のレビューが必要であるということを意味すると捉えるべきである。

TQ1-11 Text Instruction テキスト指示 (TX) 01637

定義：このフィールドは、指示のフルテキスト版である。（オプション）

【注射】本規約では、頓用指示の場合のみ使用し、用法に関するコメント（用法コメント）など、Rp ごとのコメントを格納する。

例）1 日 2 回まで、3 時間以上あけて

TQ1-12 Conjunction 連結 (ID) 01638

定義：このフィールドは、2 番目の TQ1 セグメントが続くことを示す。可能な値に関しては HL7 表 0472-TQ 連結 ID を参照のこと。

HL7 表 0472 - TQ Conjunction ID TQ連結ID

Value	Description	Comments
S	同期 (Synchronous)	同期。今回の指定の後に次の指定を行う(TQ1-7-開始日時、およびTQ1-8-終了日時により制限を受けなければ)。“S”指定は、最初のタイミングシーケンスの後に2番目のタイミングシーケンスが続くことを示す。例えば、最初の1時間は15分ごとに血圧を測定し、次の日には2時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。
A	非同期 (Asynchronous)	今回の指定と並行して次の指定を行う(TQ1-7-開始日時、およびTQ1-8-終了日時により制限を受けなければ)。連結“A”により、投薬時などに散見される、2つの指示の並行指定が可能になる。例えば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン1錠、火曜、木曜、土曜、日曜には1/2錠。
C	これは開始時間である (Actuation Time)	このコードの後にはサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき（採血など）時間・優先度から、サービスを終了すべき（結果報告など）時間・優先度が区別できるようになる。

連続したサービスあるいは周期的なサービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、TQ1-8 終了日時および TQ1-6 サービス期間の、どちらかより早い停止時間を示すフィールドにより決定される。通常、この2つのフィールドのうち1つだけが存在する。

条件規則：TQ1 セグメントがメッセージ内で繰り返される場合、このフィールドには次に続く TQ1 セグメントの順序を示す適切な連結コードを指定すべきである。

TQ1-13 Occurrence Duration 発生期間 (CQ) 01639

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE):<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)>

定義：このフィールドは、サービスの単独の実行についての期間を含んでいる。このフィールドの数量成分は、値を持つ時はポジティブかつゼロでない数字でなければならない。単位成分は、時間の単位に制約される。

例：ワールプール（whirlpool 渦流浴）を3日間、1日20分間を3回。20分が発生時間である。

TQ1|1||TID||3^d&&ANS+||||20^min&&ANS+|9<cr>

【注射】本規約では、連続投与時間をセットする。

TQ1-14 Total Occurrence's 発生総数 (NM) 01640

定義：このフィールドは、サービス要求の結果であるべきサービスの発生総数を含む。仮に終了日時 (TQ1-8)と発生総数の両方が値を持ち、その発生数が終了日時を越えて延びる場合は、終了日時を優先する。その他の場合は発生数を優先する。

例：ワールプール（whirlpool 渦流浴）を3日間、1日20分間を3回。総発生数が9回。

TQ1|1||TID||3^d&&ANS+||||20^min&&ANS+|9<cr>

【注射】本規約では、頓用指示の場合のみ使用し、2回分などの回数をセットする。

付録ー 1. 用法種別、指示内容ごとのフィールドへのセット内容

		ワンショット			点滴		
		日時指定	頓用指示	あいまい指示	日時指定	頓用指示	あいまい指示
RXE-23	与薬速度	null	null	null	投与速度	投与速度	投与速度
RXE-24	与薬速度単位	null	null	null	投与速度単位	投与速度単位	投与速度単位
TQ1-3	繰り返しパターン	null	頓用適用条件	投薬開始タイミング	null	頓用適用条件	投薬開始タイミング
TQ1-7	開始日時	投薬開始日時	null	投薬開始日	投薬開始日時	null	投薬開始日
TQ1-8	終了日時	null	null	null	投薬終了日時	null	null
TQ1-11	テキスト指示	null	頓用コメント	null	null	頓用コメント	null
TQ1-13	発生期間	null	null	null	連続投与時間	連続投与時間	連続投与時間
TQ1-14	総発生数	null	頓用適用回数	null	null	頓用適用回数	null

付録ー 2. メッセージ使用例

この節では、規約の解釈の相違により、メッセージの使用法に相違が出ないようにするために、以下の処方例について、HL7 メッセージがどの様に構築されるかを示す。

- (1) オーダ情報 (ワンショット)
- (2) 実施情報 (ワンショット)
- (3) オーダ情報 (点滴注射)
- (4) 実施情報 (点滴実施)
- (5) 実施情報 (点滴実施速度変更)
- (6) オーダ情報 (麻薬)
- (7) オーダ情報 (頓服薬)
- (8) あいまい指示 (朝・昼・夕)
- (9) 抗がん剤

(1) オーダ情報 (ワンショット)

	項目名	項目値	備考
オーダ共通	患者 ID	0012345678	
	漢字氏名	患者 太郎	
	カナ氏名	カンジャ タロウ	
	生年月日	1965/04/15	
	性別	男 (M)	
	オーダ番号	123456789012345	
	入外区分	入院 (I)	
	依頼科	内科 (01)	
	依頼医	医師 一郎 (10001)	
	オーダ更新日時	2022/07/01 01:24:10	
	オーダ更新者	更新 次郎 (20002)	
	オーダ入力端末 ID	PC01	
注射オーダ 管理情報	処方区分	入院定時処方	
	処方箋番号	20220701-001	
保険情報	保険種別	組合管掌健康保険 (06)	
患者身体情報	病名・プロブレム	突発性てんかんの疑い	
	アレルギー	スギ花粉 (10001) 重度 ハウスダスト (30001) 軽度	
	感染症 (有無)	あり (Y)	
指示用法	Rp #1	Rp 番号	01
		注射種別	一般注射 (00)
		用法種別	ワンショット (01)
		指示投与経路	静脈内 (IV)
		指示投与部位	左腕 (ARM, L)
		指示投与部位コメント	できるだけ太い静脈を使用
		指示投与装置	シリンジ (01)
		指示手技	静注(末梢) (101)
		指示手技コメント	緩徐に静注

	項目名		項目値	備考
		指示投与量合計	2	
		指示投与量単位	ml	
		指示用法コメント	頻脈、徐脈、血圧低下が見られたら中止すること	
		実施予定開始日時	2022/07/01 10:00, 14:00, 18:00	
		施用番号	001, 002, 003	
		払い出し場所	09A 病棟 (09A)	
指示薬剤情報	# 1	指示薬剤	ホリゾン注射液 10mg (100558502)	
		指示薬剤分量	1	
		分量単位	アンプル (AMP)	
		指示薬剤コメント	ジェネリック可	

MSH|^~\&|SEND|RECEIVE||20220701012213.225||RDE^O11^RDE_O11|20220701012213225|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>

PID|||0012345678^^^PI||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>

PV1||I<CR>

IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>

AL1|1|LA^花粉アレルギー^HL70127|10001^スギ^99ZAL|SV^重度^HL70128<CR>

AL1|2|EA^環境アレルギー^HL70127|30001^ハウスダスト^99ZAL|MI^軽度^HL70128<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_001||||20220701012410|20002^更新^次郎
^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^へー郎^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|PC01^^99LWS||||||||I^入院
患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|2||ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^頻脈、徐脈、血圧低下が見られたら中止する
こと^JHSIC007~^緩徐に静注^JHSIC004~^できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003||||||20220701-
001|||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001|||||01^ワンショット
^JHSI0009|||||||||09A^^^^N<CR>

TQ1|1|||||202207011000<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550|01^シリンジ^99ILL|101^静注(末梢)^99ILL||L^左^HL70495<CR>

RXC|A|100558502^ホリゾン注射液 1 0 m g ^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P|||^ジェネリック可^JHSIC009<CR>

OBX|1|ST|54531-9^病名・疾患名 ^LN||突発性てんかんの疑い|||||F<CR>

OBX|2|CWE|54536-8^感染症(有無)^LN||Y^あり^HL70532|||||F<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_002||||20220701012410|20002^更新^次郎
^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^へー郎^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|PC01^^99LWS||||||||I^入院
患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|2||ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^頻脈、徐脈、血圧低下が見られたら中止する
こと^JHSIC007~^緩徐に静注^JHSIC004~^できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003||||||20220701-
001|||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001|||||01^ワンショット
^JHSI0009|||||||||09A^^^^N<CR>

TQ1|1|||||202207011400<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550|01^シリンジ^99ILL|101^静注(末梢)^99ILL||L^左^HL70495<CR>

RXC|A|100558502^ホリゾン注射液 1 0 m g ^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P|||^ジェネリック可^JHSIC009<CR>

OBX|1|ST|54531-9^病名・疾患名 ^LN||突発性てんかんの疑い|||||F<CR>

OBX|2|CWE|54536-8^感染症(有無)^LN||Y^あり^HL70532|||||F<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_003||||20220701012410|20002^更新^次郎
^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^へー郎^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|PC01^^99LWS||||||||I^入院

© JAHIS 2023

患者オーダ HL70482<CR>

RXE||00^一般 JHSI0002|2||ml^ミリリットル ISO+|INJ^注射剤 MR9P|^頻脈、徐脈、血圧低下が見られたら中止すること JHSIC007~^緩徐に静注 JHSIC004~^できるだけ太い静脈を使用 JHSIC003|||||||20220701-001|||||IHP^入院処方 MR9P~FTP^定時処方 JHSI0001|||||01^ワンショット
^JHSI0009|||||||09A^N<CR>

TQ1|1|||||202207011800<CR>

RXR|IV^静脈内 HL70162|ARM^腕 HL70550|01^シリンジ 99ILL|101^静注(末梢) 99ILL||L^左 HL70495<CR>

RXC|A|100558502^ホリゾン注射液 10mg^HOT|1|AMP^アンプル MR9P|||^ジェネリック可 JHSIC009<CR>

OBX|1|ST|54531-9^病名・疾患名 LN|^突発性てんかんの疑い|||||F<CR>

OBX|2|CWE|54536-8^感染症(有無) LN|^Y^あり HL70532|||||F<CR>

<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20220701012213.225	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	20220701012213225	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	0012345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	患者太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19650415	
8	性別	M	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	I	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険 JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ AL1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID-AL1	1	
2	アレルゲン分類	LA^花粉アレルギー^HL70127	
3	アレルゲン情報	10001^スギ^99ZAL	アレルギー
4	アレルギー重症度	SV^重度^HL70128	

■ AL1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID-AL1	2	
2	アレルゲン分類	EA^環境アレルギー^HL70127	
3	アレルゲン情報	30001^ハウスダスト^99ZAL	アレルギー
4	アレルギー重症度	MI^軽度^HL70128	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_001	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量-最小	2	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^頻脈、徐脈、血圧低下が見られたら中止すること ^JHSIC007~^緩徐に静注^JHSIC004~^できるだけ 太い静脈を使用^JHSIC003	指示用法コメント、指示手技 コメント、指示投与部位コ メント
15	処方箋番号	20220701-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
27	与薬指示	01^ワンショット^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207011000	実施予定開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	01^シリンジ^99ILL	指示投与装置
4	投薬方法	101^静注(末梢)^99ILL	手技
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	100558502^ホリゾン注射液 10mg^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位
7	補足コード	^ジェネリック可^JHSIC009	指示薬剤コメント

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	値型	ST	
3	検査項目	54531-9^病名・疾患名^LN	
5	検査結果値	突発性てんかんの疑い	病名・疾患名
11	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	2	
2	値型	CWE	
3	検査項目	54536-8^感染症(有無)^LN	
5	検査結果値	Y^あり^HL70532	感染症(有無)
11	検査結果状態	F	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_002	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量・最小	2	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^痙攣時^JHSIC007~^緩徐に静注^JHSIC004~^ できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003	指示用法コメント、指示手技 コメント、指示投与部位コメ ント
15	処方箋番号	20220701-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特 別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
27	与薬指示	01^ワンショット^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207011400	実施予定開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	01^シリンジ^99ILL	指示投与装置
4	投薬方法	101^静注(末梢)^99ILL	指示手技
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	100558502^ホリゾン注射液 10mg^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位
7	補足コード	^ジェネリック可^JHSIC009	指示薬剤コメント

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	値型	ST	
3	検査項目	54531-9^病名・疾患名^LN	
5	検査結果値	突発性てんかんの疑い	病名・疾患名
11	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	2	
2	値型	CWE	
3	検査項目	54536-8^感染症(有無)^LN	
5	検査結果値	Y^あり^HL70532	感染症(有無)
11	検査結果状態	F	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_003	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量-最小	2	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^痙攣時^JHSIC007~^緩徐に静注^JHSIC004~^できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003	指示用法コメント、指示手技コメント、指示投与部位コメント
15	処方箋番号	20220701-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
27	与薬指示	01^ワンショット^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207011800	実施予定開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	01^シリンジ^99ILL	指示投与装置
4	投薬方法	101^静注(末梢)^99ILL	指示手技
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	100558502^ホリゾン注射液 1 0 m g ^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位
7	補足コード	^ジェネリック可^JHSIC009	指示薬剤コメント

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	値型	ST	
3	検査項目	54531-9^病名・疾患名^LN	
5	検査結果値	突発性てんかんの疑い	病名・疾患名
11	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	2	
2	値型	CWE	
3	検査項目	54536-8^感染症(有無)^LN	
5	検査結果値	Y^あり^HL70532	感染症(有無)
11	検査結果状態	F	

(2) 実施情報 (ワンショット)

	項目名		項目値	備考
オーダ 共通	患者 ID		0012345678	
	漢字氏名		患者 太郎	
	カナ氏名		カンジャ タロウ	
	生年月日		1965/04/15	
	性別		男 (M)	
	オーダ番号		123456789012345	
	入外区分		入院 (I)	
	依頼科		内科 (01)	
	依頼医		医師 一郎 (10001)	
	実施更新日時		2022/07/01 10:50:23	
	実施更新者		看護 花子 (20001)	
	実施入力端末 ID		PC32	
注射オーダ 管理情報	Rp 番号		01	
	施用番号		001	
実施用法	Rp # 1	実施投与経路	静脈内 (IV)	
		実施投与部位	右腕 (ARM,R)	
		実施投与部位コメント	左利きのため	
		実施投与装置	シリンジ (01)	
		実施手技	静注(末梢) (101)	
		実施手技コメント	1 分ほどかけて緩徐に行いました	
		実施用法コメント	痙攣が発生したため、主治医に確認の上実施しました	
投与薬剤	薬品 # 1	実施投薬剤	ホリゾン注射液 10mg (100558502)	
		実施投薬量	1	
		分量単位	アンプル (AMP)	
		実施開始日時	2022/07/01 10:05:21	
		実施終了日時	(指定なし)	
実施日時		実施回数	1	
		実施者	看護 花子 (20001)	
		実施場所	09A/021/4	
		進捗	完了 (CP)	
		進捗コメント	予定通り	
		実施入力日時	2022/07/01 10:50:23	

MSH|^~\&|SEND|RECEIVE||20220701112213.225||RAS^O17^RAS_O17|20220701112213225|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>

PID|||0012345678^^^PI||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>

PV1||I<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_001||||20220701105023|20001^看護^花子
^^^^^^L^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^I||||01^内科^99ILL|PC32^^99LWS||||||||I^入院
患者オーダ^HL70482<CR>

RXA|0|1|20220701100521|""|100558502^ホリゾン注射液 1 0 m g ^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P||^左利きのため
^JHSIC003~^1 分ほどかけて緩徐に行いました^JHSIC004~^痙攣が発生したため、主治医に確認の上実施しました
^JHSIC007|20001^看護^花子^^^^^^L^^^^I|09A^021^4^^^N|||||^予定通り

© JAHIS 2023

||CP||20220701105023<CR>
 RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550|01^シリンジ^99ILL|101^静注(末梢)^99ILL||R^右^HL70495<CR>
 <EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20220701112213.225	
9	メッセージ型	RAS^O17^RAS_O17	
10	メッセージ制御 ID	20220701112213225	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	0012345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19650415	
8	性別	M	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	I	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_001	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701105023	実施更新日時
10	入力者	20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I	実施更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC32^^99LWS	実施入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンタ	0	

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	投薬サブ ID カウンタ	1	実施回数
3	投薬開始日時	20220701100521	実施開始日時
4	投薬終了日時	“”	実施終了日時
5	投薬コード	100558502^ホリゾン注射液 10mg^HOT	実施投薬剤
6	投薬量	1	実施投薬量
7	投薬単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位
9	投薬注記	^左利きのため^JHSIC003~^1分ほどかけて緩徐に行いました^JHSIC004~^痙攣が発生したため、主治医に確認の上実施しました^JHSIC007	実施投与部位コメント、実施手技コメント、実使用法コメント
10	投薬者	20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I	実施者
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	実施場所
18	薬剤／治療拒否理由	^予定通り	進捗コメント
20	完了状態	CP	進捗
22	システム入力日時	20220701105023	実施入力日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	実施投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	実施投与部位
3	投薬装置	01^シリンジ^99ILL	実施投与装置
4	投薬方法	101^静注(末梢)^99ILL	実施手技
6	投薬部位修飾子	R^右^HL70495	

(3) オーダ情報 (点滴注射)

	項目名		項目値	備考
オーダ共通	患者 ID		0012345678	
	漢字氏名		患者 太郎	
	カナ氏名		カンジャ タロウ	
	生年月日		1965/04/15	
	性別		男 (M)	
	オーダ番号		123456789012345	
	入外区分		入院 (I)	
	依頼科		内科 (01)	
	依頼医		医師 一郎 (10001)	
	オーダ更新日時		2022/07/01 01:24:10	
	オーダ更新者		更新 次郎 (20002)	
	オーダ入力端末 ID		PC01	
注射オーダ 管理情報	処方区分		入院定時処方	
	処方箋番号		20220701-001	
保険情報	保険種別		組合管掌健康保険 (06)	
指示用法	Rp #1	Rp 番号	01	
		注射種別	一般注射 (00)	
		用法種別	点滴 (02)	
		投与経路	静脈内 (IV)	
		投与部位	左腕 (ARM, L)	
		手技	点滴静注(末梢) (102)	
		ライン	主管 (01)	
		投与量合計	510	
		投与量単位	ml	
		指示投与速度コメント	5時間一定速度で	
		実施予定開始日時	2022/07/01 8:00, 13:00, 18:00	
		実施予定終了日時	2022/07/01 13:00, 18:00, 23:00	
		連続投与時間	5hr	
		与薬速度	102	
		与薬速度単位	ml/hr	
		監査者	監査 三郎 (30003)	
		払い出し場所	09A 病棟 (09A)	
		施用番号	001, 002, 003	
指示薬剤情報	薬品 #1	指示薬剤	ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L (107750602)	
		指示薬剤分量	1	
		分量単位	本 (HON)	
	薬品 #2	指示薬剤	アドナ注(静脈用) 50mg/10mL(108010001)	
		指示薬剤分量	1	
		分量単位	アンプル (AMP)	
指示用法	Rp #2	Rp 番号	02	
		注射種別	一般注射 (00)	
		用法種別	点滴 (02)	
		投与経路	静脈内 (IV)	

	項目名		項目値	備考
		投与部位	左腕 (ARM, L)	
		手技	点滴静注(末梢) (102)	
		ライン	側管 (02)	
		投与量合計	100	
		投与量単位	ml	
		指示投与速度コメント	1 時間一定速度で	
		実施予定開始日時	2022/07/01 10:00, 15:00	
		実施予定終了日時	2022/07/01 11:00, 16:00	
		連続投与時間	1hr	
		与薬速度	100	
		与薬速度単位	ml/hr	
		監査者	監査 三郎 (30003)	
		払い出し場所	09A 病棟 (09A)	
		施用番号	004, 005	
指示薬剤情報	薬品 # 1	指示薬剤	生理食塩液 100mL (107667701)	
		指示薬剤分量	1	
		分量単位	本 (HON)	
	薬品 #2	指示薬剤	カルベニン注 0.5g (111177401)	
		指示薬剤分量	2	
		分量単位	バイアル (VIL)	

MSH|^~\&|SEND|RECEIVE||20220701012213.225||RDE^O11^RDE_O11|20220701012213225|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>

PID|||0012345678^^^^PI||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>

PV1||I<CR>

IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_001||||20220701012410|20002^更新^次郎
^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|PC01^^99LWS||||||||I^入院
患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|510|ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^5時間一定速度で
^JHSIC006|||||30003^監査^三郎^^^^^^L^^^^^I|20220701-001||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方
^JHSI0001||102|ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+|||02^点滴^JHSI0009||| |||||||||09A^^^^^N<CR>

TQ1|1|||||202207010800|202207011300|||||5^hr<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550||102^点滴静注(末梢)^99ILL|01^主管^99ILL|L^左^HL70495<CR>

RXC|B|107750602^ソリターT3号輸液500mL^HOT|1|HON^本^MR9P<CR>

RXC|A|108010001^アドナ注(静脈用)50mg^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_002||||20220701012410|20002^更新^次郎
^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|PC01^^99LWS||||||||I^入院
患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|510|ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^5時間一定速度で
^JHSIC006|||||30003^監査^三郎^^^^^^L^^^^^I|20220701-001||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方
^JHSI0001||102|ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+|||02^点滴^JHSI0009||| |||||||||09A^^^^^N<CR>

TQ1|1|||||202207011300|202207011800|||||5^hr<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550||102^点滴静注(末梢)^99ILL|01^主管^99ILL |L^左^HL70495<CR>

RXC|B|107750602^ソリターT3号輸液500mL^HOT|1|HON^本^MR9P<CR>

© JAHIS 2023

RXC|A|108010001^アドナ注（静脈用） 5 0 m g ^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_003||||20220701012410|20002^更新^次郎
 ^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|PC01^^99LWS|||||||||I^入院
 患者オード^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|510||ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^5時間一定速度で
 ^JHSIC006|||||30003^監査^三郎^^^^^^L^^^^^I|20220701-001||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方
 ^JHSI0001||102|ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+|||02^点滴^JHSI0009|||||||||09A^^^^^N<CR>

TQ1|1|||||202207011800|202207012300|||||5^hr<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550||102^点滴静注(末梢)^99ILL|01^主管^99ILL |L^左^HL70495<CR>

RXC|B|107750602^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 mL ^HOT|1|HON^本^MR9P<CR>

RXC|A|108010001^アドナ注（静脈用） 5 0 m g ^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_02_004||||20220701012410|20002^更新^次郎
 ^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|PC01^^99LWS|||||||||I^入院
 患者オード^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|100||ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^1時間一定速度で
 ^JHSIC006|||||30003^監査^三郎^^^^^^L^^^^^I|20220701-001||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方
 ^JHSI0001||100|ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+|||02^点滴^JHSI0009|||||||||09A^^^^^N<CR>

TQ1|1|||||202207011000|202207011100|||||1^hr<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550||102^点滴静注(末梢)^99ILL|02^側管^99ILL|L^左^HL70495<CR>

RXC|B|107667701^生理食塩液 100mL ^HOT|1|HON^本^MR9P<CR>

RXC|A|111177401^カルベニン注 0.5g ^HOT|2|VIL^バイアル^MR9P<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_02_005||||20220701012410|20002^更新^次郎
 ^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|PC01^^99LWS|||||||||I^入院
 患者オード^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|100||ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^1時間一定速度で
 ^JHSIC006|||||30003^監査^三郎^^^^^^L^^^^^I|20220701-001||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方
 ^JHSI0001||100|ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+|||02^点滴^JHSI0009|||||||||09A^^^^^N<CR>

TQ1|1|||||202207011500|202207011600|||||1^hr<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550||102^点滴静注(末梢)^99ILL|02^側管^99ILL|L^左^HL70495<CR>

RXC|B|107667701^生理食塩液 100mL ^HOT|1|HON^本^MR9P<CR>

RXC|A|111177401^カルベニン注 0.5g ^HOT|2|VIL^バイアル^MR9P<CR>

<EQM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20220701012213.225	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	20220701012213225	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	0012345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19650415	
8	性別	M	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	I	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_001	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量・最小	510	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^5時間一定速度で^JHSIC006	指示投与速度コメント
14	薬剤師/治療提供者の検証 ID	30003^監査^三郎^^^^^^L^^^^^I	監査者
15	処方箋番号	20220701-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
23	与薬速度	102	与薬速度

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
24	与薬速度単位	ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+	与薬速度単位
27	与薬指示	02^点滴^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207010800	実施予定開始日時
8	終了日時	202207011300	実施予定終了日時
13	発生時間	5^hr	連続投与時間

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
4	投薬方法	102^点滴静注(末梢)^99ILL	手技
5	経路指示	01^主管^99ILL	ライン
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	B	
2	成分コード	107750602^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	HON^本^MR9P	分量単位

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	108010001^アドナ注（静脈用） 5 0 m g ^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_002	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量・最小	510	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^5時間一定速度で^JHSIC006	指示投与速度コメント
14	薬剤師/治療提供者の検証 ID	30003^監査^三郎^^^^^^L^^^^^I	監査者
15	処方箋番号	20220701-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
23	与薬速度	102	与薬速度
24	与薬速度単位	ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+	与薬速度単位
27	与薬指示	02^点滴^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207011300	実施予定開始日時
8	終了日時	202207011800	実施予定終了日時
13	発生時間	5^hr	連続投与時間

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
4	投薬方法	102^点滴静注(末梢)^99ILL	手技
5	経路指示	01^主管^99ILL	ライン
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	B	
2	成分コード	107750602^ソリター T 3号輸液 5 0 0 m L^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	HON^本^MR9P	分量単位

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	108010001^アドナ注（静脈用） 5 0 m g ^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_003	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量-最小	510	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^5 時間一定速度で^JHSIC006	指示投与速度コメント
14	薬剤師/治療提供者の検証 ID	30003^監査^三郎^^^^^^L^^^^^I	監査者
15	処方箋番号	20220701-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
23	与薬速度	102	与薬速度
24	与薬速度単位	ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+	与薬速度単位
27	与薬指示	02^点滴^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207011800	実施予定開始日時
8	終了日時	202207012300	実施予定終了日時
13	発生時間	5^hr	連続投与時間

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
4	投薬方法	102^点滴静注(末梢)^99ILL	手技
5	経路指示	01^主管^99ILL	ライン
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	B	
2	成分コード	107750602^ソリターT 3号輸液500mL^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	HON^本^MR9P	分量単位

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	108010001^アドナ注(静脈用) 50mg^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_02_004	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量・最小	100	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^1時間一定速度で^JHSIC006	指示投与速度コメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
14	薬剤師/治療提供者の検証ID	30003^監査^三郎^^^^^^L^^^^^I	監査者
15	処方箋番号	20220701-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
23	与薬速度	100	与薬速度
24	与薬速度単位	ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+	与薬速度単位
27	与薬指示	02^点滴^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207011000	実施予定開始日時
8	終了日時	202207011100	実施予定終了日時
13	発生時間	1^hr	連続投与時間

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
4	投薬方法	102^点滴静注(末梢)^99ILL	手技
5	経路指示	02^側管^99ILL	ライン
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	B	
2	成分コード	107667701^生理食塩液 100mL^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	HON^本^MR9P	分量単位

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	111177401^カルベニン注 0.5g^HOT	指示薬剤
3	成分量	2	指示薬剤分量
4	成分単位	VIL^バイアル^MR9P	分量単位

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
4	依頼者グループ番号	123456789012345_02_005	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量-最小	100	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^1 時間一定速度で^JHSIC006	指示投与速度コメント
14	薬剤師/治療提供者の検証 ID	30003^監査^三郎^^^^^^L^^^^^I	監査者
15	処方箋番号	20220701-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
23	与薬速度	100	与薬速度
24	与薬速度単位	ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+	与薬速度単位
27	与薬指示	02^点滴^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207011500	実施予定開始日時
8	終了日時	202207011600	実施予定終了日時
13	発生時間	1^hr	連続投与時間

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
4	投薬方法	102^点滴静注(末梢)^99ILL	手技
5	経路指示	02^側管^99ILL	ライン
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	B	
2	成分コード	107667701^生理食塩液 100mL^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	HON^本^MR9P	分量単位

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	111177401^カルベニン注 0.5g^HOT	指示薬剤
3	成分量	2	指示薬剤分量
4	成分単位	VIL^バイアル^MR9P	分量単位

(4) 実施情報 (点滴実施)

	項目名		項目値	備考
オーダ 共通	患者 ID		0012345678	
	漢字氏名		患者 太郎	
	カナ氏名		カンジャ タロウ	
	生年月日		1965/04/15	
	性別		男 (M)	
	オーダ番号		123456789012345	
	入外区分		入院 (I)	
	依頼科		内科 (01)	
	依頼医		医師 一郎 (10001)	
	実施更新日時		2022/07/01 11:36:13	
	実施更新者		看護 花子 (20001)	
	実施入力端末 ID		PC32	
注射オーダ 管理情報	Rp 番号		01	
	施用番号		001	
実施用法	Rp # 1	実施投与経路	静脈内 (IV)	
		実施投与部位	左腕 (ARM,L)	
		実施手技	IV プッシュ (IVP)	
投与薬剤	薬品 # 1	実施投薬剤	ソリター-T 3号輸液 500mL (107750602)	
		実施投薬量	1	
		分量単位	本 (HON)	
実施日時		実施開始日時	2022/07/01 08:05:21	
		実施終了日時	2022/07/01 13:05:43	
		投与速度	102ml/hr	
		実施回数	1	
		実施者	看護 花子 (20001)	
		実施場所	09A/021/4	
		進捗	完了 (CP)	
		実施投与経路コメント	左手に実施	
		実施入力日時	2022/07/01 13:06:13	
投与薬剤	薬品 # 2	実施投薬剤	アドナ注 (静脈用) 50mg/10mL (108010001)	
		実施投薬量	1	
		分量単位	アンプル (AMP)	
実施日時		実施開始日時	2022/07/01 08:05:21	
		実施終了日時	2022/07/01 13:05:43	
		投与速度	102ml/hr	

	項目名		項目値	備考
		実施回数	1	
		実施者	看護 花子 (20001)	
		実施場所	09A/021/4	
		進捗	完了 (CP)	
		実施投与経路コメント	左手に実施	
		実施入力日時	2022/07/01 13:06:13	

MSH|^~¥&|SEND|RECEIVE||20220701113813.225||RAS^O17^RAS_O17|20220701113813225|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>

PID|||0012345678^^^^PI||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>

PV1||I<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_001|||||20220701113613|20001^看護^花子
^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I|||||01^内科^99ILL|PC32^^99LWS|||||||||I^入院
患者オーダ^HL70482<CR>

RXA|0|1|20220701080521|20220701130543|107750602^ソリターT 3号輸液5 0 0 mL^HOT|1|HON^本^MR9P|^
左手に実施^JHSIC002|20001^看護^花子
^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^N|102ml/hr|||||CP||20220701130613<CR>

RXA|0|1|20220701080521|20220701130543|108010001^アドナ注 (静脈用) 5 0 mg^HOT|1|AMP^アンプル
^MR9P|^左手に実施^JHSI0002|20001^看護^花子
^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^N|102ml/hr|||||CP||20220701130613<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550||IVP^IV プッシュ^HL70165||L^左^HL70495<CR>

<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20220701113813.225	
9	メッセージ型	RAS^O17^RAS_O17	
10	メッセージ制御ID	20220701113813225	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者IDリスト	0012345678^^^^PI	患者ID
5	患者氏名	患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19650415	
8	性別	M	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	I	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	
2	依頼者オーダー番号	123456789012345	オーダー番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_001	オーダー番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701113613	実施更新日時
10	入力者	20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I	実施更新者
12	オーダー発行者	10001^医師^一〇郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC32^99LWS	実施入力端末 ID
29	オーダータイプ	I^入院患者オーダー^HL70482	入外区分

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンタ	0	
2	投薬サブ ID カウンタ	1	実施回数
3	投薬開始日時	20220701080521	実施開始日時
4	投薬終了日時	20220701130543	実施終了日時
5	投薬コード	107750602^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT	実施投薬剤
6	投薬量	1	実施投薬量
7	投薬単位	HON^本^MR9P	分量単位
9	投薬注記	^左手に実施^JHSIC002	実施経路コメント
10	投薬者	20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I	実施者
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	実施場所
12	単位時間あたりの投薬量	102ml/hr	実施投薬速度、速度単位
20	完了状態	CP	進捗
22	システム入力日時	20220701130613	実施入力日時

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンタ	0	
2	投薬サブ ID カウンタ	1	実施回数
3	投薬開始日時	20220701080521	実施開始日時
4	投薬終了日時	20220701130543	実施終了日時
5	投薬コード	108010001^アドナ注（静脈用） 5 0 m g ^HOT	実施投薬剤
6	投薬量	1	実施投薬量
7	投薬単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位
9	投薬注記	^左手に実施^JHSIC0002	実施経路コメント
10	投薬者	20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I	実施者

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	実施場所
12	単位時間あたりの投薬量	102ml/hr	実施投薬速度、速度単位
20	完了状態	CP	進捗
22	システム入力日時	20220701130613	実施入力日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	実施投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	実施投与部位
4	投薬方法	IVP^IV プッシュ^HL70165	実施手技
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

(5) 実施情報 (点滴実施速度変更)

	項目名		項目値	備考	
オーダー 共通	患者 ID		0012345678		
	漢字氏名		患者 太郎		
	カナ氏名		カンジャ タロウ		
	生年月日		1965/04/15		
	性別		男 (M)		
	オーダー番号		123456789012345		
	入外区分		入院 (I)		
	依頼科		内科 (01)		
	依頼医		医師 一郎 (10001)		
	実施更新日時		2022/07/01 11:36:13		
	実施更新者		看護 花子 (20001)		
	実施入力端末 ID		PC32		
注射オーダー 管理情報	Rp 番号		01		
	施用番号		001		
実施用法	Rp # 1	投与経路		静脈内 (IV)	
		投与部位		左腕 (ARM,L)	
		手技		静注(末梢) (101)	
投与薬剤		薬品 # 1	実施投薬剤	ソリター-T 3号輸液 5 0 0 m L (107750602)	
			実施投薬量	0.5	
			分量単位	本 (HON)	
実施日時			実施開始日時	2022/07/01 13:05:43	
			実施終了日時	2022/07/01 15:35:43	
			投与速度	102ml/hr	
			実施回数	1	
			実施者	看護 花子 (20001)	
			実施場所	09A/021/4	
			進捗	完了 (CP)	
			実施ラインコメント	末梢に	
投与薬剤			実施入力日時	2022/07/01 15:35:43	
		薬品 # 2	実施投薬剤	アドナ注 (静脈用) 50mg／10mL (108010001)	
			実施投薬量	0.5	
			分量単位	アンプル (AMP)	
			実施開始日時	2022/07/01 13:05:43	
	実施終了日時		2022/07/01 15:35:43		
投与速度	102ml/hr				

	項目名		項目値	備考	
			実施回数	1	
			実施者	看護 花子 (20001)	
			実施場所	09A/021/4	
			進捗	完了 (CP)	
			実施進ラインコメント	末梢に	
			実施入力日時	2022/07/01 15:35:43	
投与薬剤	薬品 # 1	実施投薬剤	ソリター-T 3号輸液5 0 0 m L (107750602)		
		実施投薬量	0.5		
分量単位		本 (HON)			
実施日時		実施開始日時	2022/07/01 15:35:43		
		実施終了日時	2022/07/01 16:50:43		
		投与速度	204ml/hr		
		実施回数	2		
		実施者	看護 花子 (20001)		
		実施場所	09A/021/4		
		進捗	完了 (CP)		
		実施ラインコメント	末梢に		
		実施投与速度コメント	倍速で実施		
		進捗コメント	容体急変のため倍の速度で実施		
実施入力日時		2022/07/01 16:50:43			
投与薬剤	薬品 # 2	実施投薬剤	アドナ注 (静脈用) 50mg／10mL (108010001)		
		実施投薬量	0.5		
分量単位		アンプル (AMP)			
実施日時		実施開始日時	2022/07/01 15:35:43		
		実施終了日時	20226/07/01 16:50:43		
		投与速度	204ml/hr		
		実施回数	2		
		実施者	看護 花子 (20001)		
		実施場所	09A/021/4		
		進捗	完了 (CP)		
		実施ラインコメント	末梢に		
		実施投与速度コメント	倍速で実施		
		進捗コメント	容体急変のため倍の速度で実施		

	項目名			項目値	備考
			実施入力日時	2022/07/01 16:50:43	

MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20220701113813.225||RAS^O17^RAS_O17|20220701113813225|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>

PID|||0012345678^^^^PI||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>

PV1||I<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_001|||||20220701113613|20001^看護^花子
^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一朗^^^^^^L^^^^^I|||||01^内科^99ILL|PC32^^99LWS|||||||||I^入院
患者オーダー^HL70482<CR>

RXA|0|1|20220701130543|20220701153543|107750602^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT|0.5|HON^本
^MR9P||^末梢に^JHSIC005|20001^看護^花子
^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^N|102ml/hr|||||CP||20220701153543<CR>

RXA|0|1|20220701130543|20220701153543|108010001^ア ドナ 注 (静 脈 用) 5 0 m g ^HOT|0.5|AMP^アンプル
^MR9P||^末梢に^JHSIC005|20001^看護^花子
^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^N|102ml/hr|||||CP||20220701153543<CR>

RXA|0|2|20220701153543|20220701165043|107750602^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT|0.5|HON^本
^MR9P||^末梢に^JHSIC005|20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^N|204ml/hr|||||^容体急変の
ため倍の速度で実施^JHSIC008|^倍速で実施^JHSIC006|CP||20220701165043<CR>

RXA|0|2|20220701153543|20220701165043|108010001^ア ドナ 注 (静 脈 用) 5 0 m g ^HOT|0.5|AMP^アンプル
^MR9P||^末梢に^JHSIC005|20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^N|204ml/hr|||||^容体急変の
ため倍の速度で実施^JHSIC008|^倍速で実施^JHSIC006|CP||20220701165043<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550||101^静注(末梢)^99ILL||L^左^HL70495<CR>

<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20220701113813.225	
9	メッセージ型	RAS^O17^RAS_O17	
10	メッセージ制御 ID	20220701113813225	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	0012345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19650415	
8	性別	M	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	I	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_001	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701113613	実施更新日時
10	入力者	20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I	実施更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC32^99LWS	実施入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンタ	0	
2	投薬サブ ID カウンタ	1	実施回数
3	投薬開始日時	20220701130543	実施開始日時
4	投薬終了日時	20220701153543	実施終了日時
5	投薬コード	107750602^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT	実施投薬剤
6	投薬量	0.5	実施投薬量
7	投薬単位	HON^本^MR9P	分量単位
9	投薬注記	^末梢に^ JHSIC005	実施ラインコメント
10	投薬者	20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I	実施者
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	実施場所
12	単位時間あたりの投薬量	102ml/hr	実施投薬速度、速度単位
20	完了状態	CP	進捗
22	システム入力日時	20220701153543	実施入力日時

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンタ	0	
2	投薬サブ ID カウンタ	1	実施回数
3	投薬開始日時	20220701130543	実施開始日時
4	投薬終了日時	20220701153543	実施終了日時
5	投薬コード	108010001^アドナ注（静脈用） 5 0 m g ^HOT	実施投薬剤
6	投薬量	0.5	実施投薬量
7	投薬単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位
9	投薬注記	^末梢に^JHSIC005	実施ラインコメント
10	投薬者	20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I	実施者

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	実施場所
12	単位時間あたりの投薬量	102ml/hr	実施投薬速度、速度単位
20	完了状態	CP	進捗
22	システム入力日時	20220701153543	実施入力日時

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンタ	0	
2	投薬サブ ID カウンタ	2	実施回数
3	投薬開始日時	20220701153543	実施開始日時
4	投薬終了日時	20220701165043	実施終了日時
5	投薬コード	107750602^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT	実施投薬剤
6	投薬量	0.5	実施投薬量
7	投薬単位	HON^本^MR9P	分量単位
9	投薬注記	^末梢に^JHSIC005	実施ラインコメント
10	投薬者	20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I	実施者
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	実施場所
12	単位時間あたりの投薬量	204ml/hr	実施投薬速度、速度単位
18	薬剤/治療拒否理由	^容体急変のため倍の速度で実施^JHSIC008	進捗コメント
19	指示	^倍速で実施^JHSIC006	実施投与速度コメント
20	完了状態	CP	進捗
22	システム入力日時	20220701165043	実施入力日時

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンタ	0	
2	投薬サブ ID カウンタ	2	実施回数
3	投薬開始日時	20220701153543	実施開始日時
4	投薬終了日時	20220701165043	実施終了日時
5	投薬コード	108010001^アドナ注（静脈用） 5 0 m g ^HOT	実施投薬剤
6	投薬量	0.5	実施投薬量
7	投薬単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位
9	投薬注記	^末梢に^JHSIC005	実施ラインコメント
10	投薬者	20001^看護^花子^^^^^^L^^^^^I	実施者
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	実施場所
12	単位時間あたりの投薬量	204ml/hr	実施投薬速度、速度単位
18	薬剤/治療拒否理由	^容体急変のため倍の速度で実施^JHSIC008	進捗コメント
19	指示	^倍速で実施^JHSIC006	実施投与速度コメント
20	完了状態	CP	進捗
22	システム入力日時	20220701165043	実施入力日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	実施投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	実施投与部位
4	投薬方法	101^静注(末梢) ^99ILL	実施手技
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

(6) オーダ情報 (麻薬)

項目名		項目値	備考
オーダ共通	患者 ID	0012345678	
	漢字氏名	患者 太郎	
	カナ氏名	カンジャ タロウ	
	生年月日	1965/04/15	
	性別	男 (M)	
	オーダ番号	123456789012345	
	入外区分	入院 (I)	
	依頼科	内科 (01)	
	依頼医	医師 一郎 (10001)	
	オーダ更新日時	2022/07/01 01:24:10	
	オーダ更新者	更新 次郎 (20002)	
	オーダ入力端末 ID	PC01	
注射オーダ 管理情報	処方区分	入院定時処方	
	処方箋番号	20220701-001 ,20220701- 002 ,20220701-003	
保険情報	保険種別	組合管掌健康保険 (06)	
指示用法	Rp # 1	Rp 番号	01
		注射種別	麻薬注射 (03)
		用法種別	点滴 (02)
		指示投与経路	静脈内 (IV)
		指示投与部位	左内部頸静脈 (JUGI, L)
		指示投与部位コメント	できるだけ太い静脈を使用
		指示投与装置	点滴ポンプ (IVP)
		指示手技	点滴静注(末梢) (102)
		指示ラインコメント	側管 1
		指示投与量合計	50
		指示投与量単位	ml
		指示用法コメント	投与時間は前後 2 時間の範囲であれ ば適宜調整可
		実施予定開始日時	2022/07/01 14:00, 21:00, 06:00
		施用番号	001, 002, 003
		払い出し場所	09A 病棟 (09A)
指示薬剤情報	薬品 # 1	指示薬剤	モルヒネ塩酸塩注射液 1 0 m g (185040601)
		指示薬剤分量	0.25
		分量単位	アンプル (AMP)
指示薬剤情報	薬品 # 2	指示薬剤	ノバミン筋注 5 m g (101329001)
		指示薬剤分量	0.5

項目名				項目値	備考
指示薬剤情報		薬品 # 3	分量単位	アンプル (AMP)	
			指示薬剤	大塚生食注5 0 m l (107675201)	
			指示薬剤分量	1	
			分量単位	瓶 (BTL)	

MSH|^~\&|SEND|RECEIVE||20220701012213.225||RDE^O11^RDE_O11|20220701012213225|P|2.5|||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>

PID|||0012345678^^^^PI||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>

PV1||I<CR>

IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>

AL1|1|LA^花粉アレルギー^HL70127|10001^スギ^JC10|SV^重度^HL70128<CR>

AL1|2|EA^環境アレルギー^HL70127|30001^ハウスダスト^JC10|MI^軽度^HL70128<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_001|||20220701012410|20002^更新^次郎
^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I|||01^内科^99ILL|PC01^^99LWS|||I^入院
患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||03^麻薬^JHSI0002|50||ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^投与時間は前後2時間の範囲であれば適宜調
整可^JHSIC007^~できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003~^側管1^JHSIC005|||123456||20220701-
001|||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001||250|ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+|||02^点滴
^JHSI0009|||09A^^^^^N<CR>

TQ1|1|||202207011400|202207011412|R^ルーチン^HL70485<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|JUGI^内部頸静脈^HL70550|IVP^点滴ポンプ^HL70164|102^点滴静注(末梢)^99ILL||L^左
^HL70495<CR>

RXC|A|185040601^モルヒネ塩酸塩注射液1 0 m g ^HOT|0.25|AMP^アンプル^MR9P|||01^麻薬^JHSI0005~03^劇薬
^JHSI0005<CR>

RXC|A|101329001^ノバミン筋注5 m g ^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P<CR>

RXC|B|107675201^大塚生食注5 0 m L ^HOT|1|BTL^瓶^MR9P<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_002|||20220701012410|20002^更新^次郎
^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I|||01^内科^99ILL|PC01^^99LWS|||I^入院
患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||03^麻薬^JHSI0002|50||ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^投与時間は前後2時間の範囲であれば適宜調
整可^JHSIC007~^~できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003~^側管1^JHSIC005|||123456||20220701-
002|||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001||250|ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+|||02^点滴
^JHSI0009|||09A^^^^^N<CR>

TQ1|1|||202207012100|202207012112|R^ルーチン^HL70485<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|JUGI^内部頸静脈^HL70550|IVP^点滴ポンプ^HL70164|102^点滴静注(末梢)^99ILL||L^左
^HL70495<CR>

RXC|A|185040601^モルヒネ塩酸塩注射液1 0 m g ^HOT|0.25|AMP^アンプル^MR9P|||01^麻薬^JHSI0005~03^劇薬
^JHSI0005<CR>

RXC|A|101329001^ノバミン筋注5 m g ^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P<CR>

RXC|B|107675201^大塚生食注5 0 m L ^HOT|1|BTL^瓶^MR9P<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_003|||20220701012410|20002^更新^次郎
^^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I|||01^内科^99ILL |PC01^^99LWS|||I^入
院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||03^麻薬^JHSI0002|50||ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^投与時間は前後2時間の範囲であれば適宜調
整可^JHSIC007~^~できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003~^側管1^JHSIC005|||123456||20220701-
003|||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001||250|ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+|||02^点滴

© JAHIS 2023

^JHSI0009|||||||09A^^^N<CR>
 TQ1|1|||||202207020600|202207020612|R^ルーチン^HL70485<CR>
 RXR|IV^静脈内^HL70162|JUGI^内部頸静脈^HL70550|IVP^点滴ポンプ^HL70164|102^点滴静注(末梢)^99ILL||L^左
 ^HL70495<CR>
 RXC|A|185040601^モルヒネ塩酸塩注射液 1 0 m g ^HOT|0.25|AMP^アンプル^MR9P|||01^麻薬^JHSI0005~03^劇薬
 ^JHSI0005<CR>
 RXC|A|101329001^ノバミン筋注 5 m g ^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P<CR>
 RXC|B|107675201^大塚生食注 5 0 m L ^HOT|1|BTL^瓶^MR9P<CR>
 <EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20220701012213.225	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	20220701012213225	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	0012345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19650415	
8	性別	M	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	I	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ AL1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	アレルゲン分類	LA^花粉アレルギー^HL70127	

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	アレルゲン情報	10001^スギ^JC10	アレルギー
4	アレルギー重症度	SV^重度^HL70128	

■ AL1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	2	
2	アレルゲン分類	EA^環境アレルギー^HL70127	
3	アレルゲン情報	30001^ハウスダスト^JC10	アレルギー
4	アレルギー重症度	MI^軽度^HL70128	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_001	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	03^麻薬^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量-最小	50	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	与薬剤形
7	依頼者の投薬指示	^投与時間は前後 2 時間の範囲であれば適宜調整可 ^JHSIC007~^できるだけ太い静脈を使用 ^JHSIC003~^側管 1^JHSIC005	指示用法コメント、指示投与部位コメント、指示ラインコメント
13	オーダ発行者の DEA 番号	123456	麻薬施用者番号
15	処方箋番号	20220701-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
23	与薬速度	250	指示投与速度
24	与薬速度単位	ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+	指示投与速度単位
27	与薬指示	02^点滴^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207011400	実施予定開始日時
8	終了日時	202207011412	実施予定終了日時
9	優先度	R^ルーチン^HL70485	依頼優先度

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	JUGI^内部頸静脈^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	IVP^点滴ポンプ^HL70164	指示投与装置
4	投薬方法	102^点滴静注(末梢)^99ILL	指示手技
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	185040601^モルヒネ塩酸塩注射液 10mg^HOT	指示薬剤
3	成分量	0.25	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位
7	補足コード	01^麻薬^JHSI0005~03^劇薬^JHSI0005	特殊薬剤区分

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	101329001^ノバミン筋注 5mg^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	B	
2	成分コード	107675201^大塚生食注 50mL^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	BTL^瓶^MR9P	分量単位

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_002	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	03^麻薬^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量-最小	50	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	与薬剤形
7	依頼者の投薬指示	^投与時間は前後 2 時間の範囲であれば適宜調整可 ^JHSIC007~^できるだけ太い静脈を使用 ^JHSIC003~^側管 1^JHSIC005	指示用法コメント、指示投与 部位コメント、指示ラインコ メント
13	オーダ発行者の DEA 番号	123456	麻薬施用者番号
15	処方箋番号	20220701-002	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
23	与薬速度	250	指示投与速度
24	与薬速度単位	ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+	指示投与速度単位
27	与薬指示	02^点滴^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207012100	実施予定開始日時
8	終了日時	202207012112	実施予定終了日時
9	優先度	R^ルーチン^HL70485	依頼優先度

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	JUGI^内部頸静脈^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	IVP^点滴ポンプ^HL70164	指示投与装置
4	投薬方法	102^点滴静注(末梢)^99ILL	指示手技
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	成分コード	185040601^モルヒネ塩酸塩注射液 10mg^HOT	指示薬剤
3	成分量	0.25	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位
7	補足コード	01^麻薬^JHSI0005~03^劇薬^JHSI0005	特殊薬剤区分

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	101329001^ノバミン筋注 5mg^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	B	
2	成分コード	107675201^大塚生食注 50mL^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	BTL^瓶^MR9P	分量単位

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_003	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	03^麻薬^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量-最小	50	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	与薬剤形
7	依頼者の投薬指示	^投与時間は前後 2 時間の範囲であれば適宜調整可 ^JHSIC007~^できるだけ太い静脈を使用 ^JHSIC003~^側管 1^JHSIC005	指示用法コメント、指示投与部位コメント、指示ラインコメント
13	オーダ発行者の DEA 番号	123456	麻薬施用者番号
15	処方箋番号	20220701-003	処方箋番号

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
23	与薬速度	250	指示投与速度
24	与薬速度単位	ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+	指示投与速度単位
27	与薬指示	02^点滴^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202207020600	実施予定開始日時
8	終了日時	202207020612	実施予定終了日時
9	優先度	R^ルーチン^HL70485	依頼優先度

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	JUGI^内部頸静脈^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	IVP^点滴ポンプ^HL70164	指示投与装置
4	投薬方法	102^点滴静注(末梢)^99ILL	指示手技
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	185040601^モルヒネ塩酸塩注射液 10mg^HOT	指示薬剤
3	成分量	0.25	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位
7	補足コード	01^麻薬^JHSI0005~03^劇薬^JHSI0005	特殊薬剤区分

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	101329001^ノバミン筋注 5mg^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	B	
2	成分コード	107675201^大塚生食注 50mL^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	BTL^瓶^MR9P	分量単位

(7) オーダ情報 (頓服薬)

項目名		項目値	備考
オーダ共通	患者 ID	0012345678	
	漢字氏名	患者 太郎	
	カナ氏名	カンジャ タロウ	
	生年月日	1965/04/15	
	性別	男 (M)	
	オーダ番号	123456789012345	
	入外区分	入院 (I)	
	依頼科	内科 (01)	
	依頼医	医師 一郎 (10001)	
	オーダ更新日時	2022/07/01 01:24:10	
	オーダ更新者	更新 次郎 (20002)	
	オーダ入力端末 ID	PC01	
注射オーダ 管理情報	処方区分	頓用	
	処方箋番号	20220701-001	
保険情報	保険種別	組合管掌健康保険 (06)	
指示用法	Rp #1	Rp 番号	01
		注射種別	一般注射 (00)
		用法種別	ワンショット (01)
		指示投与経路	静脈内 (IV)
		指示投与部位	左腕 (ARM, L)
		指示投与装置	点滴ポンプ (IVP)
		指示手技	点滴静注(末梢) (102)
		指示投与量合計	50
		指示投与量単位	ml
		払い出し場所	09A 病棟 (09A)
		頓用適用条件	疼痛時 (PRNpain)
		頓用適用回数	10 回
		優先度	ルーチン (R)
		頓用コメント	1 日 3 回まで
指示薬剤情報	薬品 # 1	指示薬剤	大塚生食注 5 0 m l (107675201)
		指示薬剤分量	1
		分量単位	瓶 (BTL)
指示薬剤情報	薬品 # 2	指示薬剤	アタラックス-P注射液 (2 5 m g / m L) (101583601)
		指示薬剤分量	1
		分量単位	アンプル (AMP)
指示薬剤情報	薬品 # 3	指示薬剤	ソセゴン注射液 1 5 m g (101086201)
		指示薬剤分量	1

項目名			項目値	備考
		分量単位	アンプル (AMP)	
		麻毒区分	劇薬	

MSH|^~\&|SEND|RECEIVE||20220701012213.225||RDE^O11^RDE_O11|20220701012213225|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>

PID||||0012345678^^^^PI||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>

PV1||I<CR>

IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>

AL1|1|LA^花粉アレルギー^HL70127|10001^スギ^JC10|SV^重度^HL70128<CR>

AL1|2|EA^環境アレルギー^HL70127|30001^ハウスダスト^JC10|MI^軽度^HL70128<CR>

ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_001|||||20220701012410|20002^更新^次郎
^^^^^L^^^^^I||10001^医師^一郎^^^^^L^^^^^I|||||01^内科^99ILL |PC01^^99LWS|||||||||I^入
院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|50||m1^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|||||123456||20220701-
001|||||IHP^入院処方^MR9P~OTP^頓用処方^JHSI0001|||||01^ワンショット
^JHSI0009|||||||||09A^^^^^N<CR>

TQ1|1||PRNpain&疼痛時^MR9P|||||R^ルーチン^HL70485||1日3回まで||10<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550|IVP^点滴ポンプ^HL70164|102^点滴静注(末梢)^99ILL||L^左
^HL70495<CR>

RXC|B|107675201^大塚生食注50mL^HOT|1|BTL^瓶^MR9P<CR>

RXC|A|101583601^アタラックス-P注射液(25mg/mL)^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P<CR>

RXC|A|101086201^ソセゴン注射液15mg^HOT|1|AMP^アンプル^MR9P||003^劇薬^JHSI0005<CR>

<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20220701012213.225	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	20220701012213225	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	0012345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19650415	
8	性別	M	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	I	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ AL1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID-AL1	1	
2	アレルゲン分類	LA^花粉アレルギー^HL70127	
3	アレルゲン情報	10001^スギ^JC10	アレルギー
4	アレルギー重症度	SV^重度^HL70128	

■ AL1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID-AL1	2	
2	アレルゲン分類	EA^環境アレルギー^HL70127	
3	アレルゲン情報	30001^ハウスダスト^JC10	アレルギー
4	アレルギー重症度	MI^軽度^HL70128	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	123456789012345	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	123456789012345_01_001	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20220701012410	オーダ更新日時
10	入力者	20002^更新^次郎^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	10001^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	PC01^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量-最小	50	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	与薬剤形
13	オーダ発行者の DEA 番号	123456	麻薬施用者番号

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
15	処方箋番号	20220701-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~OTP^頓用処方^JHSI0001	処方区分
27	与薬指示	01^ワンショット^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	09A^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
3	繰返しパターン	PRNpain&疼痛時&MR9P	頓用適用条件
9	優先度	R^ルーチン^HL70485	依頼優先度
11	テキスト指示	1 日 3 回まで	頓用コメント
14	総発生数	10	頓用適用回数

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	IVP^点滴ポンプ^HL70164	指示投与装置
4	投薬方法	102^点滴静注(末梢)^99ILL	指示手技
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	B	
2	成分コード	107675201^大塚生食注 5 0 m L ^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	BTL^瓶^MR9P	分量単位

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	101583601^アタラックスーP注射液 (2 5 m g / m L) ^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	101086201^ソセゴン注射液 1 5 m g ^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^アンプル^MR9P	分量単位

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
7	補足コード	003^劇薬^JHSI0005	麻毒区分

(8) あいまい指示 (朝・昼・夕)

	項目名		項目値	備考
オーダー共通	患者 ID		0099999999	
	漢字氏名		テスト 太郎	
	カナ氏名		テスト タロウ	
	生年月日		1975/02/19	
	性別		男 (M)	
	オーダー番号		00000000010101	
	入外区分		入院 (I)	
	依頼科		内科 (01)	
	依頼医		テスト 医師 (1111)	
	オーダー更新日時		2022/12/01 01:24:10	
	オーダー更新者		テスト 看護師 (9999)	
	オーダー入力端末 ID		WSN0001	
注射オーダー 管理情報	処方区分		入院定時処方	
	処方箋番号		20221201-001	
保険情報	保険種別		組合管掌健康保険 (06)	
指示用法	Rp # 1	Rp 番号	01	
		注射種別	一般注射 (00)	
		用法種別	ワンショット (01)	
		指示投与経路	静脈内 (IV)	
		指示投与部位	右腕 (ARM, R)	
		指示投与部位コメント	できるだけ太い静脈を使用	
		指示投与装置	シリンジ (01)	
		指示手技	静注(末梢) (101)	
		指示手技コメント	緩徐に静注	
		指示投与量合計	150	
		指示投与量単位	ml	
		指示用法コメント	医師が施行	
		実施予定開始日時	2022/12/01 朝, 昼, 夕	
		優先度	ルーチン (R)	
		施用番号	001, 002, 003	
		払い出し場所	05B 病棟 (05B)	
指示薬剤情報	薬品 # 1	指示薬剤	ソルデム 3 A 5 0 0 m L (107752001)	
		指示薬剤分量	1	
		分量単位	袋	
		薬剤コメント	ストックより使用	

MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20221201012213.225||RDE^O11^RDE_O11|20221201012213225|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>

PID|||0099999999^~~~PI||テスト^太郎^~~~~L^I~テスト^タロウ^~~~~L^P||19750219|M<CR>

PV1||I<CR>

IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>

ORC|NW|000000000101001||000000000101001_01_001||||20221201012410|9999^テスト^看護師

^^^^^^L^^^^^I||1111^テスト^医師^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|WSN0001^^99LWS|||||||||I^
入院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|150||m1^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^医師が施行^JHSIC007~^緩徐に静注
^JHSIC004~^できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003|||||||20221201-001|||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時
処方^JHSI0001|||||01^ワンショット^JHSI0009|||||||||||||05B^^^^^N<CR>

TQ1|1||M&朝^HL70335||||20221201||R^ルーチン^HL70485<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550|01^シリンジ^99ILL|101^静注(末梢)^99ILL||R^右^HL70495<CR>

RXC|A|107752001^ソルデム3A 500mL^HOT|1|BAG^袋^MR9P||^ストックから使用^JHSIC009<CR>

ORC|NW|000000000101001||000000000101001_01_002|||||20221201012410|9999^テスト^看護師
^^^^^^L^^^^^I||1111^テスト^医師^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|WSN0001^^99LWS
|||||||||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|150||m1^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^医師が施行^JHSIC007~^緩徐に静注
^JHSIC004~^できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003|||||||20221201-001|||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時
処方^JHSI0001|||||01^ワンショット^JHSI0009|||||||||||||05B^^^^^N<CR>

TQ1|1||D&昼^HL70335||||20221201||R^ルーチン^HL70485<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550|01^シリンジ^99ILL|101^静注(末梢)^99ILL||R^右^HL70495<CR>

RXC|A|107752001^ソルデム3A 500mL^HOT|1|BAG^袋^MR9P||^ストックから使用^JHSIC009<CR>

ORC|NW|000000000101001||000000000101001_01_003|||||20221201012410|9999^テスト^看護師
^^^^^^L^^^^^I||1111^テスト^医師^^^^^^L^^^^^I||||01^内科^99ILL|WSN0001^^99LWS
|||||||||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||00^一般^JHSI0002|150||m1^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^医師が施行^JHSIC007~^緩徐に静注
^JHSIC004~^できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003|||||||20221201-001|||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時
処方^JHSI0001|||||01^ワンショット^JHSI0009|||||||||||||05B^^^^^N<CR>

TQ1|1||V&夕^HL70335||||20221201||R^ルーチン^HL70485<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550|01^シリンジ^99ILL|101^静注(末梢)^99ILL||R^右^HL70495<CR>

RXC|A|107752001^ソルデム3A 500mL^HOT|1|BAG^袋^MR9P||^ストックから使用^JHSIC009<CR>

<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20221201012213.225	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御ID	20221201012213225	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者IDリスト	0099999999^^^^PI	患者ID
5	患者氏名	テスト^太郎^^^^^L^I~テスト^タロウ^^^^^L^P	

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
7	生年月日	19750219	
8	性別	M	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	I	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	000000000101001	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	000000000101001_01_001	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20221201012410	オーダ更新日時
10	入力者	9999^テスト^看護師^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	1111^テスト^医師^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	WSN0001^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量・最小	150	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^医師が施行^JHSIC007~^緩徐に静注 ^JHSIC004~^できるだけ太い静脈を使用 ^JHSIC003	指示コメント、指示手技コメント、指示投与部位コメント
15	処方箋番号	20221201-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
27	与薬指示	01^ワゾンショット^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	05B^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
3	繰返しパターン	M&朝&HL70335	タイミング
7	開始日時	20221201	実施予定開始日
9	優先度	R^ルーチン^HL70485	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	01^シリンジ^99ILL	指示投与装置
4	投薬方法	101^静注(末梢)^99ILL	手技
6	投薬部位修飾子	R^右^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	107752001^ソルデム 3 A 5 0 0 m L^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	BAG^袋^MR9P	分量単位
7	補足コード	^ストックから使用^JHSIC009	薬剤コメント

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	000000000101001	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	000000000101001_01_002	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20221201012410	オーダ更新日時
10	入力者	9999^テスト^看護師^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	1111^テスト^医師^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	WSN0001^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量・最小	150	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
7	依頼者の投薬指示	^医師が施行^JHSIC007~^緩徐に静注 ^JHSIC004~^できるだけ太い静脈を使用 ^JHSIC003	指示コメント、指示手技コメント、指示投与部位コメント
15	処方箋番号	20221201-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
27	与薬指示	01^ワンショット^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	05B^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
3	繰返しパターン	D&昼&HL70335	タイミング
7	開始日時	20221201	実施予定開始日
9	優先度	R^ルーチン^HL70485	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	01^シリンジ^99ILL	指示投与装置
4	投薬方法	101^静注(末梢)^99ILL	手技
6	投薬部位修飾子	R^右^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	107752001^ソルデム 3 A 5 0 0 m L^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	BAG^袋^MR9P	分量単位
7	補足コード	^ストックから使用^JHSIC009	薬剤コメント

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	000000000101001	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	000000000101001_01_003	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20221201012410	オーダ更新日時
10	入力者	9999^テスト^看護師^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	1111^テスト^医師^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
18	入力装置	WSN0001^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	00^一般^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量・最小	150	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^医師が施行^JHSIC007~^緩徐に静注 ^JHSIC004~^できるだけ太い静脈を使用 ^JHSIC003	指示コメント、指示手技コメント、指示投与部位コメント
15	処方箋番号	20221201-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
27	与薬指示	01^ワンショット^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	05B^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
3	繰返しパターン	V&タ&HL70335	タイミング
7	開始日時	20221201	実施予定開始日
9	優先度	R^ルーチン^HL70485	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	01^シリンジ^99ILL	指示投与装置
4	投薬方法	101^静注(末梢)^99ILL	手技
6	投薬部位修飾子	R^右^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	107752001^ソルデム 3 A 5 0 0 mL^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	BAG^袋^MR9P	分量単位
7	補足コード	^ストックから使用^JHSIC009	薬剤コメント

(9) 抗がん剤

	項目名		項目値	備考
オーダ共通	患者 ID		0099999999	
	漢字氏名		テスト 太郎	
	カナ氏名		テスト タロウ	
	生年月日		1975/02/19	
	性別		男 (M)	
	オーダ番号		00000000010101	
	入外区分		入院 (I)	
	依頼科		内科 (01)	
	依頼医		テスト 医師 (1111)	
	オーダ更新日時		2022/12/01 01:24:10	
	オーダ更新者		テスト 看護師 (9999)	
	オーダ入力端末 ID		WSN0001	
注射オーダ 管理情報	処方区分		入院定時処方	
	処方箋番号		20221201-001	
保険情報	保険種別		組合管掌健康保険 (06)	
患者身体情報	身長		170 cm	
	体重		80 kg	
	体表面積		1.915 m ²	
	アレルギー		ソバ(20001) 中程度	
指示用法	Rp #1	Rp 番号	01	
		注射種別	抗がん剤注射 (07)	
		用法種別	点滴 (02)	
		指示投与経路	静脈内 (IV)	
		指示投与部位	左腕 (ARM, L)	
		指示投与部位コメント	できるだけ太い静脈を使用	
		指示投与装置	点滴ポンプ (IVP)	
		指示手技	点滴静注(末梢) (102)	
		指示手技コメント	緩徐に静注	
		指示投与量合計	60.3	
		指示投与量単位	ml	
		指示用法コメント①	オーダ時体表面積 1.915 m ² 体表面積あたりの 100%量 45mg	
		指示用法コメント②	投与上限値 112.5ml 投与下限値 40ml オーダ指示量 100%	
		指示用法コメント③	医師が施行	
		実施予定開始日時	2022/12/01 10:00	
		施用番号	001	
		払い出し場所	05B 病棟 (05B)	
指示薬剤情報	薬品 #1	指示薬剤	カルセド注射用 20mg (115107702)	
		指示薬剤分量	3	
		分量単位	瓶 (BTL)	
		薬剤コメント	抗がん剤	

	項目名		項目値	備考
	薬品 # 2	指示薬剤	大塚生食注 20mL(107660801)	
		指示薬剤分量	1	
		分量単位	管 (AMP)	

MSH|^~\&|SEND|RECEIVE||20221201012213.225||RDE^O11^RDE_O11|20221201012213225|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>

PID|||009999999^PI||テスト太郎^^^L^I~テストタロウ^^^L^P||19750219|M<CR>

PV1||I<CR>

IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>

AL1|1|FA^食物アレルギー^HL70127|20001^ソバ^99ZAL|MO^中程度^HL70128<CR>

ORC|NW|000000000101001||000000000101001_01_001|||||20221201012410|9999^テスト^看護師
^^^^^L^^^^^I||1111^テスト^医師^^^^^L^^^^^I|||||01^内科^99ILL|WSN0001^^99LWS|||||||I^
入院患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||07^抗がん剤^JHSI0002|60.3||ml^ミリリットル^ISO+|INJ^注射剤^MR9P|^オーダ時体表面積 1.915 m² 体表面
積あたりの100%量 45mg^JHSIC007~^投与上限値 112.5ml 投与下限値 40ml オーダ指示量 100%^JHSIC007~^医
師が施行^JHSIC004~^緩徐に静注^JHSIC003~^できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003|||||||20161201-
001|||||IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001||240|ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+|||02^点滴
^JHSI0009|||||||05B^^^^^N<CR>

TQ1|1|||||202212011000|202212011005|R^ルーチン^HL70485<CR>

RXR|IV^静脈内^HL70162|ARM^腕^HL70550|IVP^点滴ポンプ^HL70164|102^点滴静注(末梢)^99ILL||L^左
^HL70495<CR>

RXC|A|115107702^カルセド注射用20mg^HOT|3|BTL^瓶^MR9P|||03^抗がん剤^JHSI0004<CR>

RXC|B|107660801^大塚生食注 20mL^HOT|1|AMP^管^MR9P<CR>

OBX|1|NM|8302-2^身長^LN||170.0|cm^cm^ISO+|||||F|||20220703<CR>

OBX|2|NM|3141-9^体重^LN||80.0|kg^kg^ISO+|||||F|||20220703<CR>

OBX|3|NM|8277-6^体表面積^LN||1.915|m2^m2^ISO+|||||F|||20220703<CR>

<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20221201012213.225	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御ID	20221201012213225	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者IDリスト	0099999999^PI	患者ID

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
5	患者氏名	テスト太郎^^^^L^I~テストタロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19750219	
8	性別	M	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	I	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ AL1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID・AL1	1	
2	アレルギー分類	FA^食物アレルギー^HL70127	
3	アレルギー情報	20001^ソバ^99ZAL	アレルギー
4	アレルギー重症度	MO^中程度^HL70128	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	000000000101001	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	000000000101001_01_001	オーダ番号、Rp 番号、施用番号
9	トランザクション日時	20221201012410	オーダ更新日時
10	入力者	9999^テスト^看護師^^^^^^L^^^^^I	オーダ更新者
12	オーダ発行者	1111^テスト^医師^^^^^^L^^^^^I	依頼医
17	入力組織	01^内科^99ILL	依頼科
18	入力装置	WSN0001^^99LWS	オーダ入力端末 ID
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	07^抗がん剤^JHSI0002	注射種別名称
3	与薬量・最小	60.3	指示投与量合計
5	与薬単位	ml^ミリリットル^ISO+	指示投与量単位
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	^オーダ時体表面積 1.915 m ² 体表面積あたりの 100%量 45mg^JHSIC007~^投与上限値 112.5ml 投与下限値 40ml オーダ指示量	指示用法コメント、指示用法 コメント、指示手技コメン ト、指示投与部位コメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
		100%^JHSIC007~^医師が施行^JHSIC004~^緩徐に静注^JHSIC003~^できるだけ太い静脈を使用^JHSIC003	
15	処方箋番号	20221201-001	処方箋番号
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~FTP^定時処方^JHSI0001	処方区分
23	与薬速度	240	指示投与速度
24	与薬速度単位	ml/hr^ミリリットル/時間^ISO+	指示投与速度単位
27	与薬指示	02^点滴^JHSI0009	用法種別
42	患者への配達場所	05B^^^^^N	払い出し場所

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	TQ1 を ID にセット	1	
7	開始日時	202212011000	実施予定開始日時
8	終了日時	202212011005	実施予定終了日時
7	優先度	R^ルーチン^HL70485	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	IV^静脈内^HL70162	指示投与経路
2	投薬部位	ARM^腕^HL70550	指示投与部位
3	投薬装置	IVP^点滴ポンプ^HL70164	指示投与装置
4	投薬方法	102^点滴静注(末梢)^99ILL	指示手技
6	投薬部位修飾子	L^左^HL70495	

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	A	
2	成分コード	115107702^カルセド注射用 20mg^HOT	指示薬剤
3	成分量	3	指示薬剤分量
4	成分単位	BTL^瓶^MR9P	分量単位
7	補足コード	03^抗がん剤^JHSI0004	特殊薬剤区分

■ RXC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	RX 成分タイプ	B	
2	成分コード	107660801^大塚生食注 20mL^HOT	指示薬剤
3	成分量	1	指示薬剤分量
4	成分単位	AMP^管^MR9P	分量単位

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	値型	NM	
3	検査項目	8302-2^身長^LN	
5	検査結果値	170.0	身長
6	単位	cm^cm^ISO+	身長単位
11	検査結果状態	F	
14	検査日時	20220703	

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	2	
2	値型	NM	
3	検査項目	3141-9^体重^LN	
5	検査結果値	80.0	体重
6	単位	kg^kg^ISO+	体重単位
11	検査結果状態	F	
14	検査日時	20220703	

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	3	
2	値型	NM	
3	検査項目	8277-6^体表面積^LN	
5	検査結果値	1.915	体表面積
6	単位	m2^m2^ISO+	体表面積単位
11	検査結果状態	F	
14	検査日時	20220703	

付録ー 3. 本規約で定義された OID

「1.2.392.200270.4.4.8」を本規約の root となる OID とし、レベル 8 を枝番として、それぞれのオブジェクトの OID を連番で採番する。

付録3-1 - 本規約内で採番されているOID

OID	説明	補足
1.2.392.200270.4.4.8	注射データ交換規約 root	
1.2.392.200270.4.4.8.1	処方区分 (JHSI0001)	RXE-21 で使用 ※「臨時処方」「外来処方」「入院処方」は、MERIT9 コードを利用する。
1.2.392.200270.4.4.8.2	注射種別 (JHSI0002)	RXE-2 で使用
1.2.392.200270.4.4.8.3	精密持続点滴 (JHSI0003)	RXR-4 で使用
1.2.392.200270.4.4.8.4	特殊薬剤区分 (JHSI0004)	RXC-7 で使用
1.2.392.200270.4.4.8.5	麻薬区分 (JHSI0005)	RXC-7 で使用
1.2.392.200270.4.4.8.6	冷所・暗所保存 (JHSI0006)	RXC-7 で使用
1.2.392.200270.4.4.8.7	その他 (JHSI0007)	RXC-7 で使用
1.2.392.200270.4.4.8.9	用法種別 (注射) (JHSI0009)	RXE-27 で使用

付録－４．作成者名簿

作成者（社名五十音順）

中田 英男	日本電気(株)
西岡 太郎	日本電気(株)
木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
石川 沙織	(株)日立製作所
山口 慶太	(株)日立製作所
窪田 成重	富士通 Japan(株)

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2010/06	Ver. 1.0	最初のバージョン
2014/01	Ver. 2.0C	・「JAHIS データ交換規約 共通編」との整合性 ・IN1 セグメントの採用 ・頓用適用回数、タイミング、投与期間の表現見直し ・JHSI 表のコーディングシステム名の見直し ・用法種別の JHSI 表の新規定義 ・メッセージサンプルの見直し ・Ver 1.0 正誤表の反映
2018/01	Ver.2.1C	・「JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.1」との整合 ・患者プロファイル情報の定義及び LOINC による表記 ・メッセージ構文内の PID に対する表記規則の見直し ・RXA-4（投薬終了日時）のオプション値の見直し ・メッセージサンプルの見直し
2023/mm	Ver2.2C	・HL7 V2.5 日本語訳見直し版を基に表現の見直し ・JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3 との整合 ・共通編、他のデータ交換規約との章構成の統一 ・OID の付番 ・適合性宣言書への対応 ・HL7 V2.5 で CE 型であったデータ項目について CWE 型から元の CE 型への変更

（J A H I S 標準 XX-XXX） 2023年X月発行 J A H I S 注射データ交換規約V e r . 2 . 2 C 発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号 (新橋2丁目MTビル5階) 電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070 (無断複写・転載を禁ず)
--